



始



大阪府内務部編
大阪府生産統計の概要 昭和七年

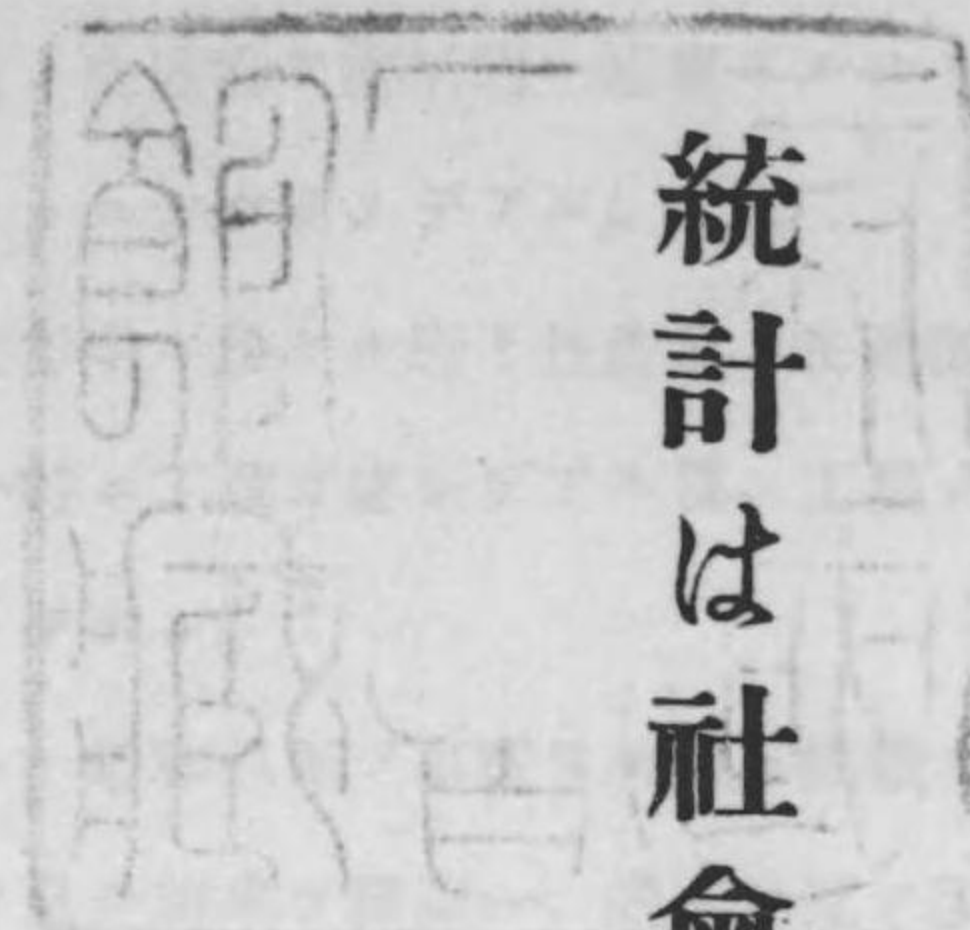
14.2
157

大阪府生産統計の概要

昭和七年

大阪府内務部

142157



統計は社會の明鏡なり



14.20-157

緒 言

1. 本統計速報ハ大正三年カラ同五年迄ハ毎年種類別ニ部分的ニ刊行シタノデアアルガ、其ノ後大正六、七年ハ經費ノ關係カラ遺憾ナラ中絶シタ。而シテ大正八年ニ至リ復活シテ各種ノ生産物ヲ總括的ニ速報スルコトニナリ、本年モ其ノ例ニ依ツテ茲ニ刊行スルコトニナツタノデアアル。
2. 本編ハ昭和七年中ニ於ケル府下各産業ノ生産價額ヲ速報スルコトガ主眼デアアルケレドモ本府ハ特ニ工業ガ盛ンデアアル爲、工場ノ概要ト、尙別ニ列國國勢ノ一端ヲモ輯録シタノデアアル。
尙又米ト麥トハ昭和八年ノ事實ヲモ併セ掲載スルコトニシタ。
3. 統計ハ現在ヲ見テ將來ヲ豫測シ、過去ヲ見テ現在ヲ理解スルノガ生命デアアルガ故ニ編中掲載事實ノ比較消長ヲ知ル便宜上往々同一事實ヲ累載シテ居ル。
4. 編中掲記ノ事實ハ市町村其ノ他各官衙、公共實業團休ノ調査報告材料ニ依ツテ調製集録シタモノデアアル。
5. 表中「一」ハ該當ノ事實ナキモノ「〇」ハ計數ノ單位ニ滿タナイモノヲ示シ、又増減比較ヲ示セル箇所ニ（+）ヲ附シタモノハ増加ヲ、（-）ヲ附シタモノハ減少ヲ示シタモノデアアル。

昭和九年二月

筆を執り舌を揮ふ前に統計を見よ
統計を利用する程汝に光明を與ふ

大阪府内務部統計課

大阪府内務部統計課



目次

統計圖

- 第一圖 大阪府生産總價額累年比較
- 第二圖 生産價額並郡市別
- 第三圖 全國生産總價額
- 第四圖 列國物價ノ趨勢
- 第五圖 帝國物價ノ趨勢

統計表

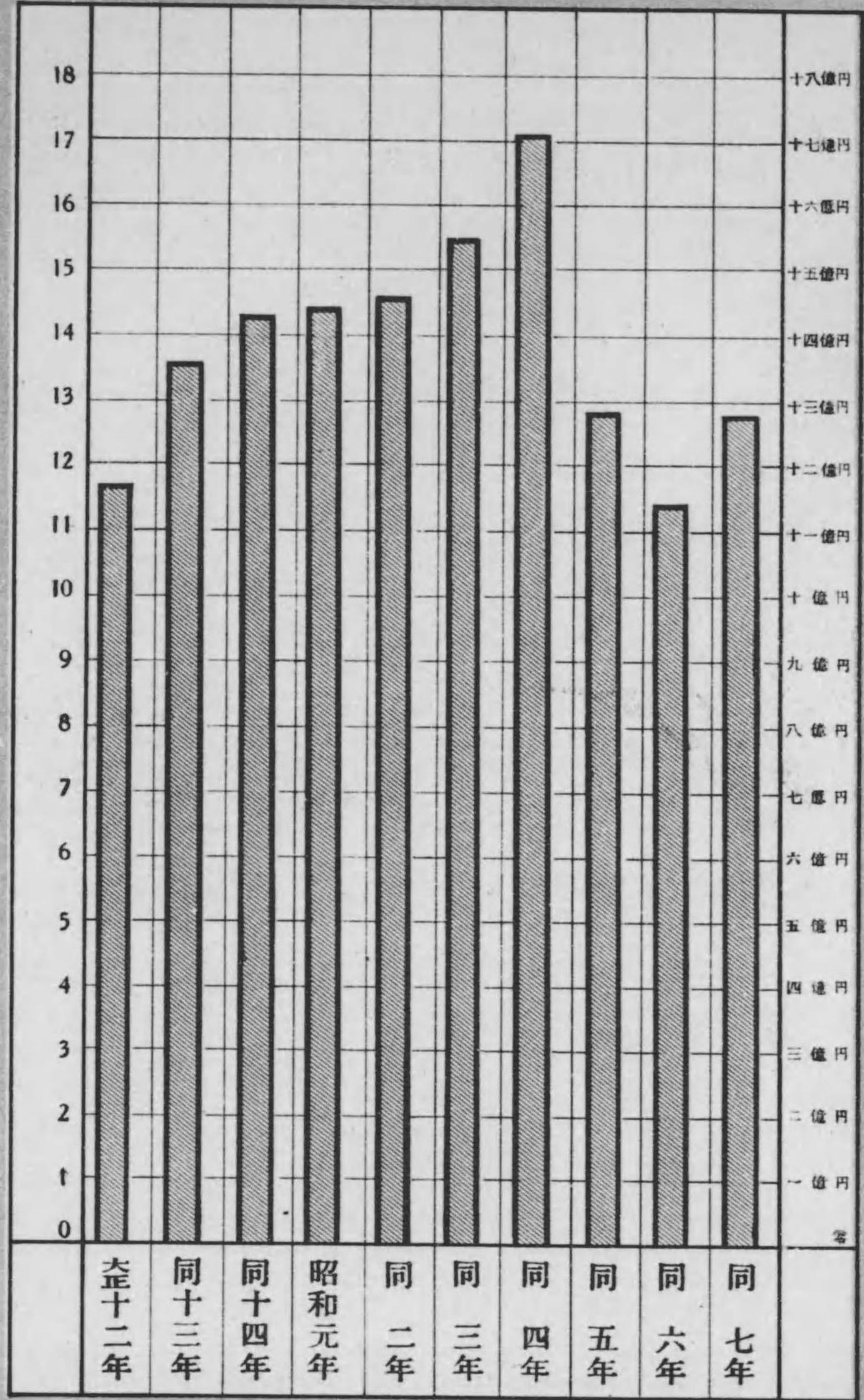
- 第 1 表 生産物價額累年比較 …… (4)
- 第 2 表 生産物價額郡市別 …… (6)
- 第 3 表 工産物價額累年比較 …… (8)
- 第 4 表 工産物價額郡市別 …… (10)
- 第 5 表 工産物價額工業別比較 …… (12)
- 第 6 表 染織工業價額品種別比較 …… (12)
- 第 7 表 機械及器具工業價額品種別比較 …… (13)
- 第 8 表 化學工業價額品種別比較 …… (14)
- 第 9 表 飲食物工業價額品種別比較 …… (16)
- 第 10 表 雜工業價額品種別比較 …… (17)
- 第 11 表 特別工業價額品種別比較 …… (19)
- 第 12 表 農産物價額累年比較 …… (20)
- 第 13 表 種類別ニ依ル農産物價額郡市別 …… (22)
- 第 14 表 農産物價額種類別比較 …… (24)
- 第 15 表 米 (昭和八年) …… (24)
- 第 16 表 麥 (昭和八年) …… (26)
- 第 17 表 農家及耕地累年比較 …… (27)
- 第 18 表 農家及耕地ノ郡市別 …… (29)
- 第 19 表 自作及小作ニ分チタル農家 …… (30)
- 第 20 表 自作及小作ニ分チタル耕地段別 …… (31)
- 第 21 表 畜産物價額累年比較 …… (34)
- 第 22 表 畜産物價額郡市別 …… (35)
- 第 23 表 畜産物價額種類別比較 …… (37)

第 24 表 林產物價額累年比較 …… (39)
 第 25 表 林產物價額郡市別 …… (40)
 第 26 表 林產物價額種類別比較 …… (41)
 第 27 表 礦產物價額累年比較 …… (41)
 第 28 表 水產物價額累年比較 …… (43)
 第 29 表 水產物價額郡市別 …… (45)
 第 30 表 水產物價額種類別比較 …… (46)
 第 31 表 工場及從業人員 (全管、業種別) …… (47)
 第 32 表 原動機 (全管、業種別) …… (52)
 第 33 表 燃料動力 (全管、業種別) …… (55)
 第 34 表 全國道府縣生產價額比較 (昭和六年) ……

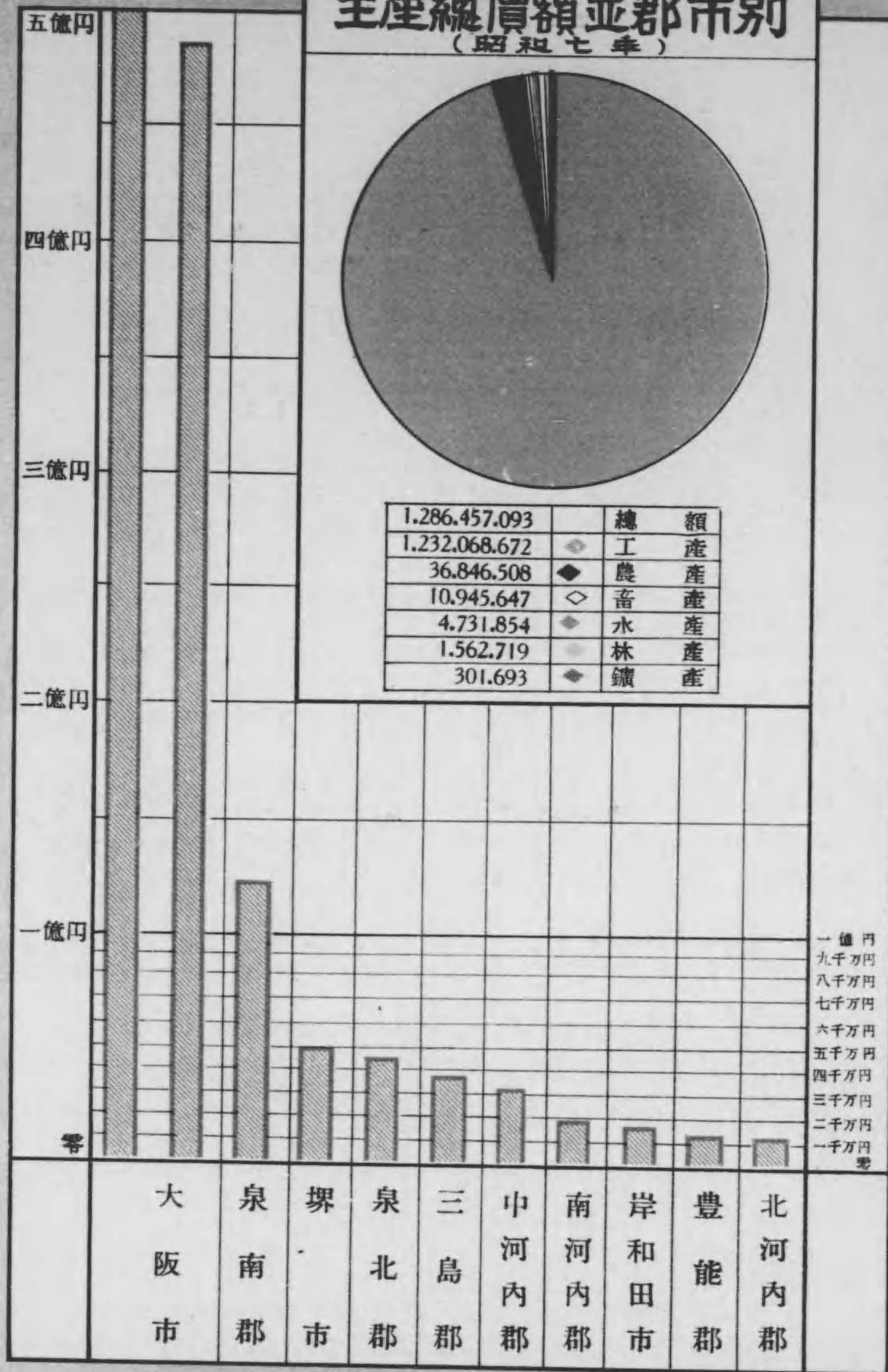
附 錄

第 1 表 列國ノ面積及人口 …… (60)
 第 2 表 列國ノ年齡別人口 …… (64)
 第 3 表 帝國大都市ノ人口 …… (65)
 第 4 表 列國大都市ノ人口 …… (66)
 第 5 表 列國ノ婚姻、離婚、出生、死亡、死産及自然増加 …… (68)
 第 6 表 列國ノ歳入 …… (72)
 第 7 表 列國ノ歳出 …… (72)
 第 8 表 列國ノ國債 …… (73)
 第 9 表 列國ノ國富 …… (74)
 第 10 表 列國ノ耕地面積 …… (74)
 第 11 表 列國ノ主要生産品 …… (75)
 第 12 表 列國ノ家畜及家禽 …… (82)
 第 13 表 帝國ノ重要貿易品 …… (85)
 第 14 表 列國ノ自動車 …… (86)
 第 15 表 列國ノ船舶 …… (87)
 第 16 表 列國ノ初等教育 …… (88)
 第 17 表 列國ノ失業者 …… (89)

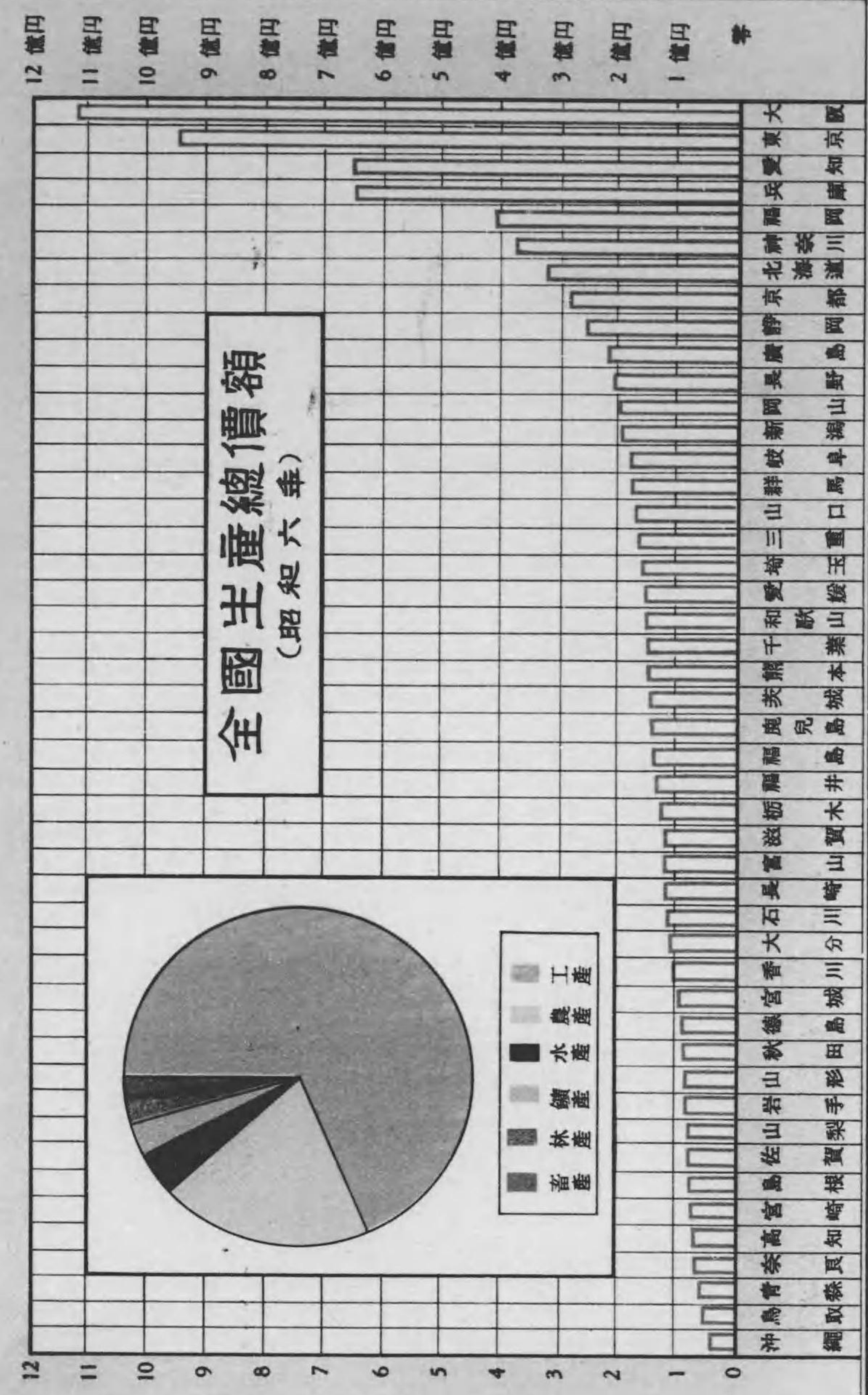
大阪府生産總價額累年比較



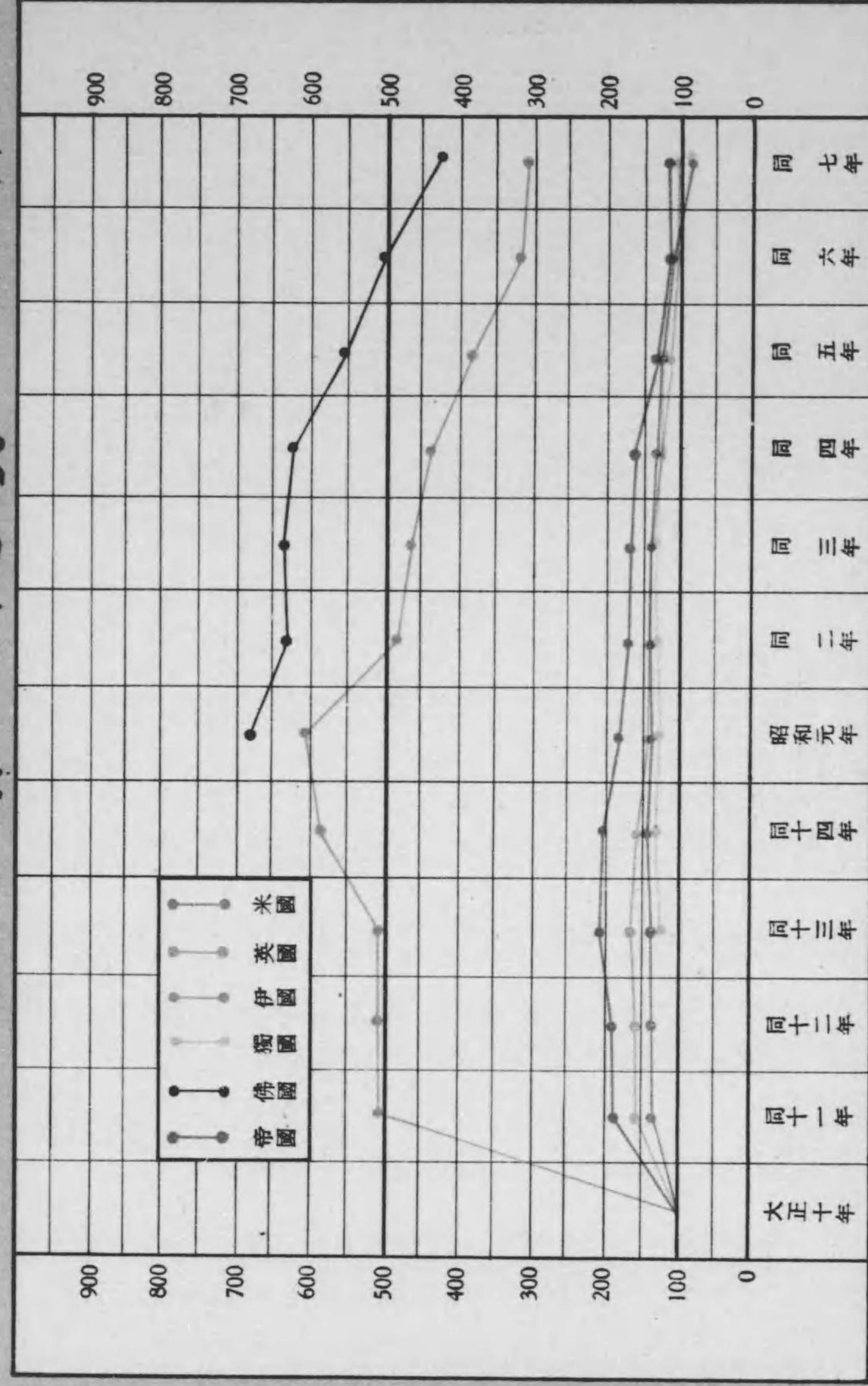
生產總價額並郡市別
(昭和七年)



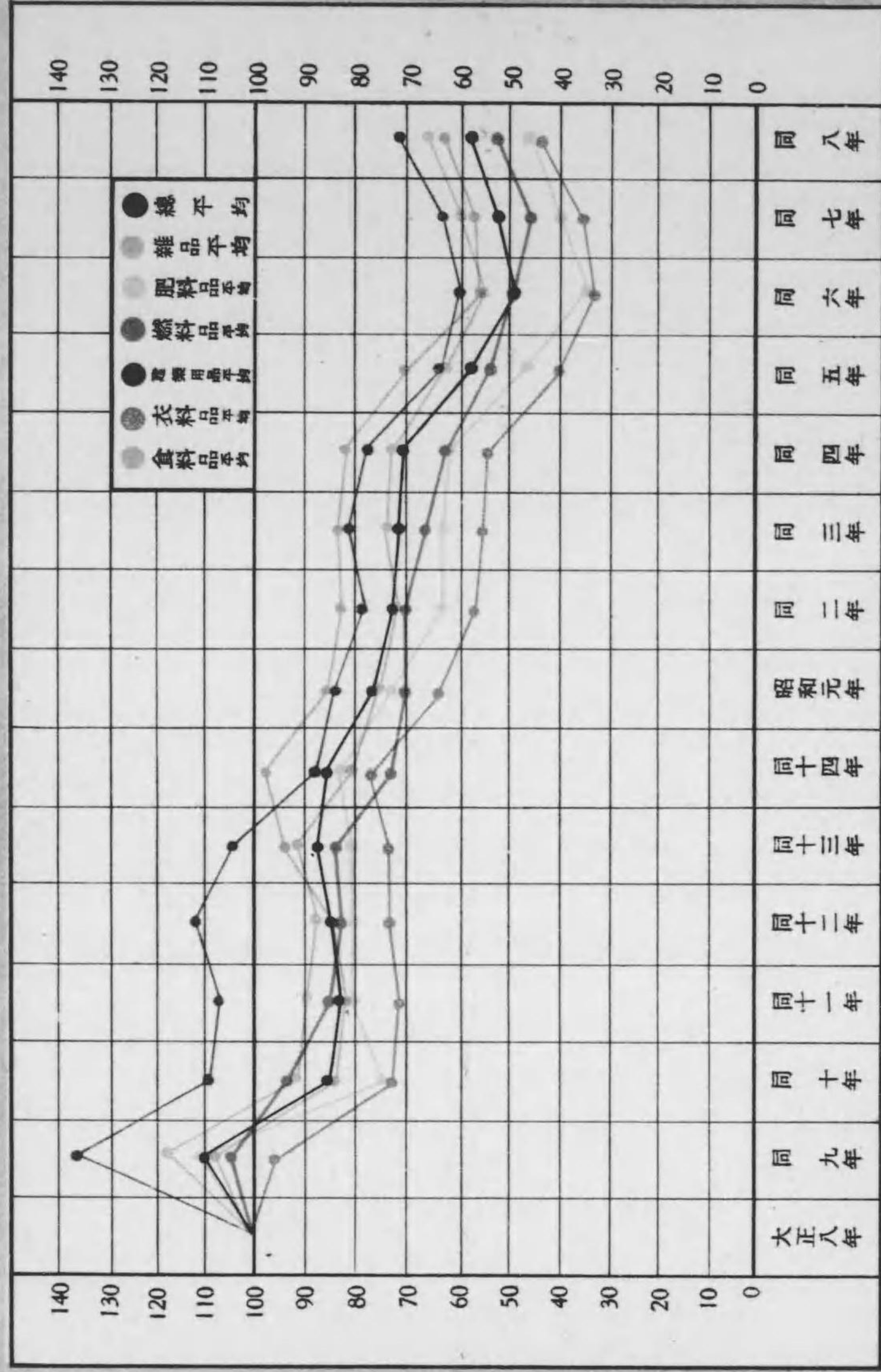
第三圖



列國物價之趨勢 (大正十年⁷ 百%指數)



帝國物價之趨勢 (大正八年ヲ基準指數)



昭和七年大阪府生産統計

概 況

昭和七年ニ於ケル本府産業界ノ狀勢ハ、其ノ生産總價額ノ上ヨリ見テ、前年ニ比シ稍見直セルノ感アルモ、之ガ真相ハ依然世界的財界ノ不況ニ支配サレ、物價ノ崩落、購買力ノ減退、貿易不振等ノ現象ハ前年ト大差ナク、從ツテ企業熱ハ極度ニ萎靡沈滞シ二三特殊ノ産業ヲ除キ全ク産業界ハ冬眠ノ態デアツタト觀テ大過ナカラウ。

殊ニ本府産業界ノ王者タル工業ノ如キハ、夙ニ世界工業界ニ於テ樞要ノ地位ヲ占メ、世界經濟トノ關係極メテ緊密ナルモノアルガ爲、此ノ世界的不況ノ影響ヲ受クルコトモ亦甚大ナルモノアリ、從來デサヘ維持經營難ニ喘イデ居タ中小工業者ノ如キハ、今ヤ塗炭ノ苦境ニ陥リ、其ノ結果ハ或ハ作業時間ノ短縮或ハ休業、勞賃ノ引下ゲ等々、アラユル非常手段ヲ講ズルモノガ續出シ、而カモ尙倒産ノ憂目ヲ見ルモノサヘ出デ、其ノ經營難ノ慘狀ハ眞ニ言語ニ絶スルモノガアツタ。

而シテ、來ルベキ當然ノ結果トシテ、中小工業者ハ次第ニ淘汰驅逐セラル、至ツタガ大工業者ノ間ニ於テモ事業ノ合併合同等ヲ斷行シ、以テ事業組織ノ強人ヲ圖ルト共ニ、一面生産技術ノ向上促進、化學力ニ依ル優良品ノ製出、能率ノ増進ニ依ル生産費ノ遞減、工業組合等ニ據ル企業組織管理統制等、經營方法ノ改善ト産業ノ合理化ニ關スル諸般ノ基本的工作ニ專念シ此ノ難局打解ニ邁進シタノデアル。

次ニ農業界ノ動向ヲ見ルニ逐年都市ノ著シキ發展ト、交通機關ノ發達等ニ因リ、耕地ハ漸次潰廢セラレ斯業者ハ次第ニ轉業セントスルノ兆アルモ、反面最近商工界ノ不振ニ伴ヒ都市ニ出稼ギセル者ガ漸ク歸農セントスル趨勢ニ在リ、又林業ニ在リテハ時勢ノ進運ニ伴ヒ從前ノ木造建築物ガ次第ニ鐵筋コンクリート化セラレ其ノ需用ノ激減セルト近頃比較的安價ナル外材ニ壓倒セラレテ不振其ノ極ニ達シ、鑛産ニ於テハ前年ニ比シ稍活況ヲ見タルノ外畜産、水産モ亦財界不況ノ余波ヲ受ケテ等シク萎靡沈滞ノ態デアツタ。

今生産價額ノ上ヨリ産業界ノ大勢ヲ見ルト、工業ノ壓倒的ニ優勢ナルコトハ今更贅言ヲ要シナイガ、其ノ他ノ産業デハ、農産、畜産、水産ガ比較的優レテ居ル。而シテ之等原始産業ハ地理的關係上天然資源ニ恵マレナイ本府トシテハ生産價額ニ於テハ尙大ナル數字ヲ示シテハ居ナイガ、斷ヘズ商工業ノ著シキ發達振リニ刺戟セラレ、其ノ生産技術等經營方法ノ進歩發達セル點ニ於テハ、敢テ他ノ府縣ノ其レニ讓ルモノデハナイ。殊ニ管内ノ交通網ハ四通發達セルガ上ニ大阪、堺ノ如キ大消費都市ヲ擁シ、生産物ノ需用ハ逐年増大スル關係上、之ガ要求ニ副フベク諸種ノ施設計畫ヲ講ジ、進歩改善ヲ期シタル結果、其ノ經營方法ノ如キ極メテ集約的ニシテ、就中蔬菜、花卉、果樹等ノ園藝作物ヲ始メ、苗木、工藝作物ニ於テ、特ニ其ノ成績ノ見ルベキモノアリ、特産物トシテ他ニ誇ルベキモノ乏シカラズ、本業ハ年ト共ニ

頗る合理的ニ發達シツ、アルノデ在ル。畜産業ノ生産價額ハ全國道府縣中常ニ三、四位ニアリ、又水産業ニ於テモ沿海線ノ狹小ナル割合ニ比較的豊漁ヲ見ル等各産業ノ何レモ其ノ内容ニ於テハ相當充實發達シテ居ルノデアアル。

生産額 昭和七年ニ於ケル本府生産總價額ハ1,286,457,093圓デアアル。今之ヲ前年ノ實跡ニ比スレバ140,356,326圓(1割2分2厘)ノ増加トナルモ、五年前即チ昭和三年ノ其レニ比スレバ275,505,563圓(1割7分6厘)ノ減少トナリ、更ニ十年前ノ大正十二年ニ比較スレバ93,501,577圓(7分8厘)ヲ増加シテ居ルノデアアル、而シテ六大産業分類ニ就キ夫々前三者即チ前年、五年前ノ昭和三年並十年前ノ大正十三年トノ比較ヲ試ミルト、前年ニ比シテハ農産物5,500,670圓(1割7分5厘)、鑛産物3,099圓(2割6分4厘)、工産物136,643,918圓(1割2分5厘)ヲ増加セルモ、其ノ他ニ於テハ畜産物1,104,220圓(9分5厘)、林産物241,126圓(1割3分4厘)、水産物506,015圓(9分7厘)等ノ減少デアアル。又五年前ノ昭和三年ニ比較スレバ農産物14,739,052圓(2割8分6厘)畜産物2,847,241圓(2割6厘)、林産物781,199圓(3割3分2厘)、鑛産物252,977圓(4割5分6厘)、水産物2,067,268圓(3割4厘)、工産物254,817,826圓(1割7分1厘)ノ何レモ減少ヲ來タシテ居ル、更ニ十年前ノ大正十二年ニ比較スレバ工産物ニ於テ117,038,421圓(1割6厘)ノ増加ヲ見タノミデアツテ、其ノ他ハ悉ク減トナツテ居ル、即チ其ノ減少數ハ農産物20,221,824圓(3割5分4厘)、畜産物780,825圓(6分7厘)、林産物1,437,398圓(4割7分9厘)、鑛産物111,160圓(5割7分7厘)、水産物1,251,058圓(2割9厘)デアアル。

次ニ總價額ニ對スル六大産業分類ノ占ムル割合ヲ見ルト、流石ニ世界有數ノ大工業都市ヲ擁スルダケアツテ、工産物ノ割合ハ絶大ナモノデ實ニ95.77%ニ達シ、農産物ノ2.87%之ニ亞ギ、以下畜産物0.85%、水産物0.37%、林産物0.12%ニ當リ、鑛産物ハ最モ少ク僅ニ0.02%デアアル。尙此ノ割合ニ就テ前年、五年前ノ昭和三年及十年前ノ大正十二年トノ比較スルト、前年ニ比シテハ農産物及工産物ノ割合ハ増加シタガ、鑛産物ノ同率ナルヲ除ク其ノ他ハ悉ク低下シ、又昭和三年並大正十二年ニ比較スレバ獨リ工産物ノ割合ノミ上昇シ、其ノ他ハ悉ク下降シタノデアアル。

次ニ生産物總價額ノ最近十年間ニ於ケル盛衰狀況ヲ見シガ爲ニ、大正十二年ノ事實ヲ基準トシテ之ヲ100トシ、各年ノ指數ヲ求メルト、昭和四年迄ハ逐年増加ノ歩調ヲ迎ツタガ同年ヲ契機トシテ漸減ノ趨勢ニ轉ジ、昭和七年ハ僅ニ上昇シテ居ル。尙六大分類ニ就イテ同一ノ指數ヲ求メ以テ盛衰ノ跡ヲ窺ヘバ、則チ下表ノ如クデ林産物及鑛産物ハ大正十三年ニ、農産物及水産物ハ同十四年ニ、畜産物及工産物ハ昭和四年ニ於テ、夫々最高ヲ示シ、又畜産物ハ大正十三年ニ於テ農産物、鑛産物、工産物ハ昭和六年ニ於テ、林産物、水産物ハ昭和七年ガ夫々最底ヲ示シテ居ルコトガ知得サレルノデアアル。

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
總數	100	115	120	121	124	131	143	109	96	108
農産物	100	100	108	96	93	90	91	70	55	65
畜産物	100	91	115	112	118	118	119	103	103	93
林産物	100	188	86	84	85	78	65	60	60	52
鑛産物	100	108	89	57	81	78	60	34	33	42
水産物	100	109	126	98	113	114	114	101	88	79
工産物	100	115	121	123	125	133	146	111	98	111

更ニ昭和七年未現在ニ於ケル現住人口一人當、生産價額ヲ見ルト、345圓5錢トナリ、内農産物9圓88錢、畜産物2圓94錢、林産物42錢、鑛産物8錢、水産物1圓27錢、工産物330圓46錢トナル。即チ工産物ガ群ヲ抜イテ多ク、農産物、畜産物等ガ之ニ亞ギ、鑛産物ハ極メテ僅少デアアル。尙此ノ總數ヲ過去ニ於ケル同一事實ニ比較スレバ、前年ニ比シ29圓72錢ヲ増シ、五年前ニ比シ117圓50錢、十年前ニ比シ57圓55錢ノ何レモ減少ニ當リ、前年ハ最近十年間ニ於ケル最少トナツテ居ルモ、本年ハ僅カニ上昇シテ居ル。之等ハ本府ノ傾向タル人口逐増ニモ因ルコト勿論デアリ、又生産物市價ノ變動ヲ顧慮シナイ觀察デアアルカラ、固ヨリ之ヲ以テ産業ノ衰頹ヲ速斷スルコトハ出來ナイガ、前述ノ生産價額減退ノ事實ト共ニ、本府産業界ノ爲稍々寂寥ノ感ヲ與ヘル。

生産價額上ヨリ見タル本府ノ地位 統計ニ現ハレタル昭和六年中ニ於ケル全國道府縣總生産價額ハ9,584,667,041圓デアツテ、前年タル昭和五年ニ比シ1,324,740,480圓、即チ1割2分1厘ヲ減ジテ居ル。總數ノ内各産業分類ノ占ムル割合ハ農産物20.05%、畜産物2.13%、林産物2.41%、鑛産物3.09%、水産物3.93%、工産物68.39%ニ當リ、即チ過半ハ工産物デアツテ、農産物ガ之ニ亞イデ多ク、以下水産物、鑛産物、林産物、畜産物ノ順位デアアル。各道府縣ニ於ケル生産價額ヲ比較スルニ、本府ハ全國ノ首位ヲ占メテ、總數ノ1割2分ニ當リ、二位ハ東京府、三位ハ愛知縣デ、以下兵庫、福岡、神奈川、北海道ノ順位デアアル。更ニ之ヲ各産業分類ニ就テ觀ルト

農産物ニ於テハ愛知縣最多ヲ示シ、長野、茨城、新潟ノ各縣之ニ亞ギ、本府ハ滋賀縣ニ次デ、第二十九位ニナツテ居ル。

畜産物ニ於テハ愛知縣ガ首位、東京府ガ二位デ、本府ハ其ノ次テ全國第三位デアアル。

林産物ニ於テハ第一位秋田縣、第二位北海道、以下鹿兒島、和歌山、宮崎ノ順位デ本府ハ第四十位ニ位シテ居ル。

鑛産物ニ於テハ福岡縣ガ嶄然群ヲ抜イテ多ク、次ハ北海道、新潟、秋田、山口等デ、本府ハ第四十二位デアアル。

水産物ニ於テハ北海道ガ斷然他ヲリードシ、二位ハ静岡縣、三位ハ山口縣、以下長崎、東京、千葉ノ順デ、本府ハ大分縣ノ次デ第二十七位ニ在ル。

工産物ニ於テハ本府ハ一頭地ヲ拔キ、全國工産物ノ1割6分7厘ヲ占メ、悠然トシテ全國ニ冠タル地位ヲ占メテ居リ、之ニ亞グモノハ東京、兵庫、愛知、神奈川、福岡等ノ各府縣デ、第十五位ノ和歌山縣ニ至ル迄ハ何レモ一億圓ヲ超エテ居ル。

尙昭和六年ニ於ケル現住人口一人當生産價額ヲ見ルト、本府ハ315圓デ全國道府縣中ニ於テ首位ヲ占メテ居リ、二位ハ兵庫縣、三位ハ愛知縣、以下神奈川、福井、京都、和歌山、東京、群馬、福岡ノ順位デアル。

統計は社會の羅針盤なり 統計は幸福を齎らす

1. 生産物價額累年比較

(單位 円)

	農産物	畜産物	林産物	鑛産物	水産物	工産物	計
大正十二年	57,068,332	11,726,472	3,000,117	712,853	5,982,912	1,114,464,830	1,192,955,516
同 十三年	57,345,885	10,683,434	5,644,325	766,892	6,521,162	1,285,702,239	1,366,663,937
同 十四年	61,389,911	13,477,351	2,582,412	635,603	7,555,794	1,348,891,526	1,434,532,597
昭和元年	54,893,483	13,134,150	2,521,523	409,206	5,839,747	1,367,368,176	1,444,166,285
同 二年	53,227,212	13,839,299	2,538,692	576,789	6,736,791	1,397,103,765	1,474,022,548
同 三年	51,585,560	13,792,888	2,343,918	554,670	6,799,122	1,486,886,498	1,561,962,656
同 四年	52,054,414	14,001,876	1,953,086	429,473	6,790,661	1,628,149,405	1,703,378,915
同 五年	40,020,264	12,085,829	1,799,020	242,121	6,062,422	1,239,002,056	1,299,211,712
同 六年	31,345,838	12,049,867	1,803,845	233,594	5,237,869	1,095,424,754	1,146,100,767
同 七年	36,846,508	10,945,647	1,562,719	301,693	4,731,854	1,232,068,672	1,286,457,093

大正十二年ヨリ昭和七年ニ至ル各年ノ本府生産價額ハ上記ノ通りデアル。

今大正十二年ヲ100トシタ各年ノ指數ヲ求ムレバ、即チ前掲ノ指數表ニ示スガ如クデアツテ、昭和四年迄ハ、工産物ヲ除キ其ノ他ハ何レモ一高一低ノ状態ニ在リ農産、林産、鑛産物ノ如キハ大勢寧ろ遞減シツ、アツタノデアルガ、生産額ノ九割以上ヲ占ムル工産ニ於テ逐年増加セルガ爲、他ノ減額ヲ悠々埋メ合セテ、總生産價額ハ年々漸増ノ歩調ヲ辿ツテ來タノデアル。然ルニ昭昭五年ニ至リ金解禁ニ伴フ諸物價ノ崩落ト共ニ工産物ニ於テ始メテ減少シ、而カモ昭和四年ニ比ベテ2割3分9厘ト云フ高率ノ減退ヲ見、其ノ他農産物2割3分1厘、畜産物1割3分7厘、林産物7分9厘、鑛産物4割3分6厘、水産物1割7厘ヲ何レモ減少セルガ爲總生産價額ニ於テモ實ニ同年ニ比シ2割3分7厘ノ激減ヲ示シ、大正十二年以降此ノ年ニ於テ初メテ低額ノ數字ヲ示シタノデアルガ、更ニ昭和六年ニ至リテハ益々深刻化スル不況ノ爲ニ生産價額ハ林産物以外ニ悉ク減少シ、總價額ニ於テハ同五年ニ比シ1分8厘ヲ減ジタノデ、同年ハ生産價額ニ於テ過去十年間ニ於ケル最下位デアツタ。越ヘテ本年ノ狀勢ヲ見ルニ大正十二年來同年及前年ヲ除ケバ依然生産價額ハ最下位ニ屬シ最モ優勢ナリシ昭和

四年ニ比ブレバ正ニ416,921,822圓(2割4分5厘)ノ大減少デアツテ、之ヲ前年ニ比スレバ僅々140,356,326圓(1割2分2厘)ノ増加デアル。

次ニ生産總價額ニ對スル六大分類ノ占ムル割合ハ本年ハ前叙ノ如ク農産2.87%、畜産0.85%、林産0.12%、鑛産0.02%、水産0.37%、工産95.77%、ニ該ツテ居ルガ、今既往十年中ノ各年ノ實跡ニ徴スルト

大正十二年ニ於テハ農産4.78%、畜産0.98%、林産0.26%、鑛産0.06%、水産0.50%、工産93.42%デアリ、十年後ノ本年ニ比シ、獨リ工産ノミノ割合ガ低ク、其ノ他ハ何レモ高率デアツタコトガ分ル。大正十三年ニ於テハ農産4.19%、畜産0.78%、林産0.41%、鑛産0.06%、水産0.48%、工産94.08%デアリ其ノ前年ノ大正十二年ニ比シ林産及工産ニ於テ増加シ、鑛産ハ同一デアツテ、其ノ他ハ何レモ減少トナツテ居ル。

大正十四年ニ於テハ農産4.28%、畜産0.94%、林産0.18%、鑛産0.04%、水産0.52%、工産94.04%ニ該リ、農産、畜産、水産ハ上昇ヲ示シ、其ノ他ハ下降ノ歩調ヲ辿ツテ居ル。

昭和元年ニ於テハ、農産3.80%、畜産0.92%、林産0.17%、鑛産0.03%、水産0.40%、工産94.68%トナリ、農産、工産ハ上リ坂ナルモ其ノ他ハ悉ク低落ヲ示シテ居ル。

昭和二年ニ於テハ農産3.61%、畜産0.94%、林産0.17%、鑛産0.04%、水産0.46%、工産94.78%デアル

昭和三年ニ於テハ農産3.30%、畜産0.88%、林産0.15%、鑛産0.04%、水産0.43%、工産95.20%デアリ、工産ノミガ其ノ割合ヲ増加シテ居ル。

昭和四年ハ農産3.06%、畜産0.82%、林産0.11%、鑛産0.03%、水産0.25%、工産95.73%ニ該リ依然工産ノ率ノミガ増シテ居ル。

昭和五年ニ於テハ、農産3.08%、畜産0.93%、林産0.14%、鑛産0.02%、水産0.46%、工産95.37%ニ相當シ、農、畜、林、水産ノ増加ニ對シ鑛産及工産ハ減退ノ域ヲ出デナイ。

昭和六年ニ於テハ農産2.73%、畜産1.05%、林産0.16%、鑛産0.02%、水産0.46%、工産95.58%ニ該當シ、鑛産及水産ハ前年ト同率デ、畜、林、工産ハ何レモ上昇シ、獨リ農産ノミガ低落ス。

昭和七年ニ於ケル割合ハ前叙ノ通デアツテ、前年ニ比シ主要産物タル農産及工産ハ増率シ、鑛産ノ同率ヲ除ク其ノ他ハ悉ク其ノ率ガ低落シテ居ルノデアル。

叙上ニ依リ六大分類ニ付之ヲ見ルト農産ハ大正十二年ノ4.78%、畜産ハ昭和六年ノ1.05%、林産ハ大正十三年ノ0.41%、鑛産ハ大正十二年及同十三年ノ0.06%、水産ハ大正十四年ノ0.52%、工産ハ本年ノ95.77%ガ夫々最高率デアツタコトガ判ル。而シテ農産ハ大正十二年ニハ約5%ニ近イ割合デアツタモノガ、昭和元年ニ於テハ4%台ヲ割リ、昭和六年ニ於テハ更ニ2%台ニ低下セル等逐年減退スルノ傾向アルニ反シ、獨リ工産ノ率ノミガ大体ニ於テ漸増ノ歩調ヲ示シツ、アルハ注目ニ値スル所デアル。

統計は社會の縮圖なり 統計は事實を詐る口を有たず

2. 生産物價額郡市別

(單位 円)

	農産物	畜産物	林産物	鑛産物	水産物	工産物	計
總 數	36,846,508	10,945,647	1,562,719	301,693	4,731,854	1,232,068,672	1,286,457,093
大 阪 市	2,067,137	5,084,593	—	51,988	2,539,955	938,592,132	948,335,805
堺 市	433,419	90,169	—	—	565,688	47,940,874	49,030,150
岸和田市	114,559	28,558	—	1,330	285,155	15,534,343	15,963,945
三 島 郡	5,091,716	350,701	261,904	32,868	24,822	29,358,998	35,121,009
豊 能 郡	2,756,138	840,280	489,954	16,908	18,303	9,611,866	13,733,449
泉 北 郡	4,415,163	1,065,524	215,826	6,016	328,947	38,369,631	44,401,107
泉 南 郡	5,420,484	351,731	224,419	30,576	782,479	113,666,437	120,476,126
南 河 内 郡	5,583,559	454,337	252,863	56,906	26,561	11,832,029	18,206,255
中 河 内 郡	5,637,929	2,315,795	16,180	82,608	70,710	21,950,370	30,073,592
北 河 内 郡	5,326,404	363,959	101,573	22,493	89,234	5,211,992	11,115,655

本年ニ於ケル生産物價額ノ各郡市分布ノ狀況ハ上表ニ依リ明カデアル、今總額ニ對スル分節比ヲ示スト、大阪市ノ73.72%ガ斷然其ノ首位ヲ占メ、泉南郡ノ9.36%、堺市ノ3.81%之ニ亞ギ、以下泉北郡3.45%、三島郡2.73%、中河内郡2.34%、南河内郡1.42%、岸和田市1.24%、豊能郡1.07%ノ順位デアツテ、北河内郡ノ0.86%ガ最下位ニ屬ス。

而シテ産業分類別ニ之ヲ見ルト農産物ハ中河内郡ガ最高ヲ示シ、南河内、泉南ノ兩郡之ニ亞ギ、岸和田市ガ最低デ、畜産物ハ大阪市ガ實ニ其ノ大半ヲ占メ、郡部ニ於テハ中河内郡ニ多ク、岸和田市ハ最下位ニ屬ス。

又林産物ハ豊能郡ガ最モ多ク三島、南河内ノ兩郡之ニ亞ギ、大阪、堺、岸和田ノ三市ハ何レモ該當ナク、鑛産物ハ中河内郡、水産物デハ大阪市ガ夫々其ノ首位ヲ占ム。以下各郡市ニ付、當該郡市、總生産價額ニ對スル六大分類ノ占ムル割合ヲ記述スレバ次ノ通デアル。

大阪市ニ在リテハ、工産物98.97%、畜産物0.53%、水産物0.27%、農産物0.22%、鑛産物0.01%ニ該リ林産物ハ皆無デアル。

堺市ニハ、工産物97.78%、水産物1.16%、農産物0.88%、畜産物0.18%デ林産物及鑛産物ノ該當ガ無イ。

岸和田市ニハ、工産物97.31%、水産物1.78%、農産物0.72%、畜産物0.18%、鑛産物0.01%デ林産物ノ該當ヲ見ナイ。

三島郡ニハ、工産物83.59%、農産物14.50%、畜産物1.00%、林産物0.75%、鑛産物0.09%、水産物0.07%ニ相當ス。

豊能郡ニハ、工産物69.99%、農産物20.07%、畜産物6.12%、林産物3.57%、水産物0.13%、鑛産物0.12%ノ割合デアル。

泉北郡ニハ、工産物86.42%、農産物9.94%、畜産物2.40%、水産物0.74%、林産物0.49%、鑛産物0.01%ニ該ツテ居ル。

泉南郡ニハ、工産物94.35%、農産物4.50%、水産物0.65%、畜産物0.29%、林産物0.19%、鑛産物0.02%ノ順位デアル。

南河内郡ニハ、工産物64.99%、農産物30.67%、畜産物2.50%、林産物1.39%、鑛産物0.31%、水産物0.14%ニ相當シテ居ル。

中河内郡ハ、工産物72.99%、農産物18.75%、畜産物7.70%、鑛産物0.27%、水産物0.24%、林産物0.05%トナツテ居ル。

北河内郡ハ、農産物47.92%、工産物46.89%、畜産物3.28%、林産物0.91%、水産物0.80%、鑛産物0.20%ノ率ヲ示スノデアル。

以上ニ依リ工産物ガ北河内郡ヲ除ク其ノ他ノ郡市ニ於テハ何レモ最大ノ率ヲ示シ、而カモ三市及泉南郡ニ於ケル九割以上ヲ筆頭ニ、三島、豊能、泉北、南河内、中河内ノ各郡ハ何レモ其ノ過半ヲ占メテ居ルコトガ判ルノデアル。

而シテ右ニ亞グモノハ大阪市ニ於テハ畜産物、堺、岸和田ノ兩市デハ水産物、郡部デハ北河内郡ノ47.92%ヲ筆頭ニ悉ク農産物デアル。尙農産物ノ割合ノ高イノハ北河内郡、南河内郡、畜産物ノ割合ノ高イノハ中河内郡、豊能郡等デ、其ノ他林産物ハ豊能郡、鑛産物ハ南河内郡、水産物ハ岸和田市、工産物ハ大阪市ニ於テ夫々最高率ヲ示シテ居ルコトモ窺ハレ、各郡市ノ産業上ノ特色ヲ理解シ得ルノデアル。

統計に勝る味方なし 寝ても覺めても忘るな統計

工 業

管内ニ於ケル工業ノ狀勢

本府ノ工業ハ實ニ大阪ノ産業ノ殆ンド總ベテデアルノミナラズ、我が國工業界ノ大動脈、否心臓デアツテ、今デハ世界ノ各地ニ大阪ノ商品ガ雄飛シ世界各國ヲ啞然タラシメテ居ル。一時ハ後進工業國トノ汚名ヲ冠セラレタ帝國ノ工業ヲ代表シテ世界ノ工業ニ痛撃ヲ與ヘ震撼セシメ、各國カラ白眼視サレテ居ル。即チ昨今報ゼラレテ居ル日印、日英、日蘭會商ハソノ具体的表現デアツテ、ソレ等ハ皆直接ニハ我が大阪ノ工業ト至大ノ關係ヲ有ツモノニ外ナラナイノデアル。之等ノ成否ハ本論外デアルガ、結果カラ觀レバ我が帝國ハ勿論大大阪ノ工業ノ隆盛ナルコトヲ世界ノ各國ニ暗ニ宣示シテイルニ外ナラナイノデアル。斯クノ如ク府下ノ工業ガ長足ノ進歩ヲ遂ゲ、克ク今日ノ繁榮ヲ示シ、世界的不況ノ結果經濟戰ハ愈々増々熾烈ノ度ヲ加ヘタ現今、躍進ニ躍進ヲ續ケツ、アル原因ハ暫ラク措キ、先ヅソノ沿革ノ大要ヲ述ベ

ルコトニシヨウ。

明治二年府下堺市ニ綿糸紡績工場ガ設置サレタノガ、ソノ草分デアツテ爾來政府當局始メ、府ノ保護獎勵、其ノ他斯業獎勵ノ諸団体ノ助力宜シキニ因リ、工場數次第ニ増加ヲ來シ、一方生産技術ノ進歩發達モ著シク、明治二十七、八年頃ニ至ツテ遂ニ綿糸ヲ國內ニ於テ生産スルニ至リ更ニ進ンデ販路ヲ海外ニ擴張シ、ソノ後日露戰爭、歐洲大戰爭等ノ時潮ニ乘リ、恰モ順風ニ帆ヲ揚ゲテ走ル舟ノ如ク進展ニ進展ヲ重ネ、確固不拔ノ礎石ヲ築キ、大戰終了後ノ第一次、第二次ノ世界恐慌ニ際シテモ、萎微沈滞スルトコロ少ナク、確實ナ歩ヲ續ケテ、今日ノ如ク世界各國ヲ風靡スルニ至ツタノデアアル。

而シテ昭和七年ノ本府工産價額ハ1,232,068,672圓デ本府總生産價額ノ9割5分8厘ヲ占メ、全國生産價額ノ約1割2分8厘ニ割合シ、又全國工産價額ノ約2割2厘ニ當リ依然トシテ全國道府縣中ノ首位ヲ當メテ居ル。前年ノ工産價額ニ較ベルト136,643,918圓ノ増加デ増加率ハ1割2分5厘ニ當ツテ居ル。本冊子ハ生産價額ニ付テ叙述スルノデアアルガ、前記工産價額ヲ生ムニ要シタ職工數、製造場數ハ如何程ナルヤ必要デアロウ爲ニ附記スルト、昭和七年ノ製造場數(年末現在)56,763戸、職工數(年末現在)307,599人(内男196,647人、女110,950人)デアアル、之ヲ前年ノ事實ニ較ベルト、製造場數1,848戸(3分4厘)職工數24,873人(8分8厘)ノ増加デアアル。

以下項ヲ追フテ詳細ニ説明スルガ、先ヅコレ等ノ統計數字ヲ生ミ出シタ當時(昭和七年)ノ經濟界ノ動向ト、諸狀勢ヲ想起スルコトガ、ヨリ一層理解ニ便ナルモノデアルト思フ。

昭和六年十二月帝國ハ再ビ金本位ヲ停止シタ、金本位ノ停止ハ我ガ經濟界ノ基調ニ著シイ變革ヲ齎シタ。昭和七年ニ於テハ滿洲事件費、赤字補填、時局匡救等ニヨル公債政策ノ遂行ハ通貨ノ膨脹ヲ將來ニ約束シ、換物景氣ヲ現出シタ。金融界ニ於テハ日銀利下、郵便貯金利下ヲ斷行シテ低金利時代ガ展開サレテ起債界ハ稍蘇ツタ。他方對外爲替ハ、コレ等内外ノ諸狀勢カラ空前ノ慘落ヲ示シ、金禁止前49ドル近クヲ維持シタ對米爲替ハ昭和七年中ニハ20ドル近ク迄激落シタ、コレガ爲物價ハ續騰、貿易モ活氣ヲ呈シ、産業界各方面ハ政府ノ對策ト共ニ全面的影響ヲ受ケタノデアツタ。即チ大阪ノ工業界ハ漸ク蘇生シ、金融界、企業界ハ憂鬱カラ覺メ、事業界ハ活氣付キ増産、增收ヲ來タシタ、中デモ輸出工業、軍需工業ハ特ニ好況ヲ呈シタ。

以上ノ結果ガ如何ニ本統計ニ表レタカ? 以下各表ニ付具體的ニ述ベヨウ。

統計は實業家の良友なり 統計は文化の尺度

3. 工産物價額累年比較

(單位円)

	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	特別工業	計
大正十二年	403,501,538	210,144,029	163,183,593	119,296,645	124,343,761	93,995,264	1,114,464,830

續

	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	特別工業	計
同十三年	471,886,309	221,821,964	188,090,130	138,543,388	162,894,318	102,466,130	1,285,702,239
同十四年	511,827,291	229,711,949	194,449,591	129,471,100	165,376,138	118,055,457	1,348,891,526
昭和元年	467,026,098	255,154,063	212,019,298	130,142,381	190,131,856	112,894,480	1,367,368,176
同二年	478,033,679	280,976,434	215,817,187	124,368,365	163,244,153	134,663,947	1,397,103,765
同三年	468,480,486	333,674,737	228,934,050	134,774,006	172,590,490	148,432,729	1,486,886,498
同四年	500,004,658	405,883,887	251,046,555	129,706,034	182,143,429	159,364,842	1,628,149,405
同五年	317,037,789	299,368,293	203,421,705	112,431,876	149,988,198	156,754,195	1,239,002,056
同六年	273,827,697	271,282,812	174,738,107	100,442,736	130,603,804	144,529,598	1,095,424,754
同七年	346,696,120	274,393,892	199,541,126	106,713,894	148,937,498	155,786,142	1,232,068,672

掲表ノ如ク本年ニ於ケル工産總價額ハ1,232,068,672圓デアツテ前年ニ比シ136,643,918圓(1割2分5厘)ノ増加デアアルガ、五年前ノ昭和三年ニ比ベルト254,817,826圓(1割7分1厘)ノ減少ニナツテイル、尙十ヶ年前ノ大正十二年ニ較ベルト1,117,603,842圓(1割6厘)ヲ増加シテ居ル。

染織工業ハ96,346,612圓デ、前年ニ比ベルト72,868,423圓(2割6分6厘)ノ大増加デアアルガ、昭和三年ニ比ベルト121,784,366圓(2割6分)ノ激減又大正十二年ニ比ベルト56,805,418圓(1割4分1厘)ノ減少デアアル。

機械及器具工業ハ274,393,892圓デ前年ニ比ベルト3,111,080圓(1分1厘)ノ増昭和三年ニ比ベルト59,280,845圓(1割7分8厘)ノ減少、大正十二年ニ比ベルト64,249,863圓(3割6厘)ノ激増ニ當ツテイル。

化學工業ハ199,541,126圓デ前年ニ比シ24,803,019圓(1割4分2厘)ノ増、昭和三年ニ比シ29,392,924圓(1割2分5厘)ノ減、大正十二年ニ比ベルト36,357,533圓(2割2分3厘)ノ増加ヲ示シテ居ル。

飲食物工業ハ106,713,894圓デ前年ニ比ベルト6,271,158圓(6分2厘)ノ増、昭和三年ニ比ベルト28,060,112圓(2割8厘)ノ減、大正十二年ニ比ベルト12,582,751圓(1割5厘)ノ減少デアアル。

雜工業ハ148,937,498圓デ前年ニ比ベルト18,333,694圓(1割4分)ノ増、昭和三年ニ比ベルト23,652,992圓(1割3分7厘)ノ減、大正十二年ニ比ベルト24,593,737圓(1割9分8厘)ノ増加デアアル。

特別工業ハ155,786,142圓デ前年ニ比ベルト11,256,544圓(7分8厘)ノ増、昭和三年ニ比ベルト7,353,413圓(5分)ノ増、大正十二年ニ比ベルト61,790,878圓(6割5分7厘)ノ大激増デアアル、即チ前年ニ比ベテ各工業共増加シテ居ル、其中デ尤モ増加率ノ高イノハ染織工業、次ハ化學工業デ、尤モ低イノハ機械及器具工業デアアル。昭和三年ニ比ベテハ特別工業以外ノモノハ皆減少ヲ示シテ居ル。大正十二年ニ比ベルト機械及器具工業、化學工業、雜工業、特別工業等ハ増加シテイルガ染織工業、飲食物工業等

ハ減少シタコトニナル。

昭和七年工産價額ヲ六大分類別ニソノ割合ヲ示スト、尤モ多イノハ染織工業デ總額ノ2割8分1厘ヲ占メ、次ハ機械及器具工業ノ2割2分3厘、以下化學工業ノ1割6分2厘、特別工業ノ1割2分6厘、雜工業ノ1割2分1厘、飲食物工業ハ最低デ8分7厘ニ當ツテ居ル。

次ニ工産物價額指數ヲ大正十二年ヲ基準年度トシテ示スト總額ニ於テハ大正十三年115、同十四年121、昭和元年123、同二年125、同三年133、同四年146、同五年111、同六年98、同七年111デ昭和五年ニ稍減シ、同六年ニハ激減、本年ハ昭和五年ト同ジデアル。

染織工業デハ大正十三年117、同十四年127、昭和元年116、同二年118、同四年124、同五年79、同六年68同七年86トナリ、昭和五年ニハ激減シ更ニ昭和六年ニハ著シク激減ヲ示シタ。之ハ滿洲事變勃發シテ以來日支貿易ノ不振ヲ來シタノト、世界的不況漸ク擡頭シテ輸出貿易不振トナツタ結果デアロウ。

機械及器具工業ニ於テハ大正十三年106、同十四年109、昭和元年121、同二年134同三年159、同四年193、同五年142、同六年129、同七年131デアル。本工業ハ前述ノ染織工業程著シイ變動ハナイ、大正十三年ヨリ、昭和四年迄遞増シ、同五年ヨリ遞減シテ居ル。

化學工業デハ大正十三年115、同十四年119、昭和元年130、同二年132、同三年140、同四年154、同五年125、同六年107、同七年122ニ當ル。即チ昭和四年迄増加シ五年以降ハ減少シテイルガ本年ハ前年ヨリ増加シタ。

飲食物工業ハ大正十三年116、同十四年109、昭和元年109、同二年104、同三年113、同四年109、同五年94、同六年84、同七年89トナル。即チ昭和四年マデハ一高一低デ大差ハナイガ、同五年ニハ著減、同六年モ續減シタガ本年ハ少シ増加シテ居ル。

雜工業デハ大正十三年131、同十四年133、昭和元年153、同二年131、同三年139同四年146、同五年121、同六年105、同七年120デアル。昭和元年最高デ、同四年ニハ上昇ヲ示シテイルガ、同六年ハ最低位デアル。

特別工業ハ電氣瓦斯等デアル。大正十三年109、同十四年125、昭和元年120、同二年143、同三年158、同四年170、同五年167、同六年154、同七年166トナル。昭和六年ニハ減少シタガ、各年共向上シタ、コレハ本工業ノ企業組織ハソノ經營ニ大資本ヲ必要トスルノデ、殆ンド獨占形態ヲナシテ居ルカラ、都市ノ發展ト相俟ツテ年ト共ニ需用ガ増加スルカラデアロウ。

4. 工産物價額郡市別

(單位 円)

	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	特別工業	計
總數	346,696,120	274,393,892	199,541,126	106,713,894	148,937,498	155,786,142	1,232,068,672

續

	染織工業	機械及器具工業	化學工業	飲食物工業	雜工業	特別工業	計
大阪市	142,010,584	258,684,681	170,747,983	82,738,388	129,365,954	155,044,542	938,592,132
堺市	13,350,866	6,230,350	12,398,344	5,043,353	10,530,102	387,859	47,940,874
岸和田市	14,085,262	117,172	220,575	390,862	582,111	138,361	15,534,343
三島郡	10,493,134	2,914,797	4,164,433	10,650,778	1,135,856	—	29,358,998
豊能郡	6,385,532	129,626	1,342,291	1,180,512	573,905	—	9,611,866
泉北郡	35,660,598	339,850	1,213,294	414,632	741,257	—	38,369,631
泉南郡	105,122,417	1,860,121	1,736,184	3,362,563	1,592,482	46,670	113,666,437
南河内郡	6,219,216	469,999	2,480,380	1,314,742	1,178,982	168,710	11,832,029
中河内郡	9,624,160	3,621,277	4,971,105	991,925	2,741,903	—	21,950,370
北河内郡	3,744,351	80,019	266,537	626,139	494,946	—	5,211,992

上表ニ於テハ工産物價額ヲ郡市別ニ示シタノデアルガ、更ニ分節比ヲ求メルト總額ニ於テハ大阪市76.18%デ大多數ヲ占メ、之ニ亞イデハ泉南郡ノ9.23%、堺市ノ3.89%、泉北郡ノ3.11%ハ多イ方デ、其ノ他ハ三島郡2.38%、中河内郡1.78%、南河内郡0.96%、豊能郡0.78%ニ割合シ、北河内郡ハ0.43%デ最モ少ナイ。更ニ六大分類別ニ示スト。

染織工業ニ於テハ大阪市40.96%デ首位ヲ占メ、次ハ泉南郡ノ30.32%、泉北郡ノ10.29%ハ多イ方デアル。以下岸和田市4.60%、堺市3.85%、三島郡3.03%、中河内郡2.78%、豊能1.84%、南河内郡1.79%ニ割合シ、北河内郡ノ1.08%ハ最下位デアル。

機械及器具工業デハ大阪市94.27%ニシテ大部分ヲ占メ、堺市2.27%、中河内郡1.32%、三島郡1.06%、泉南郡0.66%、南河内郡0.17%、泉北郡0.17%、豊能郡0.05%、岸和田市0.05%ノ割合ニ當リ、北河内郡ハ0.03%デ同シク最少デアル。

化學工業ハ大阪市85.58%ヲ占メ筆頭デ、次ハ堺市6.21%ハ多イ方デ、以下中河内郡2.49%、三島郡2.09%、南河内郡1.24%、泉南郡0.87%、豊能郡0.67%、泉北郡0.67%、北河内郡0.13%等ニ當リ、岸和田市ノ0.11%ハ最低位デアル。

飲食物工業ハ大阪市77.53%ヲ占メ首位デ、次ハ三島郡9.98%ニ當リ、以下堺市4.73%、泉南郡3.15%、南河内郡1.23%、豊能郡1.11%、中河内郡0.98%、北河内郡0.58%、泉北郡0.39%等ニ割合シ、岸和田市ノ0.37%ハ最モ少イ。

雜工業デハ大阪市86.86%ニシテ最高位ヲ示シ、次ニ多イノハ堺市ノ7.07%デアル、以下中河内郡ノ1.84%、泉南郡1.07%、南河内郡0.80%、三島郡0.76%、泉北郡0.50%、岸和田市0.39%、豊能郡0.38%等ニ割合シテ、北河内郡ノ0.33%ハ最少デアル。

特別工業ニ於テハ大阪市99.52%デ殆ンド全部ヲ占メ、堺市ハソノ次デアルガ僅カニ0.24%ニ割合シ、以下南河内郡0.12%、岸和田市ノ0.09%、泉南郡ノ0.03%等ニ當リ、他ノ五郡ハ該當ガナイ。

以上デ地理的分布ノ割合ヲ記述シタガ、何レノ工業ニ於テモ大阪市ガ首位ニ在リ、而カモ染織工業以外ハ何レモ壓倒的多数ヲ占メテ居ル、即チ染織工業ハハ泉南郡、泉北郡ニ機業發達シテ居ルカラデアル。機械及器具、化學、雜ノ各工業ハ堺市ニ相當多イ、又飲食物工業ハ三島郡ニ盛ンデアル。

5. 工産物價額工業別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
總數	1,095,424,754	1,232,068,672	(+) 136,643,918	(+) 1.25
染織工業	273,827,697	346,696,120	(+) 72,868,423	(+) 2.66
機械及器具工業	271,282,812	274,393,892	(+) 3,111,080	(+) 0.11
化學工業	174,738,107	199,541,126	(+) 24,803,019	(+) 1.42
飲食物工業	100,442,736	106,713,894	(+) 6,271,158	(+) 0.62
雜工業	130,603,804	148,937,498	(+) 18,333,694	(+) 1.40
特別工業	144,529,598	155,786,142	(+) 11,256,544	(+) 0.78

本年ノ工産價額ヲ工業別ニ前年ト比較スルト上表ノ如クデアル。各工業共前年ヨリ増加シテ居ルガ、一千萬圓以上増加シタノハ染織工業、化學工業、雜工業、特別工業デ、他ハ百萬圓以上ノ増加ヲ示シタ。前年ニ比ベテ總額ニ於テ1割2分5厘増加シテ居ル、増加率ノ最モ多イノハ染織工業ノ2割6分6厘、次ハ化學工業ノ1割4分2厘、以下雜工業ノ1割4分、特別工業ノ7分8厘、飲食物工業ノ6分2厘デ機械及器具工業ハ僅カ1分1厘ニ當リ軍需工業景氣ノ昨今一寸異ナツタ現象ノ様ニ思ハレルガ、コレハ七年ノ事實デアルカラ軍需インフレハ未ダ影響ガ少ナイモノト觀測スルノガ適當デアロウ。

6. 染織工業價額品種別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
總數	273,827,697	346,696,120	(+) 72,868,423	(+) 2.66
綿糸紡績	91,805,699	108,301,617	(+) 16,495,918	(+) 1.80
絹糸紡績	4,447,902	4,654,871	(+) 206,969	(+) 0.47
麻糸紡績	2,494,137	3,042,270	(+) 548,133	(+) 2.20
製綿	2,191,052	2,128,176	(-) 62,876	(-) 0.29
組紐編物	880,085	922,617	(+) 42,532	(+) 0.48
織物類	113,234,758	146,854,032	(+) 33,619,274	(+) 2.97
撚糸	7,304,461	5,860,599	(-) 1,443,862	(-) 1.98
ドロンウオーク及パテンレース	223,284	275,024	(+) 51,740	(+) 2.32

續

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
染物及晒工賃	18,549,070	26,574,316	(+) 8,025,246	(+) 4.33
艶付洗張湯熨斗	1,172,741	1,418,917	(+) 246,176	(+) 2.10
西洋洗濯	1,327,855	1,452,443	(+) 124,588	(+) 0.94
莫大小	20,950,422	26,178,362	(+) 5,227,940	(+) 2.50
手巾	54,780	476,100	(+) 421,320	(+) 76.91
カタン糸	3,791,959	3,161,920	(-) 630,039	(-) 1.66
其ノ他	5,399,492	15,394,856	(+) 9,995,364	(+) 18.51

表示シタ通り本年ニ於ケル染織工業總價額ハ346,696,120圓デ、前年ニ較ベテ72,868,423圓(2割6分6厘)ヲ増加シテ居ル、十五品種中増加シタモノハ綿糸紡績外十一種目デ、他ノ三種目ハ減少シタ。増加額ノ最モ多イノハ織物類デ33,619,274圓、次ハ綿糸紡績ノ16,495,918圓、其ノ他(雜類)9,995,364圓、染物及晒工賃8,025,246圓、莫大小5,227,940圓、撚糸1,443,862圓、等ハ多イ方デ夫々百萬圓以上増加シタモノデアアル。次ニ品種別増加ノ割合ヲ示スト、手巾ノ76割9分1厘ヲ筆頭ニ、其ノ他(雜類)18割5分1厘、染物及晒工賃4割3分5厘、織物類2割9分7厘、莫大小2割5分、ドロンウオーク及パテンレース2割3分2厘、麻糸紡績2割2分、艶付洗張湯熨斗2割1分、綿糸紡績1割8分等デ、以上ハ皆一割以上ノ増加ヲ示シタモノヲ列舉シタノデアアルガ、他ハ皆一割ニ滿タナイ。減少シタ主ナルモノハ撚糸デ1,443,862圓(1割9分8厘)ノ減額ニシテ他ハ、カタン糸、製綿デアアル。

十五品種中産額ノ大ナルモノヲ示スト、織物類146,854,032圓ガ筆頭デ、總額ニ對スル割合ハ42.36%、次ハ綿糸紡績108,301,617圓ニシテ、總額ニ對スル割合ハ31.24%、以下染物及晒工賃26,574,316圓デ7.67%、莫大小ハ26,178,362圓、7.55%等又多ク、何レモ二千萬以上デアアル。

7. 機械及器具工業價額品種別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
總數	271,282,812	274,393,892	(+) 3,111,080	(+) 0.11
金銀製品	951,410	388,425	(-) 562,985	(-) 5.92
銅器・青銅器・眞鍮器	1,975,177	2,198,174	(+) 222,997	(+) 1.13
鐵製鍋・釜・鐵瓶類	2,822,747	5,303,861	(+) 2,481,114	(+) 8.79
刃物類	1,537,471	1,466,717	(-) 70,754	(-) 0.46
アンチモニウム製品	74,879	40,925	(-) 33,954	(-) 4.53
アルミニウム製品	9,685,843	13,576,633	(+) 3,890,790	(+) 4.02

續

	昭和六年	昭和七年	昭和六年=比 シ 増 減	同上割合
針 金	26,819,003	25,758,423	(-) 1,060,580	(-) 0.40
諸機械及附屬品	46,847,428	48,370,210	(+) 1,522,782	(+) 0.33
建築及家具用金具	6,205,878	6,355,508	(+) 149,630	(+) 0.24
電 氣 器 具	11,981,582	15,521,269	(+) 3,539,687	(+) 2.95
金 屬 管	9,291,811	12,435,589	(+) 3,143,778	(+) 3.38
車 輛 製 造	28,420,037	28,268,260	(-) 151,777	(-) 0.53
船 舶 製 造	8,494,554	7,144,989	(-) 1,349,565	(-) 1.59
鉄 力 細 工	3,914,395	5,543,554	(+) 1,629,159	(+) 4.16
時 計	130,365	251,513	(+) 121,148	(+) 9.29
其 他	112,130,232	101,769,842	(-) 10,360,390	(-) 0.92

掲表ノ如ク本年ニ於ケル機械及器具工業ノ總價額ハ274,393,892圓デ、前年ニ比シ 3,111,080圓 1分1厘ヲ増加シテ居ル。品種別ニ觀ルト十六品種中増加シタモノハ銅器、青銅器、眞鍮器外八品種、減少シタモノハ金銀製品外六品種デア。前年ニ比シ増加シタモノノ中最モ多イノハアルミニウム製品ノ13,890,790圓、次ハ電氣器具 3,539,687圓以下金屬管8,143,778圓、鐵製鍋釜鐵瓶類 2,481,114圓、鉄力細工 1,629,159圓、諸機械及附屬品 1,522,782圓等ハ何レモ百萬圓以上ノ増加ヲ來シタモノデア。減少シタ主ナルモノハ其ノ他(雜類)デ10,360,390圓、次ハ船舶製造1,349,565圓、針金1,060,580圓等ハ多イ方デ何レモ百萬圓以上減少シタモノデア。次ニ増減ノ割合ヲ示スト——先ヅ増加シタモノデハ時計ノ9割2分9厘ガ最高、鐵製鍋、釜、鐵瓶類ハ8割7分9厘デ之ニ亞ギ、以下鉄力細工4割1分6厘、アルミニウム製品4割2厘、金屬管3割3分8厘、電氣器具2割9分5厘、銅器、青銅器、眞鍮器1割1分3厘等デ他ハ少率デア。

減少シタ中デ最モ著シイノハ金銀製品ノ5割9分2厘デ、次ハアンチモニー製品ノ4割5分3厘、船舶製造ノ1割5分9厘等ハ高率ノ方デア。十六品種ノ内其ノ他ノ雜類ガ一億圓以上デ最モ多ク、機械及器具工業總額ノ37.09%ニ當リ、諸機械及附屬品ハ17.63%、車輛製造10.30%、針金、9.39%、電氣器具5.23%、アルミニウム製品4.95%、金屬管4.53%デ何レモ千萬圓以上ノ産額デア。

8. 化學工業價額品種別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和七年=比 シ 増 減	同上割合
總 數	174,738,107	199,541,126	(+) 24,803,019	(+) 1.40
陶 磁 器	800,652	922,713	(+) 122,061	(+) 1.52
硝 子 製 品	12,032,698	15,153,436	(+) 3,120,738	(+) 2.59

續

	昭和六年	昭和七年	昭和六年=比 シ 増 減	同上割合
セメント	5,092,124	6,472,713	(+) 1,380,589	(+) 2.71
コークス	2,054,674	2,169,055	(+) 114,381	(+) 0.56
煉瓦	1,023,430	1,003,954	(-) 19,476	(-) 0.19
瓦	853,742	1,030,697	(+) 176,955	(+) 2.07
土管	157,097	175,098	(+) 18,001	(+) 1.15
坩堝	816,963	1,085,580	(+) 268,617	(+) 3.29
西洋紙	11,266,285	8,963,139	(-) 2,303,146	(-) 2.04
和紙	301,106	124,229	(-) 176,877	(-) 5.87
漆器	215,298	173,575	(-) 41,723	(-) 1.94
製革	3,215,068	3,570,088	(+) 355,020	(+) 1.10
燐寸	187,177	257,616	(+) 70,439	(+) 3.76
油類	5,353,528	5,344,041	(-) 9,487	(-) 0.02
工業用藥品	14,902,550	18,723,564	(+) 3,821,014	(+) 2.56
醫療用藥品及賣藥	21,450,761	22,519,775	(+) 1,069,014	(+) 0.50
セルロイド製品	6,359,757	7,380,192	(+) 1,020,435	(+) 1.60
護謄製品	10,501,490	12,962,265	(+) 2,460,775	(+) 2.34
化粧品	16,264,752	12,730,783	(-) 3,533,969	(-) 2.17
石鹼	8,300,089	9,254,055	(+) 953,966	(+) 1.15
蠟燭	2,678,245	2,546,969	(-) 131,276	(-) 0.49
薰物及線香	2,327,554	2,470,110	(+) 142,556	(+) 0.61
製藍	1,584	765	(-) 819	(-) 5.17
塗料顏料	12,740,056	16,025,490	(+) 3,285,434	(+) 2.58
染料	8,420,486	13,855,095	(+) 5,434,609	(+) 6.45
肥料	11,803,095	15,001,520	(+) 3,198,425	(+) 2.71
イソキ	2,027,786	2,003,650	(-) 24,136	(-) 0.12
七寶	10,080	1,500	(-) 8,580	(-) 8.51
其 他	13,579,980	17,619,459	(+) 4,039,479	(+) 2.97

上表ニ示ス如ク本年ニ於ケル化學工業ハ199,541,126圓デ前年ノ事實ニ較ベ、24,803,019圓(1割4分2厘)ヲ増加シテ居ル、二十九品種中、増加シタモノハ、陶磁器外十八品種、減少シタモノハ煉瓦外九品種デア、今増減額百萬圓以上ノモノヲ例舉スルト、先ヅ増加シタモノデハ染料ノ5,434,609圓ヲ筆頭ニ、其ノ他(雜類)4,039,479圓、工業用藥品3,821,014圓、塗料顏料ノ3,285,434圓、肥料ノ3,198,425圓、硝子製品ノ31,20,738圓、護謄製品2,460,775圓、セメントノ1,380,589圓、醫療用藥品及賣藥ノ1,069,014圓、セルロイド製品ノ1020,435圓等デアツテ、減少シタモノハ化粧品ノ3,535,969圓、西洋紙ノ2,303,146圓デア。

次ニ前年トノ増減狀況ヲ割合デ觀察スルト、増加率ノ最モ高イノハ染料ノ6割4分

5厘、次ハ隣寸ノ3割7分6厘、以下坩堝ノ3割2分9厘、其ノ他(雜類)2割9分7厘、セメント2割7分1厘、肥料モ同シク2割7分1厘、硝子製品2割5分9厘、塗料顏料2割5分8厘、工業用藥品2割5分6厘、護謨製品2割3分4厘、瓦2割7厘、セルコイド製品1割6分、陶磁器1割5分2厘、土管1割1分5厘、同ジク石鹼モ1割1分5厘、製革1割1分等以上ノ十六品種ハ増加シタ十九品種中一割以上増加シタモノ計リデアル。減少率ノ最モ高イノハ七寶ノ8割5分1厘、次ハ和紙ノ5割8分7厘、以下製藍ノ5割1分7厘、化粧品ノ2割1分7厘、西洋紙2割4厘、漆器ノ1割9分4厘等ハ減少シタ品種中、一割以上減少シタ六品種ニ就テ示シタノデアル。

二十九品種中生産額ノ最モ多イノハ醫療用藥品及賣藥デ總額ノ11.29%ヲ占メ、次ハ工業用藥品ノ9.38%以下其ノ他(雜類)8.83%、塗料顏料8.03%、肥料7.52%、染料6.94%、護謨製品6.50%、化粧品6.38%、等デ之等ハ皆産額千萬圓以上ノモノデアル。

9. 飲食物工業價額品種別比較

總數	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シテ		同上割合
			増	減	
總數	100,442,736	106,713,894	(+)	6,271,158	(+) 0.62
酒類	19,128,147	20,146,531	(+)	1,018,384	(+) 0.53
醬油	2,234,130	1,882,194	(-)	351,936	(-) 1.58
清涼飲料水	2,195,542	2,306,828	(+)	111,286	(+) 0.51
酢	431,425	381,628	(-)	49,797	(-) 1.15
味噌	1,348,778	1,411,077	(+)	62,299	(+) 0.46
煙草	19,996,569	16,632,084	(-)	3,364,485	(-) 1.68
砂糖	15,771,274	14,567,163	(-)	1,204,111	(-) 0.76
寒天	1,332,171	1,228,848	(-)	103,323	(-) 0.78
製氷	4,562,681	2,415,043	(-)	2,147,638	(-) 4.71
精米及精麥	813,783	819,961	(+)	6,178	(+) 0.08
穀粉	3,772,298	4,780,415	(+)	1,008,117	(+) 2.67
澱粉	720,953	796,553	(+)	75,600	(+) 1.05
罐詰	679,475	629,209	(-)	50,266	(-) 0.74
肉製品	95,415	243,442	(+)	148,027	(+) 15.51
豆腐	3,231,178	3,198,450	(-)	32,728	(-) 0.10
蒟蒻	507,544	423,009	(-)	84,535	(-) 1.67
湯葉	87,397	107,557	(+)	20,160	(+) 2.31
製作昆布	353,769	516,745	(+)	162,976	(+) 4.61
菜子類	11,152,867	23,898,346	(+)	12,745,479	(+) 11.43
餚	759,151	1,393,535	(+)	634,384	(+) 8.36
佃煮	42,151	76,760	(+)	34,609	(+) 8.21
田麩	63,020	12,000	(-)	51,020	(-) 8.10
麵類	48,720	51,150	(+)	2,430	(+) 4.99
穀類	171,747	184,315	(+)	12,569	(+) 0.73
漬物	1,567,365	1,650,257	(+)	82,892	(+) 0.52
茶	97,853	86,912	(-)	10,941	(-) 1.12
其他	9,277,333	6,873,881	(-)	2,403,452	(-) 2.59

表示シタ様ニ本年ノ飲食物工業總價額ハ106,713,894圓デ前年ニ較ベルト、6,271,158圓(6分2厘)ノ増加デアル。品種別ニ觀レバ、二十七種目ノ内増加シタモノハ酒類外十四品デ、減少ヲ示シタモノハ醬油外十一品デアル。今増減額百萬圓以上ノモノヲ例舉スルト菓子類ノ12,745,479圓、酒類ノ1,018,384圓、穀粉ノ1,008,117圓等ハ増加シタ方デ、減少シタモノハ煙草ノ3,364,485圓、其ノ他(雜類)ノ2,403,452圓、製氷ノ2,147,638圓デアル。

次ニ前年トノ増減狀況ヲ割合デ觀察スルト、増加率ノ最モ高イモノハ乳肉製品ノ15割5分5厘、次ハ菓子類ノ11割4分3厘、以下餚8割3分6厘、佃煮ノ8割2分1厘、麵類ノ4割9分9厘、製作昆布ノ4割6分1厘、穀粉ノ2割6分7厘、湯葉2割3分1厘、澱粉ノ1割5厘等ハ多イ方デ皆一割以上増加シタモノ計リデ、増加シタ十五品中六品ハ一割未滿ノモノデアル。減少率ノ最モ甚シイノハ田麩ノ8割1分、次ハ製氷ノ4割7分1厘、以下其ノ他(雜類)2割5分9厘、煙草1割6分8厘、醬油1割5分8厘、蒟蒻1割6分7厘、酢1割1分5厘、製茶1割1分2厘等ハ皆一割以上減少シタモノデ、減少シタ十二品中、八品ハ一割以上ノ減少デアル。

總額ノ中主ナル品種ノ占メル割合ヲ見ルト菓子類ガ22.39%デ最モ多ク、次ハ酒類18.88%、煙草ノ15.59%、砂糖ノ13.65%等ハ千萬圓以上ノ産額ヲ有シテ居ル。

10. 雜工業價額品種別比較

總數	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シテ		同上割合
			増	減	
總數	130,603,804	148,937,498	(+)	18,333,694	(+) 1.40
文具	3,208,821	3,554,357	(+)	345,536	(+) 1.08
製本印刷	42,920,283	45,182,777	(+)	2,262,494	(+) 0.53
紙製品	8,219,817	8,377,846	(+)	158,029	(+) 0.19
表装類	465,273	453,472	(-)	11,801	(-) 0.25
木製品	12,372,577	14,578,257	(+)	2,205,680	(+) 1.78
疊其ノ他敷物	1,161,455	1,230,214	(+)	68,759	(+) 0.59
籐製品	280,647	305,912	(+)	25,265	(+) 0.90
履物及部分品	1,786,723	1,710,729	(-)	75,994	(-) 0.43
傘及提灯	192,837	131,644	(-)	61,193	(-) 3.17
扇子及團扇	125,100	573,631	(+)	448,531	(+) 35.85
帽子	3,007,506	3,734,628	(+)	727,122	(+) 2.42
刷子及刷毛	2,512,243	3,108,122	(+)	595,879	(+) 2.37
釦	1,676,506	1,831,123	(+)	154,617	(+) 0.92
竹製品	931,120	881,226	(-)	49,894	(-) 0.54
杞柳製品	44,951	30,211	(-)	14,740	(-) 3.28
棕櫚製品	59,691	88,017	(+)	28,326	(+) 4.75
玩具	1,344,503	1,448,327	(+)	103,824	(+) 0.77

續

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比 シ増減	同上割合
樂器類	1,094,844	384,411	(-) 710,433	(-) 6.49
洋服	3,268,810	3,564,739	(+) 295,929	(+) 0.91
和服	266,972	273,484	(+) 6,512	(+) 0.24
刺繡	89,383	126,161	(+) 36,778	(+) 4.10
皮革製品	8,358,688	8,555,241	(+) 196,553	(+) 0.24
凝革	281,640	367,985	(+) 86,345	(+) 3.07
及ブツクロース	742,034	905,878	(+) 163,844	(+) 2.21
洋傘	1,318	2,940	(+) 1,622	(+) 12.31
麥稈・經木麻眞田	215,613	265,395	(+) 49,782	(+) 2.31
彫刻	619,139	641,543	(+) 22,404	(+) 0.36
藁製品	183,453	281,703	(+) 98,250	(+) 5.36
炭團	2,499,629	2,655,163	(+) 155,534	(+) 0.62
石綿及其加工品	417,527	479,321	(+) 61,794	(+) 1.48
農具	3,808,502	10,694,990	(+) 6,886,488	(+) 18.08
製材	9,530,055	8,643,338	(-) 886,717	(-) 0.93
足袋	18,916,144	23,874,758	(+) 4,958,614	(+) 2.62
其ノ他				

掲表ノ如ク本年ニ於ケル雜工業總價額ハ148,937,498圓デ前年ニ比シ18,333,894圓(1割4分)ヲ増加シテイル。品種別ニ見ルト總數三十三種類中増加セルモノハ文房具外二十五種類、減少セルモノニハ表装類外六種類デアル。今増減額百萬圓以上ノモノヲ列擧スルト、先ヅ増加セルモノデハ製材6,886,488圓ヲ筆頭ニ其ノ他(雜類)4,958,614圓、製本印刷2,262,494圓、木製品2,205,680圓等デ、減少セル品種ノ中ニハ百萬圓以上ノモノハナイ。

次ニ前年トノ増減狀況ヲ割合ニテ觀察スルト、増加率ノ最も高イノハ扇子及團扇デ35割8分5厘、次ハ製材ノ18割8厘、以下麥稈、經木麻眞田12割3分1厘、炭團5割3分6厘、棕梠製品4割7分5厘、刺繡4割1分、擬革及ブツクロースノ3割7厘、其ノ他(雜類)2割6分2厘、帽子2割4分2厘、刷子及刷毛2割3分7厘、彫刻2割3分1厘、洋傘2割2分1厘、木製品1割7分8厘、農具1割4分8厘、文房具1割8厘、等ハ皆一割以上増加シタモノデ、残りノ十品種ハ一割以下デアル。減少率ノ高イノハ樂器類デ6割4分9厘、次ハ杞柳製品3割2分8厘、傘及提灯3割1分7厘ハ多イ方デ、減少シタ七品種中ノ三品種ハ一割以下デアル。

三十三品種中、産額一千万圓以上ノモノニ付總額ニ對スル百分比ヲ求メテ示スト、製本印刷30.34%其ノ他(雜類)16.03%木製品9.79%、製材7.18%等ニ當ツテ居リ、其ノ他足袋、洋傘、竹製品等ハ何レモ一千万圓ニ近イ産額デアル。

11. 特別工業價額品種別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比 ス増減	同上割合
總數	144,529,598	155,786,142	(+) 11,256,544	(+) 0.78
度量衡	2,327,624	1,334,362	(-) 993,262	(-) 4.27
金屬精煉	12,433,190	21,301,959	(+) 8,868,769	(+) 7.13
電氣	117,143,701	118,455,608	(+) 1,311,907	(+) 0.11
瓦斯	12,625,083	14,694,213	(+) 2,069,130	(+) 1.64

表示セルガ如ク本年ニ於ケル特別工業總價額ハ155,786,142圓デ前年ニ比シ11,256,544圓(7分8厘)ノ増加デアル。品種別ニ觀ルト増加シタノハ金屬精煉、電氣、瓦斯、デ度量衡器具ハ減少シテ居ル、品種別ニ前年ト比較シ、割合デ示スト、増加率ノ高イノハ金屬精煉ノ7割1分3厘デ、次ハ瓦斯ノ1割6分4厘、電氣ノ1分1厘ハ最低デアル、減少シタ度量衡器具ノ減少率ハ4割2分7厘デアル。

四種目ノ内産額ノ多イノハ電氣ノ118,455,608圓デ特別工業總額ニ對スル割合ハ76.13%ニ當リ、本府工産物品種中ニ於テモ首位ヲ占メテ居ル。之ニ亞グモノハ金屬精煉ノ21,301,959圓ニシテ總額ニ對スル割合ハ13.67%、瓦斯ノ14,694,213圓デ總額ニ對シ9.43%ニ相當シ何レモ一千万圓以上ノ産額ヲ示シテ居ル。

論より統計

統計事實に敵はない

農 業

管内ニ於ケル農業ノ狀勢 本府ハ夙ニ商工業ノ樞地トシテ聞エテ居リ刻々ニ進展シテ行ク斯業ノ爲殊ニ産業ノ内デモ農業ガ最も之ガ影響甚大ニシテ、就中都市ノ膨脹、隣接町村ノ發達、交通機關ノ發達並土木事業等ノ爲ニ耕地ハ年々蠶食セラレ、農家モ亦年ト共ニ減少スル状態ニ在ル。而モ昭和五年初頭ニ於ケル金解禁ト共ニ漸落シタ農産物ハ本年ニ入ツテモ依然急激ニ昂勢ヲ示スニ至ラズ、生産費ノ低下モ望メナイ關係カラ、サナキダニ收入ノ少イ農家ノ經濟ハ益々苦境ニ陥リ、自然ト農業隆興ノ途ヲ塞グ素因ヲ爲シテ居ル。然シナガラ一面ヨリ云ヘバ本府ノ土地ハ一般ニ豐沃デアリ、灌溉ノ便ニ富ミ、又大阪、堺等ノ大都市ヲ擁シテ其ノ絶大ナル消費ニ對シ之レガ供給上優越セル地ノ利ヲ占メテ居ルガ爲、農業方法ニ於テハ集約的ニ相當發達シ、最近ハ特ニ多角の經營並ニ特殊栽培ガ行ハレル傾向アリ、此ノ現状ニ鑑ミタ本府デハ耕地整理及土地改良、農事ノ試験研究並ニ指導、副業獎勵、有望種

ヲ配布シテ栽培ノ獎勵ヲナス等普通農事ニ關シテハ最善ノ努力ヲ拂フト共ニ、又共同耕作、畜力、機械力、特ニ優良農具ノ利用ヲ獎メ以テ作業能率ノ増進ヲ圖リ、又一方農業知識ヲ普及セシメル爲メ農談會ヲ催シ、農業技術ノ進歩ヲ促ガス爲メ農業技術競技會ヲ開催スル等、技術ノ改良ニ依リ生産ノ増進ヲ計劃シテ居ル。又一面經營方法ヲ改善シテ生産費ノ節減ヲ企圖シ以テ農業收益ノ増加ヲ計リ、農家隣保共勵主義農業實行組合ノ設立ヲ促ガシ、農事諸般ノ改良事項ノ實行及共同利益ノ獲得社交上ノ改善ヲ獎勵以テ農村文化ノ向上ヲ期シ、農村ノ發達、農家ノ福利増進ヲ劃シ、又農産物ノ貯藏販賣機關トシテ農業倉庫及出荷組合ノ設立ヲ獎勵スル等時代ニ順應スル各種ノ施設對策及農村振興土木事業實施ヲ以テ農家經濟ノ發達ヲ促スベク努メタル結果府下農業ノ技術的方面ハ逐年進歩シ其ノ實績ハ着々トシテ現ハレテ居ルノデアアル。

以下右表ニ付テ生産價額ノ概要ヲ觀察シヨウ。

百年の計は統計の上に植付く 統計は知識の源泉

12. 農産物價額累年比較

(單位圓)

	米	麥	食用農産物	園藝農産物
大正十二年	39,473,259	2,706,845	1,648,070	12,061,076
同十三年	38,845,103	3,276,592	1,377,518	12,598,871
同十四年	42,611,262	4,879,152	1,488,723	10,741,877
昭和元年	37,632,857	3,385,145	1,295,371	10,969,385
同二年	35,371,409	3,170,176	1,410,173	11,224,770
同三年	32,572,617	2,982,222	1,326,880	12,718,902
同四年	32,554,292	2,893,156	1,289,217	13,071,881
同五年	23,952,534	1,922,429	1,062,884	11,187,022
同六年	17,084,486	1,554,785	952,813	10,178,411
同七年	23,009,149	1,423,802	972,912	9,855,101

續

	工藝農産物	綠肥	苗木	繭	蜜蜂	計
大正十二年	580,582	76,111	316,682	201,970	3,737	57,068,332
同十三年	721,139	83,992	306,852	131,670	4,148	57,345,885
同十四年	783,221	60,550	588,512	233,527	3,087	61,389,911
昭和元年	999,059	85,185	303,995	219,886	2,600	54,893,483
同二年	1,252,353	70,928	493,560	231,267	2,576	53,227,212
同三年	1,268,462	49,293	363,292	300,560	3,332	51,585,560

續

	工藝農産物	綠肥	苗木	繭	蜜蜂	計
同四年	1,470,013	66,303	334,125	372,971	2,456	52,054,414
同五年	1,256,151	69,436	386,153	180,933	2,722	40,020,264
同六年	1,080,497	58,627	301,133	132,864	2,222	31,345,838
同七年	1,035,318	46,835	349,266	152,299	1,826	36,846,508

掲表ノ如ク本年ニ於ケル農産物價額ハ36,846,508圓ニテ前年ノ事實ニ對比シテ5,500,670圓(1割7分5厘)増加ス。

サレド五年前ノ昭和三年ニ比シテ14,739,052圓(2割8分6厘)又十年前ノ大正十二年ニ比シテ20,221,824圓(3割5分4厘)ヲ何レモ減少シテ居ル。大正十二年ヲ基準100トシテ十年間ノ消長ヲ指數ニヨリテ之ヲ見レバ次ノ通デアアル。

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
農産物價額	100	100	108	96	93	90	91	70	55	65

大正十四年ヲ最高トシテ以來減退又減退ヲ續ケテ來ツタガ、昭和六年ニ比シ本年ハ稍増加トナツテ居ル。之等ハ米ノ增收ノ結果ト見ルガ妥當デアロウ。

更ニ今總價額ヲ九大分類別ニ指數ヲ求メ増減狀況ヲ觀察スレバ次ノ如クデアアル。

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
米	100	98	108	95	90	82	82	61	43	58
麥	100	121	180	125	117	110	107	71	57	53
食用農産物	100	84	90	79	86	81	78	64	58	59
園藝農産物	100	104	89	90	93	105	108	93	84	82
工藝農産物	100	124	135	172	216	218	253	216	186	178
綠肥	100	110	80	112	93	65	87	91	77	62
苗木	100	97	186	96	156	115	106	122	95	110
繭	100	65	116	106	115	149	185	90	66	75
蜜蜂	100	111	83	70	69	89	66	73	59	49

以上ニヨリ之ヲ見ルニ米ニ於テハ漸次減退ヲ示シタガ本年ハ前年ニ比シ増加トナル、十年前ノ大正十二年ヨリ見レバ約半數トナツテ居ル。

麥ニ於テモ米ト同一歩調ヲトリ漸減ノ傾向デアアル。

食用農産物ニ於テモ逐年減少ノ途ヲ辿リ居リ昭和六年及本年ニ於テハ特ニ減少シテ居ル。

園藝農産物ニ於テハ一高一低シツ、アツタガ昭和四年ヲ最高トシテ以來減退ス。

工藝農産物ニ於テハ順次増加ノ傾向ニテ、特ニ昭和四年ヲ最高トシ以來減少スルモ他農産價額ニ比シテハ素晴シキ増加ト云フ可キデアル。

緑肥ニ在リテハ一高一低シツ、減退シツ、アル。

苗木ニ於テハ増減常ナキ様子ナルモ増加ノ傾向ヲ見ラレル。

繭ニ在リテハ昭和四年迄ハ逐年増加ヲ見シモ昭和五年ヨリ急激ニ減少シ以來減少ガ續イテ居ル。

蜜蜂ハ逐年減少ノ一路ヲ辿リ居リ本年ニ於テハ實ニ十年前ニ比シテ半數以下トナリ居ル。

次ニ本年ニ於ケル農産物總價額ノ内各種類ノ占ムル割合ヲ求ムルト最モ多キハ、米ノ62.45%ニテ第一位ヲ占メ、次ハ園藝、農産物デ26.75%之ニ續キ、他ハ遙ニ少ク、麥3.86%、工藝農産物2.81%、食用農産物2.64%、苗木0.95%、繭0.41%、緑肥0.13%等ニ割合シ蜜蜂ハ僅ニ0.004%ニ過ギナイ。

尙此ノ割合ニ付、既往十年間ノ趨勢ヲ見ルト、各年共ニ米第一位ヲ占メ、園藝農産物第二位ニ在リ、麥第三位ノ順デ、又米ハ常ニ總額ノ半數以上ヲ占メテ居ルガ大体ニ於テ米、麥ノ割合ハ次第ニ低下シ、園藝、工藝兩農産物ハ漸次高マツテ行ク傾向ガ見ラレル。

尙之ガ郡市分布ノ詳細ハ次表ノ通りデアル。

13. 種類別ニ依ル農産物價額郡市別

(單位 円)

	米	麥	食用農産物	園藝農産物
總 數	23,009,149	1,423,802	972,912	9,855,101
大 阪 市	999,716	45,410	86,655	905,655
堺 市	88,701	10,835	77,336	256,357
岸 和 田 市	79,124	6,072	660	20,121
三 島 郡	4,138,453	167,519	44,416	465,098
豐 能 郡	1,743,248	120,028	33,770	687,031
泉 北 郡	2,260,793	234,249	117,636	1,352,784
泉 南 郡	2,803,906	200,104	65,286	2,079,768
南 河 内 郡	3,230,796	238,321	159,971	1,784,254
中 河 内 郡	3,578,504	130,826	244,505	1,631,072
北 河 内 郡	4,085,908	270,438	142,677	672,961

續

	工藝農産物	緑 肥	苗 木	繭	蜜 蜂	計
總 數	1,035,318	46,835	349,266	152,299	1,826	36,846,508

續

	工藝農産物	緑 肥	苗 木	繭	蜜 蜂	計
大 阪 市	5,559	—	23,942	—	200	2,067,137
堺 市	190	—	—	—	—	433,419
岸 和 田 市	8,160	—	422	—	—	114,559
三 島 郡	247,033	5,848	22,777	423	149	5,091,716
豐 能 郡	23,138	8,408	131,994	8,167	354	2,756,138
泉 北 郡	372,535	10,970	44,604	21,437	155	4,415,163
泉 南 郡	221,085	8,705	31,658	11,081	791	5,420,484
南 河 内 郡	82,587	10,553	40,462	36,595	20	5,583,559
中 河 内 郡	2,375	462	50,153	—	32	5,637,929
北 河 内 郡	72,656	3,789	3,254	74,596	125	5,326,404

掲表ニ付テ農産物價額ノ地理的分布ノ狀況ヲ見ルベク、郡市別ノ分節比ヲ求メルト、總價額ニ於テハ中河内郡最モ多ク、15.3%ヲ占メ、次ハ南河内郡15.15%ニテ之ニ亞ギ、泉南郡14.71%、北河内郡14.46%、三島郡13.82%、泉北郡11.98%、豐能郡7.48%、大阪市5.61%、堺市1.18%等ノ割合デ岸和田市ハ最モ少ク0.31%ニ過ギナイ。

各郡市耕地ノ大キサモ異ナリテ又土地ノ状態等モ一様デナイ、故ニ農業ノ盛否ハ連斷ヲ許サザルモ、以テ農産額ノ多寡ヲ知ル事ガ出來ル。

次ニ之ヲ種類別ニ示シテ各郡市ニ於ケル農産物ノ種類並ニソレニ對スル地質ノ適否、土地ノ状態等ヲ觀察スルト、先第一ノ主産物タル米ニ於テハ、三島郡17.99%ニテ第一位ヲ占メテ最モ多ク、次ハ北河内郡17.76%、中河内郡15.55%、南河内郡14.04%、泉南郡12.19%、泉北郡9.83%、豐能郡7.58%、大阪市4.35%、堺市0.38%、岸和田市0.34%ノ順位トナツテ居ル。

麥ニ於テハ北河内郡首位ヲ占メ19.00%ニ當リ、南河内郡16.74%、泉北郡16.45%、泉南郡14.06%、三島郡11.77%、中河内郡9.14%、豐能郡8.44%、大阪市3.19%、堺市0.77%、岸和田市0.43%等ニ割合シテ居ル。

食用農産物ニ於テハ中河内郡25.13%デ最多ヲ示シ、南河内郡16.44%之ニ亞キ、北河内郡14.66%、泉北郡12.09%、大阪市8.91%、堺市7.95%、泉南郡6.71%、三島郡4.57%、豐能郡3.47%、岸和田市0.07%デ最モ少ナイ。

園藝農産物ニ於テハ泉南郡第一位ヲ占メ21.10%、次ニ南河内郡18.11%、中河内郡16.55%、泉北郡13.73%、大阪市9.19%、豐能郡6.97%、北河内郡6.83%、三島郡4.72%、堺市2.60%等ニ當リ、最少ハ岸和田市ノ0.20%デアル。

工藝農産物ニ於テハ泉北郡筆頭ニテ35.98%ノ多數ヲ占メ、次ニ泉南郡21.35%、三島郡23.86%等之ニ亞ギ他郡市ハズツト少ク南河内郡7.98%、北河内郡7.02%、豐能郡2.24%、岸和田市0.79%、大阪市0.53%、中河内郡0.23%ノ順位ニテ堺市ハ0.02%ニ過ギナイ。

緑肥用作物 = 於テハ泉北郡第一位 = テ23.42%、南河内郡22.53%、豊能郡17.95%、泉南郡14.53%、三島郡12.49%、北河内郡8.09%、中河内郡0.98%等 = 當リ、大阪、堺、岸和田ノ三市 = ハ該當ガナイ。

苗木 = 於テハ豊能郡第一位 = テ39.79%ノ多數ヲ占メ、中河内14.36%、泉北郡12.77%之 = 亞ギ、南河内郡11.59%、大阪市6.86%、三島郡6.52%、北河内郡0.93%、岸和田市0.12%等 = 當リ、堺市ニハ生産ガナイ。

繭 = 於テハ北河内郡48.98%ヲ占メテ、斷然他郡ヲ抜キ南河内郡24.03%ニテ之 = 亞ギ、泉北郡14.08%、泉南郡7.28%、豊能郡5.36%、三島郡0.27% = 當ツテ居リ三市並 = 中河内郡 = ハ皆無デアル。

蜜蜂 = 於テハ泉南郡約半數ノ43.32%ヲ占メ、次 = 豊能郡19.39%、大阪市10.95%、泉北郡8.49%、三島郡8.16%、北河内郡6.85%、中河内郡1.75%、南河内郡1.09%等ノ割合トナル。堺、岸和田ノ兩市ニハ該當ナイ。

14. 農産物價額種類別比較

	昭和六年		昭和七年		昭和六年 = 比 シ増減	同上割合
	円	円	円	円		
總數	31,345,838	36,846,508	(+)	5,500,670	(+)	1.75
米	17,084,486	23,009,149	(+)	5,924,663	(+)	3.47
麥	1,554,785	1,423,802	(-)	130,983	(-)	0.84
食用農産物	952,813	972,912	(+)	20,099	(+)	0.21
園藝農産物	10,178,411	9,855,101	(-)	323,310	(-)	0.32
工藝農産物	1,080,497	1,035,318	(-)	45,179	(-)	0.42
綠肥	58,627	46,835	(-)	11,792	(-)	2.01
苗木	301,133	349,266	(+)	48,133	(+)	1.60
繭	132,864	152,299	(+)	19,435	(+)	1.46
蜜蜂	2,222	1,826	(-)	396	(-)	1.78

農産物價額ヲ種類別ニ前年ト比較スレバ上表ノ如クデアル。即チ九種類ノ内米、食用農産物、苗木、繭ハ増加ヲ示シ、米ハ5,924,663圓(3割4分7厘)ノ大増加ヲ示シテ居ル。其ノ他減少ヲ示シテ居ルモノハ麥、園藝農産物、工藝農産物、綠肥、蜜蜂ニテ割合ニ於テハ蜜蜂1割7分8厘ノ減少ヲ示スモ價額 = 於テハ園藝農産物ノ323,310圓デアル。

15. 米 (昭和八年)

	作付反別				計	收	
	水 稻		陸 稻			水 稻	
	梗米	糯米	梗米	糯米		梗米	糯米
總數	40,451.2	2,088.2	0.9	0.8	42,541.1	1,154,277	54,496
大阪市	1,724.9	61.4	—	—	1,786.3	49,228	1,624
堺市	112.9	5.8	—	—	118.7	3,045	151

續

	作付反別				計	收	
	水 稻		陸 稻			水 稻	
	梗米	糯米	梗米	糯米		梗米	糯米
岸和田市	113.3	9.0	—	—	122.3	3,294	235
三島郡	6,834.7	250.6	0	0.1	7,085.4	201,986	6,743
豊能郡	3,082.5	154.7	—	—	3,237.2	87,618	4,013
泉北郡	4,205.7	248.9	0.1	—	4,454.7	110,959	5,919
泉南郡	5,104.4	356.8	0.6	0.6	5,462.4	139,697	9,014
南河内郡	6,038.1	398.1	0.2	0.1	6,436.5	164,153	10,018
中河内郡	6,103.9	298.7	—	—	6,402.6	183,938	8,369
北河内郡	7,130.8	304.2	—	—	7,435.0	210,359	8,410

續

	獲高				價額			
	陸 稻		計	水 稻		陸 稻		計
	梗米	糯米		梗米	糯米	梗米	糯米	
總數	14	11	1,208,798	25,253,294	1,273,684	285	243	26,527,506
大阪市	—	—	50,852	1,051,096	38,134	—	—	1,089,230
堺市	—	—	3,196	68,513	3,624	—	—	72,137
岸和田市	—	—	3,529	69,174	5,288	—	—	74,462
三島郡	0	1	208,730	4,716,905	159,555	5	18	4,876,483
豊能郡	—	—	91,631	1,979,957	97,427	—	—	2,077,384
泉北郡	2	—	116,880	2,412,862	135,890	30	—	2,548,782
泉南郡	7	9	148,727	3,060,749	216,319	143	203	3,277,414
南河内郡	5	1	174,177	3,538,462	230,816	107	22	3,769,407
中河内郡	—	—	192,307	3,850,167	193,283	—	—	4,043,450
北河内郡	—	—	218,769	4,505,409	193,348	—	—	4,698,757

備考 前年タル昭和七年ノ事實 = 比シ作付段別532町歩(1分3厘)收穫高113,100石(1割3厘)價額3,518,357圓(1割5分3厘)ヲ何レモ増加シタ。作付段別ノ増加ハ主トシテ本年ヨリ調査方法ノ改正セラレタル結果段別調査ニ完璧ヲ期シタル = 因ル。收穫高ノ増加ハ作付段別ノ増加ト、前年 = 比シ氣候適當ナリシコトト = 因ルモノデ、又價額ノ漸増シタノハ收穫高ノ増増ト市價ノ昂騰 = 因ルモノデアル。

而シテ本年米作ノ狀況ハ播種以來概ネ氣候適順デ苗ノ生育、挿秧共 = 順調 = 經過シ、而シテ管内一般 = 用水潤澤 = 且ツ日照時多カリシ爲 = 生育、分蘖殊ノ外良好デアリ、尙適度ノ降雨 = 因リ、無事開花期ヲ經過シタノデ其ノ後十月中旬下旬ノ天候不順 = テ幾分收穫 = 懸念モアツタガ幸 = シテ天候ノ恢復 = ヨリテ順調 = 經過シタノト病虫ノ被害モ僅少デアツタ爲以上ノ如キ結果ヲ示シタノデアル。

16. 麥 (昭和八年)

	作付反別					收	
	大麥	稈麥	小麥	燕麥	計	大麥	稈麥
總數	2,073.8	6,744.1	2,298.0	—	11,215.9	31,539	94,223
田畑計	225.8	1,169.1	226.2	—	1,621.1	2,757	14,714
	2,299.6	7,913.2	2,624.2	—	12,837.0	34,296	108,937
大阪市	0.1	157.8	7.6	—	165.5	2	2,742
堺市	1.0	159.9	5.9	—	166.8	17	2,272
	—	43.4	—	—	43.4	—	1,020
岸和田市	—	52.8	—	—	52.8	—	950
	—	38.1	4.0	—	42.1	—	667
三島郡	106.1	677.9	573.5	—	1,357.5	2,001	10,271
	1.2	7.0	11.4	—	19.6	20	85
豐能郡	346.3	287.0	464.1	—	1,097.4	4,968	4,217
	0.8	1.5	5.9	—	8.2	14	21
泉北郡	7.3	1,526.3	278.1	—	1,811.7	94	21,079
	—	415.0	64.5	—	479.5	—	5,075
泉南郡	4.9	1,261.7	197.4	—	1,464.0	58	16,932
	—	35.2	21.7	—	56.9	—	410
南河内郡	—	1,751.6	277.6	—	2,029.2	—	23,600
	—	114.2	37.9	—	152.1	—	1,553
中河内郡	17.9	839.7	76.1	—	933.7	395	11,392
	10.5	366.9	15.1	—	392.5	136	4,198
北河内郡	1,591.2	160.6	519.6	—	2,271.4	24,021	2,313
	212.3	16.6	63.8	—	292.7	2,570	150

續

	穫高			價額			
	小麥	燕麥	計	大麥	稈麥	小麥	燕麥
總數	34,187	—	159,949	270,647	1,153,013	3556,578	—
田畑計	2,774	—	20,245	—	—	—	—
	36,961	—	180,194	—	—	—	—
大阪市	91	—	2,835	162	53,282	2,086	—
堺市	73	—	2,362	—	—	—	—
	—	—	1,020	—	24,625	—	—
岸和田市	—	—	950	—	—	—	—
	64	—	731	—	6,670	896	—
三島郡	8,714	—	20,986	16,751	105,396	137,086	—
	119	—	224	—	—	—	—
豐能郡	6,371	—	15,556	34,393	39,516	94,727	—
	77	—	112	—	—	—	—
泉北郡	4,316	—	25,489	954	278,131	75,980	—
	918	—	5,993	—	—	—	—
泉南郡	2,763	—	19,753	698	188,615	44,476	—
	258	—	668	—	—	—	—
南河内郡	3,689	—	27,289	—	269,931	62,187	—
	491	—	2,044	—	—	—	—

續

	穫高			價額			
	小麥	燕麥	計	大麥	稈麥	小麥	燕麥
中河内郡	1,035	—	12,822	3,953	159,134	18,514	—
田畑計	193	—	4,527	—	—	—	—
	7,144	—	33,468	213,736	27,713	120,626	—
北河内郡	645	—	3,365	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—

備考 前年タル昭和七年ノ事實ニ比シ作付段別170町3段歩(1分3厘)ヲ増加シ、收穫高38,036石(1割7分4厘)ヲ減ジ、價額556,436圓(3割9分1厘)ヲ増シタ。作付段別ノ増加ハ主トシテ府ノ獎勵ニヨリ、小麥ノ増殖セラレタノニ因リ收穫高ノ減少ハ氣候概ネ適順ナラザリシニ因ルモノデ、價額ノ増加ハ麥價ノ急騰ニ因ルモノデア。ル。

而シテ本年麥作狀況ヲ見ルニ、播種以來其ノ初期ノ天候ハ溫暖ニテ適度ノ降雨ヲ見生育、分蘗順調ニ經過シタガ、出穂期ヨリ結實期ニ入リテ、降雨頻繁ニテ麥ノ結實ヲ妨ゲ、病虫ノ被害少ナカリシニ拘ラズ、以上ノ如キ減收ヲ示シタモノデア。ル。

17. 農家及耕地累年比較

	現住戸數	農家戸數			現住戸數 千對スル 農家戸數	耕地		
		專業	兼業	計		田	畑	計
大正十二年	607,786	53,481	34,425	87,906	145	52,482.8	11,907.1	64,389.9
同十三年	650,923	53,255	34,677	87,932	135	52,699.1	11,922.3	64,621.4
同十四年	659,456	53,518	32,514	86,032	130	51,792.7	11,557.5	63,350.2
昭和元年	669,871	54,531	31,262	85,793	128	51,625.0	11,288.1	62,913.1
同二年	683,589	55,083	31,461	86,544	127	51,258.9	11,701.8	62,960.7
同三年	703,252	55,355	30,902	86,257	123	51,172.3	11,406.4	62,578.7
同四年	713,876	55,885	30,290	86,175	121	50,423.7	10,783.1	61,206.8
同五年	737,455	55,642	30,093	85,735	116	49,846.8	10,702.4	60,549.2
同六年	708,841	54,667	30,095	84,762	120	48,314.8	11,118.2	59,433.0
同七年	724,340	54,198	29,608	83,806	116	49,822.7	10,512.5	60,335.2

備考 現住戸數及農家戸數ハ府農會調査ニ依ルモノヲ計上ス以下二表亦同ジ。
農業ノ基本タル農家及耕地ニ付、累年比較ヲ試ミルト次ノ如シ。
昭和七年末ニ於ケル農家戸數ハ83,806戸デ前年ニ比シ956戸(1分1厘)ノ減少、五年前ノ昭和三年ニ比シ2,451戸(2分8厘)十年前ノ大正十二年ニ比シ4,100戸(4分7厘)ヲ何レモ減少シテ居ル。今之ヲ專業兼業ニ分ツト次ノ如シ。
專業農家ハ54,198戸デ總數ノ6割4分7厘ヲ占メ、前年ニ比シ469戸(8分6厘)五年前ノ昭

和三年=比シ1,157戸(2分1厘)ヲ何レモ減少シテ居ルガ、十年前ノ大正十二年=比スレバ717戸(1分3厘)ヲ増加シテ居ル。

兼業農家ハ29,608戸デ總數ノ3割5分3厘=當リ前年=比シ487戸(1分6厘)ノ減少ヲ示シ五年前ノ昭和三年=比シ2,451戸(2分8厘)ノ減少ヲ示シ、又十年前ノ大正十二年=比シ4,817戸(1割4分)ノ之又減少ヲ示シテ居ル。

次=最近十ヶ年間ノ消長ヲ見シガ爲大正十二年ヲ100トシテ各年ノ指數ヲ求メルト、大正十三年98、同四年98、同五年98、同六年98、同七年95トナリ、大正十三年ヨリ昭和五年迄ハ大ナル増減ハ無カツタガ、昭和六、七年ハ漸減ノ傾向ヲ呈スルニ至レリ。

次=既往十ヶ年間=於ケル現住戸數1,000ニ對スル農家戸數ノ割合ヲ見ルト、大正十二年145、同十三年135、同十四年130、昭和元年128、同二年127、同三年123、同四年121、同五年116、同六年120、同七年116トナツテ居リ、農家戸數漸減ト現住戸數遂増ノ二重作用=因リ年々低下ノ道ヲ辿ル一方デアル。

次=耕地=付キ簡單ニ説明スレバ昭和七年末=於ケル耕地反別ハ60,335町2反步デ前年=比シ902町2反步(1分5厘)増加、五年前ノ昭和三年=比シテ2,243町5反步(3分6厘)ヲ減少シ十年前ノ大正十二年=比スレバ4,054町7反步(6分3厘)ノ減少ヲ示シテ居ル。今之ヲ種類別=見ルト田ハ49,822町7反步デ總數ノ8割2分6厘=當リ前年=比シ1,507町9反步(3分1厘)ノ増加ヲ見、五年前ノ昭和三年=比シ1,349町6反步(2分6厘)ノ減少、十年前ノ大正十二年=比シ2,660町1反步(5分1厘)ノ大減少ヲ示シテ居ル。

畑ハ10,512町5反步デ總數ノ(1割7分4厘)=當リ、前年同一事實=比シ705町7反步(1分5厘)五年前=比シ893町9反步(7分8厘)十年前=比シ1,394町6反步(2分2厘)ヲ何レモ減少シテ居ル。

耕地總數=於テ大正十二年ヲ100トシテ各年ノ指數ヲ算出スルト、大正十三年100、同十四年98、昭和元年98、同二年98、同三年97、同四年95、同五年94、同六年92、同七年94トナリ順次漸減ノ傾向ヲ示シテ居ル。

次=農家一戸=對スル耕地ノ割合ヲ見ルニ、本年=於テハ7反1畝步(田5反9畝步畑1反2畝步)=當ツテ居リ、前年ト同一デアルガ五年前ノ昭和三年=比シ十年前ノ大正十二年=比シ各2畝步ヲ何レモ減退シテ居ル。而シテ最近十年間ハ各年トモ7反3畝步ト7反1畝步トノ間ニアツテ大ナル變動ヲ示シテ居ラナイ、即チ耕地ト農家戸數トハ略々同一歩調ヲ以テ減少シツ、アル事ガ觀察シ得ラルノデアル。

上述セル所ヲ各郡市別=見レバ次ノ通デアル。

18. 農家及耕地ノ郡市別

	現住戸數	農家戸數			現住戸數 千ニ對スル 農家戸數	耕地		
		専業	兼業	計		田	畑	計
總數	724,340	54,198	29,608	83,806	116	49,822.7	10,512.5	60,335.2
大阪市	500,982	2,935	1,700	4,635	9	2,075.8	888.2	2,964.0
堺市	27,810	346	161	507	18	199.7	267.6	467.3
岸和田市	7,450	190	64	254	34	123.3	18.0	141.3
三島郡	25,047	6,552	3,024	9,576	382	7,553.5	595.7	8,149.2
豐能郡	20,886	4,447	1,726	6,173	296	3,721.4	957.5	4,678.9
泉北郡	27,573	7,106	5,918	13,024	472	6,754.0	2,290.7	9,044.7
泉南郡	24,902	6,775	4,430	11,205	450	6,623.5	1,393.4	8,016.9
南河内郡	24,749	10,176	5,126	15,302	618	7,519.3	1,680.1	9,199.4
中河内郡	42,731	8,620	4,372	12,992	304	7,238.5	1,315.3	8,553.8
北河内郡	22,210	7,051	3,087	10,138	456	8,013.7	1,106.0	9,119.7

掲表ニ付農家及耕地ノ郡市別分布狀況ヲ見ルニ先ツ農家總數=於テハ南河内郡最多ニテ18.26%、次ハ泉北郡デ15.54%、中河内郡15.50%、泉南郡13.37%、北河内郡12.10%、三島郡11.43%、豐能郡7.37%、大阪市5.53%、堺市0.60%、岸和田市0.30%=當ツテ居ル。

次=専業農家ハ泉北郡19.99%ヲ占メテ最モ多ク、南河内郡17.31%、泉南郡14.96%、中河内郡14.77%、北河内郡10.43%、三島郡10.21%、豐能郡5.83%、大阪市5.74%、堺市0.54%、岸和田市0.22%ノ割合デアル。

即チ農家ノ市部=少ナイノハ當然デアルガ、ソノ専業兼業別ノ郡市分布ハ農家總數ノソレト必ズシモ一致セズ、殊ニ兼業農家=於テ此ノ感ノ深イ事ハ各其ノ地方=於ケル副業ノ有無並=其ノ發展盛衰ヲ反映スルモノデ興味アル現象ト云フ可キデアル。現住戸數1000ニ對スル農家戸數ノ割合ヲ見ルト南河内郡ノ618戸ガ最高デ、泉北郡ノ472戸、北河内郡ノ456戸、泉南郡450戸、三島郡382戸、中河内郡304戸、豐能郡296戸、岸和田市34戸、堺市18戸等=該當シ大阪市ノ9戸ハ最低デアル。

次=耕地=付キ郡市別ニ分節比ヲ求メルト、總數=於テハ南河内郡15.25%=テ第一位ヲ占メ、次=北河内郡15.12%、泉北郡14.99%、中河内郡14.18%、三島郡13.51%、泉南郡13.29%、豐能郡7.75%、大阪市4.91%、堺市0.77%、岸和田市0.53%ノ順位トナツテ居ル。

田ハ北河内郡16.03%デ首位ヲ占メ、三島郡15.16%之ニ亞ギ、南河内郡15.09%、中河内郡14.53%、泉北郡13.56%、泉南郡13.29%、豐能郡7.47%、大阪市4.17%、堺市0.40%、岸和田市0.25%=割合シテ居ル。

畑ハ泉北郡21.79%最多ヲ示シ、南河内郡15.98%之ニ亞ギ、泉南郡13.25%、中河内郡12.51%、北河内郡10.52%、豐能郡9.11%、大阪市8.45%、三島郡5.67%、堺市

2.55%、岸和田市0.17%ノ割合トナル。

即チ以上ニヨリ比較的專業農家ノ多イ地方、例ヘバ北河内郡ノ如キハ田ガ多ク兼業農家ノ多イ泉北郡ノ如キ地方ニハ畑ガ多イ又、米麥等ノ産額ノ多イ北河内郡、三島郡等ニハ田ガ多ク園藝、工藝農産物ノ多イ泉北郡、南河内郡、中河内郡ニハ畑ノ多イ事ガ看取セラレルノデアル。

更ニ農家一戸當耕地反別ヲ見ルト、堺市ノ9反2畝歩ガ最大デ、北河内郡8反9畝歩之ニ亞ギ、三島郡8反5畝歩、豊能郡7反5畝歩、泉南郡7反1畝歩、泉北郡6反9畝歩、中河内郡6反5畝歩、大阪市6反3畝歩、南河内郡6反歩、岸和田市最少ノ5反5畝歩デアル。今之ヲ農家分布ノ狀況ト關聯セシメルト大体ニ於テ一戸當耕地面積ノ大ナル地方ニハ專業農家ガ多ク其ノ小ナル地方ニハ兼業農家ガ多イト云ヒ得ベク、又其ノ間ニ潜在スル農業經營ノ難易モ略窺知シ得ルデアラウ。

19. 自作及小作ニ分チタル農家

	自作	小作	自作兼小作	計
總數	19,143	39,735	24,928	83,806
大阪市	747	3,182	706	4,635
堺市	80	267	160	507
岸和田市	52	140	62	254
三島郡	2,282	4,339	2,955	9,576
豊能郡	1,623	2,619	1,931	6,173
泉北郡	3,135	5,955	3,934	13,024
泉南郡	3,218	3,980	4,007	11,205
南河内郡	3,692	6,624	4,986	15,302
中河内郡	2,177	7,871	2,944	12,992
北河内郡	2,137	4,758	3,243	10,138

本年末ニ於ケル農家83,806戸ヲ自作小作及自作兼小作ニ分類シ、各其ノ割合ヲ算出スルト、自作2割2分8厘、小作4割7分4厘、自作兼小作2割9分8厘ニ當ツテ居リ小作ガ斷然多ク自作ガ最モ少ナイ。之ヲ前年事實ト比較スルト、自作ハ186戸(1分)、小作ハ747戸(1分8厘)自作兼小作ハ23戸(1厘)ヲ何レモ減少シテ居ル。

最近ニ於ケル趨勢ヲ見ルト自作ハ昭和四年迄ハ漸増ヲ示セシモ其ノ後ハ減少ノ道ヲ辿リ、小作ハ逐年減退シツヽアリ、獨リ自作兼小作ハ年々増加ヲ示セシモ本年ニ於テ初メテ減少シタ。

次ニ之ガ地理的分布ノ狀況ヲ見ルニ自作農家ニ於テハ南河内郡總數ノ19.29%ヲ占メテ最多デアリ、泉南郡16.81%、泉北郡16.38%等之ニ亞ギ、三島郡11.92%、中河内郡11.37%、北河内郡11.16%、豊能郡8.48%、大阪市3.90%、堺市0.42%、岸和田

市0.27%ニ當ル。

小作農家ニハ中河内郡19.81%、南河内郡16.67%、泉北郡14.99%、北河内郡11.97%、泉南郡10.02%、三島郡10.92%、大阪市8.01%、豊能郡6.59%、堺市0.67%ニ當リ、岸和田市ハ0.35%デ最少ナリ。

自作兼小作農家ハ南河内郡20.00%、最多ニテ之ニ亞グニ泉南郡16.08%、泉北郡15.78%、北河内郡13.01%、三島郡11.85%、中河内郡11.81%、豊能郡7.75%、大阪市2.83%、堺市0.64%、岸和田市0.25%等ノ順位トナル。

次ニ各郡市ニ付當該郡市農家總數ニ對スル、自作、小作、自作兼小作農家ノ割合ヲ求メ對比スルト、自作農家ニ於テハ泉南郡2割8分7厘ガ最高デ、豊能郡ノ2割6分3厘之ニ亞ギ、岸和田市、三島郡、泉北郡、南河内郡、北河内郡ハ何レモ2割以上2割5分未滿其他ハ2割以下デ堺市ノ1割5分8厘ハ最低ニ當ル。

小作農家ハ大阪市ノ6割8分7厘ガ最高ヲ占メ、中河内郡ノ6割6厘之ニ亞ギ、岸和田市5割5分1厘、堺市5割2分7厘等ノ順位デ、即チ之等三市一郡ニ於テハ小作農家ガ過半数ヲ占テ居ルノデアル。尙最低ハ泉南郡ノ3割5分5厘デ其ノ他ノ各郡ハ何レモ4割以上5割未滿デアル。

自作兼小作農家ハ泉南郡ノ3割5分8厘最高トシ、堺市、三島郡、豊能郡、泉北郡、南河内郡、北河内郡ハ何レモ3割以上其ノ他ハ2割臺デ、大阪市ノ1割5分2厘ハ最低デアル。

上述ニヨリ以上ヲ通觀スレバ各郡市共小作農家ガ最モ多ク、大阪市ヲ除イテハ何レモ自作農家ガ最モ少ナイ事ヲ知り得ベク、尙大体ニ於テ、專業農家ノ多イ地方ニハ小作農自作兼小作農ガ多ク兼業農家ノ多イ地方ニハ自作農ノ多イ事モ知り得ルデアラウ。更ニ之等ヲ前掲表ト比較研究スルナレバ行詰レル農業政策打開ノ一端トモナリ得ルモノガアラウト思ハル。

20. 自作及小作ニ分チタル耕地段別

	自作地			小作地		
	田	畑	計	田	畑	計
總數	18,634.0	5,648.3	24,282.3	31,188.7	4,864.2	36,052.9
大阪市	493.8	219.9	713.7	1,582.0	668.3	2,250.3
堺市	61.3	118.7	180.0	138.4	148.9	287.3
岸和田市	31.9	4.2	36.1	91.4	13.8	105.2
三島郡	2,953.5	376.2	3,329.7	4,600.0	219.5	4,819.5
豊能郡	1,409.1	608.1	2,017.5	2,312.0	349.4	2,661.4
泉北郡	3,014.3	1,430.0	4,444.3	3,739.7	860.7	4,600.4
泉南郡	3,084.4	910.0	3,994.4	3,539.1	483.4	4,022.5
南河内郡	2,760.7	942.3	3,703.0	4,758.6	737.8	5,496.4

續

	自作地			小作地		
	田	畑	計	田	畑	計
中河内郡	2,033,6	431,1	2,464,7	5,204,9	884,2	6,089,1
北河内郡	2,791,1	607,8	3,398,9	5,222,6	498,2	5,720,8

備考 本表ハ府農會調査ニ依ルモノヲ計上ス。

耕地ヲ自作地、小作地ニ分チ更ニ之ヲ田畑別ニ表示スレバ上表ノ如クデアル。即チ自作地ハ24,282町3反歩、小作地36,052町9反歩デ總數ニ對シ自作地4割2厘、小作地5割9分8厘ニ當ツテ居ル。更ニ一步詳細ニ見レバ自作地ノ内田ハ7割6分7厘、畑ハ2割3分3厘、小作地ノ内田ハ8割6分5厘、畑ハ1割3分5厘ニ割合シ、又田ノ内デハ自作地3割7分4厘、小作地6割2分6厘、畑ノ内デハ自作地5割3分7厘、小作地4割6分3厘ノ割合トナツテ居ル。即チ田ニハ小作地甚ダ多ク全耕地面積ノ過半ヲ占テ居ルガ、畑ニハ自作地ノ方ガ多イノデアル。尙之ヲ前年同一事實ニ比較スルト、自作地ハ田700町8反歩(3分8厘)ノ増加、畑62町4反歩(1分1厘)減少、差引638町4反歩(2分7厘)ノ増加デアル。又小作地ハ田807町1反歩(2分7厘)ノ増加、畑543町3反歩(1割)ノ激減デ差引263町8反歩(7厘)ノ増加トナツテ居ル。

次ニ各郡市ニ於ケル分布状況ヲ見ルト自作地ニ於テハ泉北郡18.30%ニテ最高ヲ占メ、泉南郡16.45%ニテ之ニ亞ギ、南河内郡15.25%、北河内郡14.00%、三島郡13.71%、中河内郡10.15%、豊能郡8.31%、大阪市2.94%、堺市0.74%、ニ當リ岸和田市0.15%ニテ最少デアル。自作地ノ田ニ於テハ泉南郡16.55%、泉北郡16.18%ニテ二位ヲ占メ以下三島郡15.85%、北河内郡14.98%、南河内郡14.82%、中河内郡10.91%、豊能郡7.56%、大阪市2.65%、堺市0.33%、岸和田市0.17%ノ順位トナル。

自作地ノ畑ニハ泉北郡25.32%ニテ他郡ヲ抜キ南河内郡16.68%ニテ之ニ亞ギ、泉南郡16.11%、豊能郡10.77%、北河内郡10.76%、中河内郡7.63%、三島郡6.66%、大阪市3.89%、堺市2.11%、岸和田市0.07%等ノ割合トナツテ居ル。

小作地ハ中河内郡16.89%ニテ最高ヲ示シ、以下北河内郡15.87%、南河内郡15.24%、三島郡13.37%、泉北郡12.76%、泉南郡11.16%、豊能郡7.38%、大阪市6.24%、堺市0.80%ニ當リ、岸和田市0.29%ハ最低ヲ示シテ居ル。

小作地ノ田ハ北河内郡最モ多ク16.75%、中河内郡16.69%、南河内郡15.26%、三島郡14.75%、泉北郡11.99%、泉南郡11.35%、豊能郡7.41%、大阪市5.07%、堺市0.44%、岸和田市0.29%ノ順位トナル。

小作地ノ畑ハ中河内郡18.18%ニテ第一位ヲ占メ、泉北郡ノ17.70%ニテ之ニ亞ギ、南河内郡15.17%、大阪市13.74%、北河内郡10.24%、泉南郡9.94%、豊能郡7.18%、三島郡4.51%、堺市3.06%、岸和田市0.28%ノ割合トナル。

次ニ各郡市ニ付テ當該郡市耕地全面積ニ對スル自作地小作地ノ割合ヲ比較對照ス

ルト、各郡市共ニ小作地ノ方ガ大デアツテ、特ニ其ノ差ノ著シイノハ、大阪、岸和田、中河内ノ三郡市デ、何レモ小作地ガ7割以上ヲ占メテ居リ、其ノ他堺市、北河内郡ハ6割以上、以下南河内、三島、豊能、泉北各郡ノ順位デ何レモ5割以上、最低ハ泉南郡ノ5割2厘デアル。

以上ヲ前表ト對比シテ農家對耕地二者ノ相關關係ヲ觀察スルト自作農家ノ順位ニ於テ三位以內タル、南河内、泉北、泉南ノ各郡ハ自作地ノ順位モ亦三位以內ニ在リ又小作農家ニ於テ二位ヲ占ムル、中河内、南河内兩郡ハ小作地ニ於テ夫々首位ヲ占メテ居ル、外自作農家ノ割合並ニ自作地ノ割合ハ第三位迄ハ何レモ、泉北、泉南、南河内三郡ニテ占メテ居ル。又小作農家ノ割合並ニ小作地ノ割合ハ大阪、岸和田兩市ガ占メテ居ル等兩者ノ關係ノ極メテ緊密ナコトガ窺レル。更ニ之ヲ詳細ニ對比研究スルナラバ、各郡市ニ於ケル農業經營ノ規模ノ大小、其ノ他農村ノ痛タル小作問題對策上種々ノ事實ヲ窺知シ得ルデアロウ。

非常時!!先統計を知れ 統計は非常時を解消す

畜産物

管内ニ於ケル畜産業ノ狀態 畜産業カラ見タ大阪府ノ地位ハ愛知縣、東京府ニ亞グ第三位ニ在リ。其ノ最近ノ狀態ハ昭和四年迄逐年増加ノ趨勢ニ在ツタガ、爾來減少ノ傾向ニ轉ジテ居ル。元來我が大阪府ハ家畜禽ノ一大消費地デ、所謂畜産工業地デアツテ、即チ屠殺ニ付テ見ルト其ノ頭數85,140頭、價額6,092,195圓(内地總額ノ9分、東京府ニ亞グ第二位)デアツテ、本府畜産價額ノ5割7分2厘ニ達シテ居ルノデアル。一方牧畜養禽ニ付テ見ルト、其ノ飼養戸數ハ家畜34,057戸、家禽45,567戸デ飼育數ハ夫々64,512頭、1,432,261羽デアル。今試ミニ之等ノ趨勢ヲ指數ニテ示セバ

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
家畜飼養戸數	100	94	97	95	95	97	98	98	100	101
同上 頭數	100	100	98	97	101	120	121	138	147	150
家禽飼養戸數	100	100	92	94	95	95	92	89	83	78
同上 羽數	100	88	102	109	131	144	170	169	169	172

即之ニ依ツテ見レバ飼養戸數以上ニ其ノ頭羽數ガ増加ヲ示シテ居ルノデアル。殊ニ家禽ニ在ツテハ却ツテ飼養戸數ノ減少ヲサヘ示スモ、飼育數ハ著シク増加シテ居ルノヲ看取サレル。是等ニ付テハ府ニ於テモ需要ノ増加ト農家ノ副業トシテ最適ナノニ着目シ飼養ヲ獎勵スルト共ニ、飼育ニ付テハ家畜傳染病ノ取締、品種ノ改良、肥育、育成法ノ改善等ニ關シテ最善ノ努力ヲナシテ居ルノデアル。然シ乍ラ未ダ府ノ全需要ヲ滿タスニハ遙カナル餘地ヲ殘スモノト言ハネバナラス。

以下種類別ニ本業ノ概要ヲ記載シヨウ。

百の議論より一の統計 智者は統計を師とす

21. 畜産物價額累年比較

(單位円)

	家畜 (屠殺)					計
	牛	馬	豚	羊及山羊		
大正十二年	× 61,872 6,814,811	× 2,160 71,563	× 44,244 292,807	× 871 13	× 109,147 7,179,194	
同十三年	× 76,505 6,519,687	× 130 113,897	× 63,217 370,724	× 465 —	× 140,317 7,004,308	
同十四年	× 59,015 7,650,043	× 119,036	× 50,039 830,884	× 375 —	× 109,429 8,599,963	
昭和元年	× 93,035 8,004,003	× 240 81,071	× 73,940 439,560	× 285 13	× 167,500 8,524,647	
同二年	× 70,800 7,650,107	× 93,364	× 90,882 371,820	× 154 13	× 161,836 8,115,304	
同三年	× 74,800 7,448,703	× 118,253	× 75,036 431,394	× 290 —	× 150,126 7,998,350	
同四年	× 64,440 7,474,180	× 135,764	× 56,608 634,133	× 190 —	× 121,238 8,244,077	
同五年	× 65,080 6,067,975	× 134,221	× 51,648 567,803	× 135 —	× 116,863 6,769,999	
同六年	× 88,950 6,931,786	× 128,148	× 65,680 450,084	× 90 10	× 154,720 7,510,028	
同七年	× 83,400 5,538,376	× 92,668	× 85,070 461,151	× 170 —	× 168,640 6,092,195	

續

	家禽				牛乳	合計
	鶏	鶯	七面鳥	計		
大正十二年	△ 2,054,018 1,060,403	△ 60,931 82,258	△ — 28	△ 2,114,949 1,142,689	1,180,493	11,726,472
同十三年	△ 1,553,142 968,308	△ 32,363 53,931	△ — —	△ 1,585,505 1,022,239	931,065	10,683,434
同十四年	△ 2,493,135 1,117,388	△ 59,720 63,508	△ 19 62	△ 2,552,874 1,180,958	1,034,127	13,477,351
昭和元年	△ 2,275,909 1,162,772	△ 67,931 53,806	△ 5,253 5,351	△ 2,349,093 1,221,929	870,981	13,134,150
同二年	△ 2,892,833 1,323,728	△ 68,806 57,626	△ 158,384 28,743	△ 3,120,023 1,410,097	1,032,039	13,839,299
同三年	△ 2,925,551 1,395,007	△ 71,731 61,443	△ 8,648 9,361	△ 3,005,930 1,465,811	1,172,671	13,792,888
同四年	△ 2,925,598 1,420,842	△ 48,798 53,900	△ 3,544 3,465	△ 2,977,940 1,478,207	1,180,414	14,001,876
同五年	△ 2,764,754 1,265,611	△ 42,833 37,880	△ 1,521 1,705	△ 2,809,108 1,305,196	1,084,663	12,085,829
同六年	△ 2,114,792 1,016,647	△ 32,623 31,329	△ 1,182 771	△ 2,148,597 1,048,747	1,187,775	12,049,867
同七年	△ 2,409,765 1,130,613	△ 39,286 37,711	△ 439 485	△ 2,449,490 1,168,809	1,066,513	10,945,647

表中×印ハ年内出産價額ヲ示シ △印ハ家禽産卵價額ヲ示ス。

上ニ示ス如ク昭和七年ニ於ケル畜産物價額ハ10,945,647圓デアツテ、之ヲ前年ニ比スルト1,104,220圓(9分2厘)ノ減少デアル。而シテ最近十ヶ年ノ趨勢ハ大体ニ於テ昭和四年迄漸増ノ傾向ニ在ツタガ、爾來減少ノ傾向ニ轉ジタ。即大正十二年ノ事實ヲ100トシタ指數ヲ示セバ

大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
100	91	115	112	118	118	119	103	103	93

之ガ種類別ノ割合ハ屠殺6,260,835圓(5割7分2厘)、家禽3,618,299圓(3割3分1厘)、牛乳1,066,513圓(9分7厘)デアル。更ニ之ヲ細別スルト屠殺6,092,195圓(5割5分7厘)ヲ占メ、家禽産卵2割2分4厘、家禽價額1割7厘、家畜出産1分5厘等デアル。

今種別類ニ最近十ヶ年ノ趨勢ヲ概観スルト

屠殺ハ一高一低シツ、大正十四年ヲ最高トシテ爾後減少ノ傾向ニ在リ、家禽産卵ハ昭和二年ヲ頂點トシテ爾後ハ遞減ノ傾向ニ在リシガ、昭和七年ニ稍上騰ヲ示シタ、家禽價額見ルト昭和四年迄ハ概シテ遞増ヲ示シタルモ、五年六年ト減少ヲ續ケ、本年ハ増加ニ轉ジ、又牛乳ニ在ツテハ大正一三年ニ激減シテヨリ其ノ儘ノ水準線ヲ一高一低シツ、昭和四年ニ至ツテ始メテ基準年ト同率トナリ、ソノ後モ増減ヲ續ケテ居ル。コノ狀勢ヲ指數ニ依ツテ明示スルト

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
屠殺	100	98	120	119	113	111	115	94	105	85
家禽産卵	100	75	121	111	148	142	141	133	102	116
家禽價額	100	89	103	107	123	128	129	114	92	102
牛乳	100	79	88	74	87	99	100	92	101	99

22. 畜産物價額郡市別

(單位円)

	家畜 (屠殺)				
	牛	馬	豚	羊及山羊	計
總數	× 83,400 5,538,376	92,668	× 85,070 461,151	× 170	× 168,640 6,092,195
大阪市	× 47,100 2,815,668	40,912	× 19,100 375,116	× 100	× 66,300 3,231,696
堺市	× 4,300	—	× 7,950	—	× 12,250
岸和田市	× 350	—	× 220	—	× 570

續

	家畜 (屠殺)					計
	牛	馬	豚	羊及山羊		
三島郡	× 2,200 74,010	—	× 4,570 297	—	×	6,770 74,307
豊能郡	× 6,250 521,598	110	× 2,960 3,015	—	×	9,210 524,723
泉北郡	× 2,800 629,153	2,175	× 17,400 57,613	× 70	×	20,270 688,941
泉南郡	× 2,850 35,887	703	× 6,150 345	—	×	9,000 36,935
南河内郡	× 1,750 126,146	48,768	× 1,040 5,295	—	×	2,790 180,209
中河内郡	× 14,350 1,266,990	—	× 21,720 19,470	—	×	36,070 1,286,460
北河内郡	× 1,450 68,924	—	× 3,960	—	×	5,410 68,924

續

	家禽				牛乳	合計
	鶏	鶯	七面鳥	計		
總數	△ 2,409,765 1,130,613	△ 39,286 37,711	△ 439 485	△ 2,449,490 1,168,809	1,066,513	10,945,647
大阪市	△ 903,718 376,542	△ 20,282 11,585	△ 13 34	△ 924,013 388,161	474,423	5,084,593
堺市	△ 24,867 9,279	139	—	△ 24,867 9,418	43,634	90,169
岸和田市	△ 15,453 5,355	△ 116 63	△ 33 68	△ 15,602 5,486	,900	28,558
三島郡	△ 116,482 97,551	△ 873 1,139	△ 11 37	△ 117,366 98,727	53,531	350,701
豊能郡	△ 154,839 74,889	△ 2,828	△ 144 167	△ 154,983 77,884	73,480	840,280
泉北郡	△ 211,777 81,094	△ 561 1,639	△ —	△ 212,338 82,733	61,242	1,065,524
泉南郡	△ 164,631 78,456	△ 123 501	△ 10 4	△ 164,764 78,961	62,071	351,731
南河内郡	△ 141,427 66,475	△ 16 150	△ 36 29	△ 141,479 66,654	63,205	454,337
中河内郡	△ 513,463 257,856	△ 7,154 13,361	△ 172 82	△ 520,789 271,299	201,177	2,315,795
北河内郡	△ 163,108 83,116	△ 10,161 6,306	△ 20 64	△ 173,289 89,486	26,850	363,959

表中×印ハ年内出産價額ヲ示シ △印ハ家禽ノ産卵價額ヲ示ス。次表亦同ジ。

昭和七年中ニ於ケル畜産物價額ヲ郡市別ニ見タモノハ上ニ示シタ通りデアル。

今之等ヲ例ニ依ツテ郡市別ノ割合カラ其等ノ分布状態ヲ見ヨウ。先ヅ總額ニ於テハ大阪市ガ46.45%ヲ占メテ首位ニ居リ、中河内郡ハ21.16%ヲ第二位ニ在ル。以下泉北郡9.74%、豊能郡7.68%、南河内郡4.15%、北河内郡3.33%、泉南郡3.21%、三島郡3.20%、堺市0.82%等ト續キ、岸和田市ノ0.26%ヲ最少トスル。而シテ本價額ノ内容ヨリ見テ價額ノ多イコトハ即畜産物ノ消費ト合セテ生産ガ最モ盛ンデアルコトヲ物語ルモノデアルガ大阪市ノ46.45% (5,084,593圓) ガ充分之ヲ説明シテ居ルト思フ。

次ニ之ガ種類別價額ノ郡市別割合ヲ求メテ参考ニ資スルト

	屠殺	家禽	家禽産卵	牛乳
大阪市	53.04	33.21	37.72	44.48
堺市	—	0.81	1.01	4.09
岸和田市	—	0.47	0.64	0.65
三島郡	1.22	8.45	4.79	5.02
豊能郡	8.61	6.66	6.33	6.89
泉北郡	11.31	7.08	8.67	5.74
泉南郡	0.61	6.75	6.73	5.82
南河内郡	2.96	5.70	5.78	5.93
中河内郡	21.12	23.21	21.26	18.86
北河内郡	1.13	7.66	7.07	2.52

23. 畜産物價額種類別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
總數	12,049,867	10,945,647	(-) 1,104,220	(-) 0.92
家畜(屠殺)	7,510,023	6,092,195	(-) 1,417,833	(-) 1.89
牛	6,931,786	5,538,376	(-) 1,393,410	(-) 2.01
馬	128,148	92,668	(-) 35,480	(-) 2.77
豚	450,084	461,151	(+) 11,067	(+) 0.25
羊及山羊	10	—	10	(-) 10.00
家禽(出産)	154,720	168,640	(+) 13,920	(+) 0.90
牛	88,950	83,400	(-) 5,550	(-) 0.62
馬	—	—	—	—
豚	65,680	85,070	(+) 19,390	(+) 2.95
羊及山羊	90	170	(+) 80	(+) 8.89
家禽	1,048,747	1,168,809	(+) 120,062	(+) 1.14
鶏	1,016,647	1,130,613	(+) 113,966	(+) 1.12
鶯	31,329	37,711	(+) 6,382	(+) 2.04

續

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ 比シ増減	同上割合
七面鳥	771	485(-)	286(-)	3.71
産卵	2,148,597	2,449,490(+)	300,893(+)	1.40
鶏	2,114,792	2,409,765(+)	294,973(+)	1.39
鶩	32,623	39,286(+)	6,663(+)	2.04
七面鳥	1,182	439(-)	743(-)	6.29
牛乳	1,187,775	1,066,513(-)	121,262(-)	1.02

昭和七年ニ於ケル畜産物價額ヲ種類別ニ夫々前年ト比較シテ上表ニ依レバ、先ヅ五大分類ニ付テ見レバ、家禽産卵ニ於テ300,893圓(1割4分)、家禽120,062圓(1割1分4厘)及家畜出産13,920圓(9分)ヲ夫々増加シタガ、屠殺ノ1,417,833圓(1割8分9厘)ト牛乳ノ121,262圓(1割2厘)トガヨリ以上ノ減少ヲ示シタノデ、結局總額ニ於テ1,104,220圓、前年ノ9分2厘ニ當ル減少トナツテ居ル。

次ニ之ヲ小分類ニヨリ觀レバ増加シタモノハ鶏ノ産卵(294,973圓)以下六種類デアリ、減少ヲ見タモノハ牛ノ屠殺(1,398,410圓)ヲ首位ニ七種類デアル。

又之ヲ割合上カラ見レバ増加シタモノノ中デハ羊及山羊ノ出産ガ8割8分9厘ノ高率ヲ示シ、減少ノ部ニ於テハ同ジク羊及山羊ノ10割ガ最タルモノデアル。

統計は眞理の母なり

野蠻人は統計を解せず

林 産 業

管内ニ於ケル林業ノ状態 本府ノ林野面積ハ最近ノ調査ニ於テ35,853.9町デアル。之ヲ所有別ニスレバ國有873.3町(2分4厘)、公有6,876.7町(1割9分2厘)、社寺有2,408.1町(6分7厘)、私有25,695.8町(7割1分7厘)デアツテ、其ノ全体ハ府總面積ノ1割9分6厘ニ當リ耕地面積ト比較スレバ略其ノ2分ノ1デアル。總數ノ郡市分布ハ豊能郡ガ最モ廣大デ8,024.9町(22.38%)ヲ占メ、南河内郡ハ6,517.1町(18.18%)デ之ニ亞ギ、以下泉北郡16.04%、泉南郡14.65%、三島郡13.24%、北河内郡11.01%、中河内郡4.47%、大阪市0.03%ノ状態デアル。

今其ノ經營施設ヲ略述スレバ、林野ノ整理開發、木材其ノ他林産物ノ多産ヲ圖ルト共ニ一方ニ於テ土砂扞止林風致林、魚附林等ノ保安林等ヲ選定シテ之ガ監督ニ當ル等諸般ノ施設計畫ヲ講ジテ其ノ隆盛ニ努メテ居ル。

即チ府令造林獎勵規則ニ依リ獎勵金ヲ交付シテ造林事業ノ促進、苗木ノ養成並ニ竹林ノ新植、改良等ヲ行ヒ又荒地復舊事業トシテ保安林及造林命令地ノ秃赫崩潰地ヲ復舊センガ爲、年々補助金ヲ交付シテ地盤ノ保護工事並ニ植栽ヲ獎勵セル結果着

★好績ヲ見、既ニ泉北、泉南、南河内各郡ニ於テハ全ク舊ニ復セル箇所ヲ見ルニ至ツタ。尙森林ノ利用開發運搬設備ノ改善ニ俟ツコト大ナルモノアルヲ以テ、昭和三年度ヨリ補助金ヲ交付シ林業ノ共同施設事業トシテ關係地方ニ林道開設ヲ獎勵スル等各種ノ施設ヲ爲シ以テ林利ノ増大ヲ圖リツ、アリ。

森林ノ間接的利用ニ付テハ水源涵養事業トシテ獎勵金ヲ交付シテ水源涵養造林ヲ爲サシメ、又治水上重要ナル箇所ニ對シテハ開墾制限地トシテ之ヲ制限シ、其ノ申請ニ對シテハ一々實地ノ踏査ヲ行ヒ適否ヲ決シテ居ル。尙又保安林ニ付テモ維新以後ノ林政弛廢ニ伴フ林地ノ荒廢ヲ防グ目的デ府内ニ於ケル主要ナル箇所560町歩ヲ選定シテ保安林ニ編入シ、之ガ作業上嚴重ナル監督ヲナシ遺憾ナキヲ期シテ居ル。

更ニ私有林野ノ開發ハ森林組合ノ組織ニ俟ツコト大ナルモノガアルノデ、從來ヨリ之ガ設立ヲ獎勵シ尙其ノ經營發達ノ助成ニ努メテ居ル。又記念造林事業ニヨリ御大典ノ盛儀ヲ永ク記念シ、併セテ地方林業ニ其ノ範ヲ示シ且山村ノ根本振興ヲ圖ル爲府下公有林中ノ無立木地1,000町歩ニ對シ五十年間ノ地上權ヲ設定シ、建築用材ノ造成ヲ目的トシテ年々100町宛杉、扁柏、松ノ人工造林ヲ行フ等諸種ノ施設ヲ講ジテ居ルガ、農業ノ如ク短期間ニ實績ヲ擧ゲルコト及人爲ヲ以テ一朝一夕ニ作爲スルコトハ出來ナイ爲、其ノ盛大ヲ未ダ數字的ニ見ラレナイ。

以下昭和七年ノ生産狀況ニ付イテ項ヲ追フテ説明シヤウ。

24. 林産物價額累年比較

(單位 円)

	用材	薪炭材	竹材	林野産物	計
大正十二年	1,251,528	554,879	148,055	1,045,655	3,000,117
同十三年	3,896,324	568,831	119,150	1,060,020	5,644,325
同十四年	1,030,581	426,055	119,427	1,006,349	2,582,412
昭和元年	698,946	389,310	115,325	1,317,942	2,521,523
同二年	728,871	436,559	131,191	1,242,071	2,538,692
同三年	422,875	441,727	107,547	1,371,769	2,343,918
同四年	332,042	313,972	95,588	1,189,538	1,931,140
同五年	383,537	322,234	58,108	1,035,141	1,799,020
同六年	314,743	387,716	42,934	1,058,452	1,803,845
同七年	185,915	446,398	38,225	892,181	1,562,719

昭和七年ノ林産物價額ハ上ノ如ク185,915圓(1割1分9厘)、薪炭材446,398圓(2割8分6厘)、竹林38,225圓(2分4厘)、林野産物892,181圓(5割7分1厘)デ、總額1,562,719圓デアル。其ノ各々ノ連年狀況ハ上表ニ依ツテモ見ラレルガ更ニ之ヲ簡單ニ指數化シテ其ノ趨勢ヲ明カニスレバ。

	大正十二年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
總數	100	188	86	84	85	78	64	60	60	52
用材	100	311	82	56	58	34	27	31	25	15
薪炭材	100	103	77	70	79	80	57	58	70	80
竹材	100	80	81	78	89	73	65	39	29	26
林野産物	100	101	96	126	119	131	114	99	101	85

即之ニ依ツテ、本府ノ林産物價額ナルモノハ非常ナ勢デ減少ノ道ヲ辿ツテ居ルコトヲ今更ノ如クニ了解セラレルデアロウ。其ノ内ニモ用材ニ在ツテハ本年ノ指數僅カニ15ト言フガ如キ寧ロ極短ニ近イモノデ、又之ニ亞ダ竹林ノ26モ著シイ減退ト言ハネバナラス。タゞ薪炭材ノミハ大正十四年以來概シテ同一水準ヲ上下シテ居リ林野産物ハ可成リノ高波ヲ畫キツツ本年ハ遂ニ十ヶ年中ノ最少額ヲ示シタコトヲ知ルノデアル。

25. 林産物價額郡市別

(單位 円)

	用材	薪炭材	竹材	林野産物	計
總數	185,915	446,398	38,225	892,181	1,562,719
三島郡	20,777	43,507	8,653	188,967	261,904
豊能郡	37,779	156,872	3,348	291,955	489,954
泉北郡	23,231	86,372	5,168	101,055	215,826
泉南郡	25,412	27,679	5,558	165,770	224,419
南河内郡	71,730	88,510	9,047	83,576	252,863
中河内郡	—	15,212	56	912	16,180
北河内郡	6,986	28,246	6,395	59,946	101,573

前表ノ林産物價額ヲ其ノ分類ノ儘郡別ニシタノハ上表デアル。コヽニハ市部ガ全然該當ガナイ。從ツテ七郡ノミニ付テ觀察スルト總額ノ%ハ豊能郡31.35%デ首位ヲ占メ、之ニ亞ダハ三島郡ノ16.76%、以下南河内郡ノ16.18%、泉南郡14.36%、泉北郡13.81%、北河内郡6.50%、中河内郡1.04%ノ順位デアル。今之ヲ種類別比較觀察シテ見ヨウ。

用材ハ南河内郡ニ最モ多ク豊能郡之ニ亞ギ、中河内郡ハ本年モ皆無ヲ示シ、薪炭材ハ豊能郡ガ其ノ35.14%ヲ占メテ首位ニアリ、南河内郡ト泉北郡トガ順次之ニ亞ギ、中河内郡ハ最少デアリ。竹林ニ在ツテハ南河内郡23.67%ト三島郡22.64%

トガ優レ中河内郡ニ最モ少ナク、林野産物ヲ見ルト豊能郡ハ32.72%デ最多額ヲ占メ三島郡ト泉南郡トガ之ニ亞イテ居リ、依然中河内郡ガ最モ少ナイ。

次ニ今一度林産物總價額ヲトリ上ゲテ此林野面積ノ比較觀察ヲ試ミヨウ。

本府ノ林野總面積ハ35,853.9町デアルカラ平均1町步カラハ44圓ノ生産ニナル。之ヲ各郡別ニ求メルト豊能郡61圓デ最モ多ク、三島郡55圓、泉南郡43圓、南河内郡39圓、泉北郡38圓、北河内郡26圓、中河内郡ハ10圓デ最モ少額ニ當ツテ居ル。

尙參考ノ爲總價額ノ郡別割合ト林野面積ノ各郡分布割合トヲ再記シテ置ク。

	三島郡	豊能郡	泉北郡	泉南郡	南河内郡	中河内郡	北河内郡
林産物價額	16.76%	31.35%	13.81%	14.36%	16.18%	1.04%	6.50%
林野面積	13.24%	22.38%	16.04%	14.65%	18.18%	4.47%	11.01%

26. 林産物價額種類比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年ニ比シ増減	同上割合
總數	1,803,845	1,562,719	(-) 241,126	(-) 1.34
用材	314,743	185,915	(-) 128,828	(-) 4.09
薪炭材	387,716	446,398	(+) 58,682	(+) 1.51
竹材	42,934	38,225	(-) 4,709	(-) 1.10
林野産物	1,058,452	892,181	(-) 166,271	(-) 1.57

林産物價額ヲ種類別ニ前年ト比較スルト上ノ如クデアツテ、四種類ノ中三種類マデ減少ヲ示シ増加シタノハ薪炭材ノミデアル。而シテ其ノ額ハ58,682圓デアツテ前年ノ1割5分1厘ニ當リ、減少ノ部ハ林野産物ノ166,271圓ヲ最大トシ、用材、竹材ノ順位デアリ、減少率デハ用材ノ4割9厘ヲ最高トシ、林野産物ノ1割5分7厘、竹材1割1分ヲ示ス。カクシテ全体ニ於テ結局241,126圓(1割3分4厘)ノ減少ヲ示シタノデアル

統計は無言ノ雄辯ナリ 統計は未來を語る。

27. 鑛産物價額累年比較

(單位 円)

	鑛石販賣價額	土石類			合計
		石材	雜類	計	
大正十二年	—	463,628	249,225	712,853	712,853
同十三年	—	530,245	236,647	766,892	766,892
同四十年	—	425,475	210,128	635,603	635,603

續

	鑛石 販賣價額	土 石 類			合 計
		石 材	雜 類	計	
昭 和 元 年	—	183,235	225,971	409,206	409,206
同 二 年	—	157,312	419,477	576,789	576,789
同 三 年	—	63,246	491,424	554,670	554,670
同 四 年	—	52,424	377,049	429,473	429,473
同 五 年	—	39,937	202,184	242,121	242,121
同 六 年	—	37,742	200,852	238,594	238,594
同 七 年	—	38,143	263,550	301,693	301,693

本府ニ於ケル鑛産ハ他ノ生産物ニ比シテ洵ニ微々タルモノデ、鑛石類ノ産出ハ古來皆無デアル。土石類ハ僅カニアルノミテ之レモ逐年減少ノ傾向ヲ示シテ居ツタガ本年ハ増加シテ居ル。即チ本年ノ土石類價額ハ301,693圓デ、前年ニ比シ63,099圓(2割6分4厘)ノ増加、五年前ノ昭和三年ニ比シ252,977圓(4割5分6厘)ノ減少デアル。

尙土石類價額ヲ石材、雜類ニ分ツト石材38,143圓(1割2分6厘)、雜類263,550圓(8割7分4厘)トナリ、兩者共昨年迄ハ漸減ヲ續ケタリ。今鑛産物價額ノ最近十年間ニ於ケル消長ヲ大正十二年ヲ100トシテ指數ヲ以テ示スト、同十三年108、同十四年89、昭和元年57、同二年81、同三年78、同四年60、同五年34、同六年33、同七年42トナリ、グラフニヨルト大体波狀ヲナシテ増減シテ居ル。

問題は大きくても小さい數で解決す
統計に優る味方なし

漁 業

管内ニ於ケル漁業ノ狀勢 本府ニ於ケル漁業ハ沿海地ノ交通至便ナル上大消費都市タル大阪市ヲ控ヘル關係上、水産物ノ需用ハ日毎ニ増加シ、漁具、漁船等年々改良セラレ、逐年著シイ進歩發達ヲ示シテ居ル。特ニ本府ニ於テハ水産養殖者ニ對シ鯉種ヲ配付シテ委託試驗ヲナシ、又漁業組合ニ對シテハ漁獲物運搬、漁船建造ニ對スル補助金ヲ交付シ、淺海養殖獎勵トシテ蛤苗ヲ配付シ、又他面魚郡ノ來集繁殖策トシテ沿海築磯ノ設備ヲ獎勵スル等斯業ヲ盛大ナラシムルニ努力シテ居ル。

尙沿岸ニハ大阪、神戸、堺、岸和田等ノ大都市ガ圍繞シテ居ル關係上、時ニハ魚類ニトツテ有害ナ排泄物モアルガ、概シテ彼等ノ成育ニ必須ナ食料分ガ注入サレル自然ノ恩惠ガアルノデ、僅カ沿海線73軒ナルモ、他府縣ノ長イ沿海線ヲ有スルモノニ比シ割合ニ豐漁ノ地位ニアルハ洵ニ欣バシイ次第デアル。

漁業ヲ水産業者ノ上カラ觀察スルト、年末現在ニ於ケル斯業者總數ハ7,987人デ

内男ハ7,636人(9割5分6厘)、女ハ351人(4分4厘)デアル。之ヲ前年事實ニ比較スルト總數ニ於テ44人(6厘)ヲ増シテ居リ、男女別ニスルト男43人(6厘)、女1人(3厘)ヲ何レモ増加シテ居ル。尙總數ヲ本業及副業ニ分ツト本業4,314人(5割4分)、副業3,673人(4割6分)トナリ、又之ヲ業主及被用者ニ分ツト業主4,535人(5割6分7厘)、被用者3,452人(4割3分3厘)トナル。

次ニ水産業者ノ郡市分布ヲ見ルト海岸線ノ長イ泉南郡ガ最多數デ2,716人(34.00%)、大阪市ガ之ニ亞ギ、2,290人(28.67%)、泉北郡1,058人(13.25%)等デアツテ、他郡市ハ何レモ1,000人ニ達セズ、堺市7.42%、岸和田市5.91%、豊能郡3.41%、北河内郡2.83%、三島郡2.60%、南河内郡0.98%、中河内郡0.93%ノ割合トナツテ居ル。

更ニ漁船ニ付觀察スルト、年末ニ於ケル漁船總數ハ2,823隻デ前年末ニ比シ172隻ヲ減少シタ。之ヲ詳細ニ見ルト動力ヲ有セザル漁船ニ於テハ五噸未満ノモノ2,411隻デ前年ニ比シ181隻ノ減、五噸以上十噸未満ノモノ3隻デ前年ニ比シ4隻ノ減、十噸以上二十噸未満ノモノ3隻デ前年ニ同ジ、計2,417隻デ前年ニ比シ185隻ノ減少トナツテ居ル。

動力ヲ有スル漁船ニ於テハ、五噸未満ノモノ335隻デ、前年ニ比シ9隻ノ増、五噸以上十噸未満ノモノ46隻デ前年ニ比シ4隻ノ増、十噸以上二十噸未満ノモノ24隻デ前年ニ同ジ、二十噸以上五十噸未満ノモノ1隻デコレモ前年ト同ジ、計406隻トナリ、前年ニ比シ13隻ノ増トナツテ居ル。而シテ本年ハ動力ヲ有セザルモノハ大減少シ動力ヲ有スルモノハ大体算術級數的ニ増加シテ居ル。コレ機械文明ノ進歩ガ漁業ニモ著シイ影響ヲ及ボセルコトヲ物語ルモノデアル。

統計は社會を測量す 統計を解せざる者は社會の盲者

28. 水産物價額累年比較

(單位 円)

	漁 獲 物						計
	魚 類	介 類	其ノ他 水産動物	藻 類	遠洋漁業	水産養殖	
大 正 十 二 年	1,572,152	57,227	2,171,878	673	—	204,014	4,005,944
同 十 三 年	1,572,856	63,094	2,558,555	828	—	161,476	4,356,809
同 十 四 年	1,238,329	125,049	3,885,914	847	—	240,171	5,490,310
昭 和 元 年	1,369,345	141,444	2,270,532	708	—	261,961	4,043,990
同 二 年	1,349,812	228,762	2,761,120	760	—	296,506	4,636,960
同 三 年	1,399,088	230,941	2,370,278	669	—	279,715	4,280,691
同 四 年	1,340,815	147,659	2,471,886	278	—	310,468	4,271,106
同 五 年	1,192,059	141,160	2,205,937	239	—	286,812	3,826,207
同 六 年	1,067,138	172,636	1,545,030	277	—	270,248	3,055,329
同 七 年	925,136	296,789	1,322,561	512	—	242,182	2,787,180

續

	水産製造物				合計
	食料	肥料	其ノ他	計	
大正十二年	1,818,071	19,201	139,696	1,976,968	5,982,912
同十三年	2,007,007	4,689	152,657	2,164,353	6,521,162
同十四年	2,010,277	8,704	46,503	2,065,484	7,555,794
昭和元年	1,726,257	10,500	59,000	1,795,757	5,839,747
同二年	2,052,051	16,580	31,200	2,099,831	6,736,791
同三年	2,459,858	16,558	42,015	2,518,431	6,799,122
同四年	2,416,660	12,485	90,410	2,519,555	6,790,661
同五年	2,153,667	29,480	53,068	2,236,215	6,062,422
同六年	2,067,045	23,186	92,309	2,182,540	5,237,869
同七年	1,798,605	66,937	79,132	1,944,674	4,731,854

本年ニ於ケル水産物總價額ハ掲表ノ如ク 4,731,854圓デアル。之ヲ漁獲物及水産製造物ノ二大分類別ニ見ルト、漁獲物價額ハ2,787,180圓デ總數ノ5割8分9厘、水産製造物價額ハ1,944,674圓デ4割1分1厘ニ當ツテ居ル。更ニ此ノ兩者ヲ細分スルト、漁獲物ノ内デハ其ノ他ノ水産動物ガ1,322,561圓デ漁獲物總價額ノ4割7分4厘、魚類ガ925,136圓デ3割3分2厘、介類ガ296,789圓デ1割6厘、水産養殖ガ242,182圓デ8分7厘、藻類ハ僅カニ512圓テアル。又水産製造物ノ内デハ食料ガ大部分デ1,798,605圓(9割2分5厘)其ノ他4分1厘、肥料3分4厘ニ當ツテ居ル。

次ニ最近十年間ニ於ケル増減ノ狀況ヲ大正十二年ヲ100トシテ指數ヲ以テ示スト總價額ニ於テハ同十三年109、同十四年126、昭和元年98、同二年113、同三年136、同四年114、同五年101、同六年88、同七年79トナリ、昭和三年ヨリ漸減ノ傾向ニ轉ジタ。

漁獲物價額ニ於テハ大正十二年ヲ100トスルト同十三年109、同十四年137、昭和元年101、同二年116、同三年107、同四年107、同五年96、同六年76、同七年70トナリ大正十四年ヲ頂上トシ昭和二年ヨリ漸減ノ傾向ニアリ。更ニ漁獲物中主要ナルモノノ最近十年間ニ於ケル趨勢ヲ觀ルニ、昭和三年迄ハ一高一低ノ状態デアツタガ、爾後漸減ノ傾向ニアリ。其ノ他ノ水産物ハ大正十四年迄ハ逐増シ、其ノ後昭和四年迄ハ一高一低ノ状態ナリシモ以後遞減ノ趨勢ヲ示シ 水産養殖モ同ジク昭和四年ヲ頂上トシ減少ヲ示シテ居ル。

水産製造物價額ニ於テハ大正十二年ヲ100トスルト同十三年109、同十四年104、昭和元年91、同二年106、同三年127、同四年127、同五年113、同六年110、同七年98トナリ大シタ増減ナカリシモ昭和四年ヨリ漸減ノ状態デアル。

29. 水産物價額郡市別

(單位円)

	漁獲物						合計
	魚類	介類	其ノ他水産動物	藻類	鹽洋漁業	水産養殖	
總數	925,136	296,789	1,322,561	512	—	242,182	2,787,180
大阪市	239,146	69,379	735,512	—	—	9,653	1,053,690
堺市	142,610	208,900	112,000	—	—	460	463,970
岸和田市	29,940	3,035	142,665	—	—	1,500	177,140
三島郡	15,478	827	—	—	—	4,167	20,472
豐能郡	2,682	—	—	—	—	12,021	14,703
泉北郡	190,488	4,710	6,740	—	—	39,435	241,373
泉南郡	285,500	7,042	325,614	512	—	76,350	695,018
南河内郡	5,619	—	30	—	—	20,912	26,561
中河内郡	381	—	—	—	—	70,329	70,710
北河内郡	13,292	2,896	—	—	—	7,355	23,543

續

	水産製造物				合計
	食料	肥料	其ノ他	計	
總數	1,798,605	66,937	79,132	1,944,674	4,731,854
大阪市	1,412,990	51,975	21,300	1,486,265	2,539,955
堺市	101,500	200	18	101,718	565,688
岸和田市	105,644	2,371	—	108,015	285,155
三島郡	4,350	—	—	4,350	24,822
豐能郡	3,600	—	—	3,600	18,303
泉北郡	84,976	2,562	36	87,574	328,947
泉南郡	77,490	9,829	142	87,461	782,479
南河内郡	—	—	—	—	26,561
中河内郡	—	—	—	—	70,710
北河内郡	8,055	—	57,636	65,691	89,234

本年ニ於ケル水産物價額ノ郡市分布ノ狀況ヲ見ルト大阪市過半ヲ占メテ53.68%ニ當リ、泉南郡16.54%、堺市11.95%、泉北郡6.95%、岸和田市6.03%、北河内郡1.89%、中河内郡1.49%、南河内郡0.56%、三島郡0.52%、豐能郡0.39%デアル。

次ニ二大分類別ニ觀ルト漁獲物ニ於テハ大阪市首位ヲ占メ37.80%、泉南郡24.94%、堺市16.65%、泉北郡8.66%、岸和田市6.36%、中河内郡2.54%、南河内郡0.95%、北

河内郡0.84%、三島郡0.73%、豊能郡0.53% = 當ツテ居ル。

水産製造物 = 於テモ大阪市斷然リードシ、76.43%ヲ占メ、亞イデ岸和田市5.55%、堺市5.23%、泉北、泉南郡共 = 4.50%、北河内郡3.38% 三島郡0.22% 豊能郡0.19% = 當リ、南河内中河内二郡 = ハ該當ガ無イ。

以上 = 依レバ漁業ハ環境 = 惠マレタ三市二郡 = 盛大ナノハ當然デアアルガ、ソノ内漁獲物、水産製造物 = 依ツテ郡市分布ノ趣ヲ異ニシテ居ルコトガ判ル。即チ泉南、泉北兩郡ハ好個ノ漁場ヲ有スル生産地デアアル = 對シ、大阪市ハ寧ロ水産工業地ト云ヘヤウ。

30. 水産物價額種類別比較

	昭和六年	昭和七年	昭和六年 = 比 増減	同上割合
總數	5,237,869	4,731,854 (-)	506,015 (-)	0.97
漁獲物	3,055,329	2,787,180 (-)	268,149 (-)	0.88
魚類	1,067,138	925,136 (-)	142,002 (-)	1.33
介類	172,636	296,789 (+)	124,153 (+)	7.19
其他水産動物	1,545,030	1,325,561 (-)	222,469 (-)	.44
藻類	277	512 (+)	235 (+)	8.48
遠洋漁業	—	—	—	—
水産養殖	270,248	242,182 (-)	28,066 (-)	1.04
水産製造物	2,182,540	1,944,674 (-)	237,866 (-)	1.09
食料	2,067,045	1,798,605 (-)	268,440 (-)	1.30
肥料	23,186	66,937 (+)	43,751 (+)	18.87
其他	92,309	79,132 (-)	13,177 (-)	1.43

本年ノ水産物價額ヲ前年事實 = 比較スレバ掲表ノ如クデアアル。

即チ漁獲物 = 於テ8分8厘、水産製造物 = 於テ1割9厘、總數 = 於テ9分7厘ヲ何レモ減少シテ居ル。各種類ノ内増加シタノハ三種類デ皆著シイ増加ヲナシ、其ノ内水産製造物ノ肥料ガ43,751圓 (18割8分7厘)ノ増加デ最高ヲ示シテ居ル。他ノ五種類ハ減少セルモ1割—1割5分内外ニシテ大シタルコトナシ。

統計は社會を知る一つのプリズム又はレンズなり 統計は世の光

工場總覽

本調査ノ根據ハ資源調査法第一條ノ規定 = 基ク所謂商工省工場調査 = 據ツテ蒐集セラレタモノデ、既ニ昭和四年カラ改正發表セラレテ居ル。但シ前表生産物中工産

等ノモノハ本調査ト別個ノモノデアアル。本調査ノ重要サハ物的及人的資源ノ統制運用上ニ資スル處ガ大ニシテ、單ニ商工行政上重要ナル資料ノミデナク又以テ民間企業計畫及經營上欠クベカラザル資料デ、混沌タル現状 = 統制的施政ノ基準トサレ更ニ國家總動員計畫ノ設定及之レガ遂行 = 必須ノ工場資源調査ノ根幹ヲ爲スモノデアアル。

従前ヨリ蒐集 = 付テハ正確ノ萬全ヲモツト = 努力、改善シツ、アルガ、尙完璧ヲ期スルニ幾多ノ欠陥アリ。之等ハ今後ノ調査上ノ革新 = 俟ツモノガ多イ。然シ乍ラ、現實 = 本調査以外 = 他 = 望マレル材料ハ見當ラナイ重要サガアル。

先ツ本府ノ工場ガ本邦工業界ニ君臨シテ牛耳ツテ居ル事實ハ那邊ニアルカ、只漠然タル觀念ノ本ニ置クラ許サナイ。其ノ嚴然タル事實ヲ認識スルコトガ最モ緊要事デアリ、非常時ニ處スルニ當ツテ本府ノ工場ノ内容ヲ検討シテ置カネバナラナイ。本府ノ工場ハ數ニ於テ第二位デアリ、職工數生産額ハ第一位デアアル。而シテ直接生産ノ勞務ニ携ハル勤勞者ト其レカラ生産サレル額カ對内外的 = 有機的 = 形成サレ其ノ影響スル所ガ甚大デアアル。本府ノ工場 = 在リテ萎微不振ガ直接勤勞者ノ生活内容ニ映シ延ヒテ社會的經濟的行政的 = 考ヘサセラル、一方其レガ對策ノ順應如何ガ一國ノ繁榮 = モ關ハルモノデアアル。故ニ本府ノ工場ノ如何ハ本邦ノ工業界經濟界ヲ左右スルハ勿論本邦ノ盛衰 = 關ハルノデアアル。

工場ノ各部門ニ立入ツテ其ノ狀勢ヲ觀ルニ各其ノ要素ノ構成ハ實ニ非常時反映デアアル、マシテ其ノ事實ハ躍進ノ姿デアリ、本年ノ統計 = 現像サレテ居ル。

31. 工場及從業人員

	工場			從業人員					
	原ヲル 動力 力ヒノ	原ヲル 動力 力ヒノ	計	職工		其他ノ從業員		計	
				男	女	男	女	男	女
全 管									
昭和三年	6,557	1,202	7,759	141,377	99,365	6,697	1,227	148,074	100,592
同 四年	6,432	1,261	7,693	139,152	97,264	11,399	2,116	150,551	99,380
同 五年	6,887	1,039	7,926	125,829	81,847	8,382	1,702	134,211	83,549
同 六年	6,905	1,055	7,960	121,063	85,122	7,297	1,363	128,360	86,485
同 七年	7,334	1,042	8,376	134,329	91,851	7,031	1,328	141,360	93,179

業 種 別 (昭和七年)

紡織工業	1,691	198	1,889	22,918	62,902	1,703	536	24,621	63,438
金屬工業	1,122	73	1,195	24,081	2,345	926	159	25,007	2,504
機械器具工業	1,192	75	1,267	31,220	2,475	973	229	32,193	2,704

續

窯業	247	55	302	9,140	1,309	347	34	9,487	1,343
化學工業	628	74	702	13,602	7,210	1,688	149	15,290	7,359
製材及木製品工業	336	51	387	5,734	546	232	29	5,966	575
印刷及製本工業	321	14	335	6,666	846	181	19	6,847	865
食料品工業	779	154	933	8,845	2,191	466	41	9,311	2,232
瓦斯及電氣業	11	—	11	979	19	89	23	1,068	42
其ノ他ノ工業	1,007	348	1,355	11,144	12,008	426	109	11,570	12,117

工場

近年本府ニ於ケル工場ノ増減ヲ觀ルニ、昭和三年ニ於テ7,759ヲ示シタルニ對シ、僅カ五年足ラズノ間ニ8,376ヲ算シ616(8分)ノ増加ヲ見タリ、之レガ逐年ノ増減ヲ指數ヲ以テ示セバ

三 年	四 年	五 年	六 年	七 年
100	100	102	102	108

トナリ、昭和四年ニハ實數ニ於テ多少減少シテ居ルガ、此レハ調査規則改正セラレタ當時ノ狀況ニテ、實際調査ノ範圍ガ廣汎ニナレルニ反シ該當工場ノ少ナカツタコトニ基因スル、五年ニハ233(3分強)増加シ六年ニハ指數同率ナルモ實數ニ於テ34(4厘)工場ノ該當ヲ多ク見タル七年ニハ躍進ノ姿歴然タルモノガアリ、實數ニ於テ416(5分2厘)工場ノ勇躍ヲ現ハシタリ。

原動機ヲ用ヒザル家内工場、手工業的ナ工場モ近年逐次遞減シ、近代工工場トシテ次第ニ經營上ニモ作業上ニモ改善動力化セラレ、後述スル如ク、個數馬力數ニ於テ累年増加ヲ示シテ居ルガ、實際統計上ニ現ハレタ割合ト實數ニ於テハ動力ヲ用ヒザル工場ノ減率状態ガ累年増加ノ道程ヲ辿ル工場數ノ率トハ、反比例的ニ一致シナイ。原動機ヲ用ヒザル工場ノ%ヲ昭和三年カラ觀ルト

三 年	四 年	五 年	六 年	七 年
15.5	16.4	13.1	13.3	12.5

昭和三年ヨリ四年ニハ工場數ハ前ニ述ベシ如ク減ツテ居ルニ反シ、原動力ヲ用ヒザル工場ガ増シテ居リ、五年ニハ著シク動力化ノ機運濃厚トナリ、六年ニハ%ニ於テ實數ニ於テモ動力ナシノ工場ガ多ク該當サレ、七年ニハ過去五ケ年間ニ類例ヲ見

ナイ數ヲ示シテ居ル。最モ七年度ニ於テハ後述スル如ク原動機ノ個數、馬力數ノ増加ノ程度ガ大デ31,619個11,205,518.1馬力ヲ示シ、之レヲ昭和三年ニ比スト原動力ヲ用ヒザル工場、1割5分5厘カラ1割2分2厘ト減少シ、3分ノ動力化現象ヲ招來シ斷然例年ノ比デハナイ。

次ニ昭和七年末現在ニ於ケル工場數8,376ヲ工業別ニ觀ルト本府下ノ重用ナルエツセンスヲ成シテ居ル紡織工業ガ1,889工場(22.5%)ヲ占メ、之レニ亞グハ其ノ他ノ工業1,355工場(16%)、機械器具工業1,267工場(16%)、金屬工業1,195工場(14.2%)食料品工業933工場(11%)ニシテ最モ工場數ノ少ナイノハ依然トシテ瓦斯及電氣工場デアリ本府ニ形成サレル工場數ノ工業別ニ見タ順位ハ毎年易々ト變ラヌモノデナク、本府ノ工業形体ガ嚴然トシテ活動シ生産ヲ營ンデキルノデアル。

之等工業ニ付前年ト對比スト、夫々其ノ時代ニ依ツテ動勢ガ違ツテ居ル。例ヘバ紡織工場ニ在リテハ前年ヨリ128工場(6分4厘)減少シテ居ル。此レハ實際該工業ノ昭和七年度ニ於ケル業界ハ混沌タル有様デアリ、該工場中本年ニ至リ莫大小製品工場ニシテ裁縫ヲ營ム工場ガ其ノ他ノ工業ニ該當シタル結果デ從ツテ其ノ他ノ工業ニ於テ前年ヨリ318工場(3割1分)ノ多キヲ算シタ。機械及器具工場ハ139工場(1割2分)、金屬工業ニ於テ31工場(3分7厘)、食料品工業ニ於テ11工場(1分2厘)ノ増加ヲ示シタ。之等ニ反シ減少シタ工業ハ既述ノ如ク、紡織工業ノ外ニ印刷及製本業ガ4工場減ジ瓦斯及電氣工業ハ前年ト同數デアル。

以上ノ増減ハ調査ノ範圍ト内容トノ見解ニ依ツテ分類ニ多少ノ相違ヲ來スガ故ニ該當工場數モ從ツテ異動スルハ止ムヲ得ナイガ、其等ノ影響スル所ハ些少デアリ概ネ昭和七年中ニ於ケル各工業果ニ影響シ生産品ノ轉換ヲ行ヒタル結果ト見テ間違ヒナイ。例ヘバ軍需品ノ活況ノ波ニ乗ジテ居ル事實ハ夫々前年ノ生産品ノ種目ヲ軍需品關係ノ品目ニ生産ノ轉換ヲ行ナツタ結果デアラウ。

前ニ動力化ノ年度別ニ付テ述ベタルガ之レヲ本年ノ各工業別ニ原動機ヲ用ヒル工場ト用ヒザル工場トノ%ヲ出シテ各工業ニ付テ動力化ノ趨向ガ窺ハレル。

今動力化ノ大ナル工業カラ觀ルト瓦斯及電氣工業ハ全工場動力ヲ用ヒ印刷及製本業、機械及器具工業、金屬工業トナリ、割合ニ動力化セラレ、其レニ亞グ紡織工業化學工業、製材及木製品工業、食料品工業、窯業、其他ノ工業ノ順位トナリ、毎年同結果デアル。今之レヲ本年ト前年トノ原動機ヲ用ヒザル工場ニ付テ%ヲ見出スト

紡織工業		金屬工業		機械器具工業		窯業		化學工業	
六年	七年	六年	七年	六年	七年	六年	七年	六年	七年
10.3	10.4	7.1	6.1	4.6	5.9	21.3	18.2	11.5	10.5

製材及木製品工業		印刷及製本業		食料品工業		瓦斯及電氣業		其他ノ工業	
六年	七年	六年	七年	六年	七年	六年	七年	六年	七年
14.4	13.1	5.7	4.2	18.7	16.6	16.7	0	33.0	25.7

トナリ、其ノ他ノ工業ノ如キハ動力化ノ傾向ガ斷然大デアリ、其レニ亞グ窯業—食料品工業、印刷及製本業、製材及木製品工業、金屬工業、化學工業ノ順ヲ示シ、之レニ反シ機械及器具工業紡織工業ノミガ、本年ニ入ツテ動力ナシノ工場ガ多クナツタ。其等ノ工業ニ於テ動力化ノ減退シタ事實ハ如何ナル原因ニ基ズクヤヲ探究スルニ、機械器具工業ニシテ電球工業ノ如キ電球部分品、球、管其ノ他ノ附屬品ノ製造ニ火勢ノミヲ以テ作業ヲ爲ス工場、自轉車製造工場ニシテ動力ナシノ作業状態ニアル工場其ノ他ノ機械部分品製造ニシテ一部ノ行程ヲノミ爲ス手工業的ナ工場ノ多ク該當シタル爲ト、紡織工業ニ在リテハ莫大小製造ニ手働的ナモノ、其他晒染色工場ニシテ動力ナシノ工場ノ多ク該當シタル爲ニ、以上ノ結果トシテ%ニ於テ動力化ノ退化現象ヲ表ハシタルモノデアアル。然シ實際ノ動力ヲ用ヒテ居ル其等ノ工場ハ後述スル如ク一工場當リノ馬力數ヲ見ルト、紡織工業80.5馬力カラ945馬力、機械器具工業46.2馬力カラ67.7馬力ト増シテ居ルカラ動力化ノ退化ノ現象トハ云ヘナイ。

従業人員

従業人員ハ昨年迄ハ工場ノ増加ト反比例シテ居ツタモノガ今年ニ至リ正比例シテ増加シタ。今總従業ト其ノ中ノ職工ノミニ付テ昭和三年カラ比較シテ見ルト其ノ波形ハ異ナツテ居ル。

	三年	四年	五年	六年	七年
従業者	100	100	91	86	94
職工	100	98	86	85	94

即チ昭和四年ニハ總數ニ於テ増加シテ居ルガ、職工數ノミニ付テ觀ルト減ツテ居ル。昭和四年以降ハ従業者ニ於テ減少率大デアアルガ、職工ノミニ付テ表ハレル所ニ左程大デナイカラ其ノ他ノ従業者ノ減少ガ多クナツタコトニナリ、七年ニハ職工ノミニ付テ増加ノ割合ガ大デアアルカラ、其他ノ従業者ハ小デアリ、後述ノ如ク却ツテ減ツテ居ル。

次ニ夫々異ナツタ見地カラ次ノ項目ニ付テ割出シテ觀ルト

	三年	四年	五年	六年	七年
一工場當(人)	31.0	30.8	26.2	25.9	27.1
男工(%)	58.7	59.0	60.6	58.6	59.3
職工百人ニ對スル其他ノ従業者(人)	3.3	5.7	4.9	4.2	3.7

トナリ、一工場當リニ付テ觀ルト、職工數減少ノ波ト一致シテ居ルガ、本年ニ至リ工場數ノ増加率ヨリ職工ノ増加率大デアリ、一工場當リニ付テ1.2人ヲ増シテ居リ、四年ニ於ケル30.8人ニ比スト一工場當リ3.7人が減ジテ居ル。而シテ本年ハ特別ナル現象デアアル。

男女性別ニ觀ルト五年迄ハ逐年男工ノ割合ガ増加シテ居リ、前表ノ職工ニ於テ減少シテ居ルカラ、女工ノ方ガ減少シテ居ルコトヲ現ハシ、六年ニハ男工ノ割合ガ減ジ、七年ニハ増シテ居リ、本年ハ男工ノ雇用者ガ多クアツタコトガ察セラレル。而シテ常ニ男工ハ女工ヨリ多ク、平均59.2%ノ男工ガ占メテ、本府下工場全体ニ勞働ニ従事シテ居ルノデアアル。

職工百人ニ付其ノ他ノ従業者ヲ觀ルト、四年迄ハ増加シテ居ルガ、其レ以降ハ減ツテ居ル。即チ直接生産ニ預カラザル者ガ減少シ、本年ノ如ク職工數ノ雇用ノ激増ト一致セズシテ、却ツテ減ツテ居ルカラ勞働消費トシテ、直接生産的ナ職工ノミノ就職ニアツタコトガ明ラカデアアル。

次ニ各工業別ニ本年ノ職工數226,180人ヲ觀ルニ本府ニ於テ重要ナル役割ヲ以テ任ズル紡織工業ニ85,820人(38%)、機械器具工業33,695人(14.9%)、金屬工業26,426人(11.7%)、其ノ他ノ工業23,152人(10.1%)、化學工業20,812人(9.2%)、食料品工業11,036人(4.9%)、窯業10,449人(4.6%)、印刷及製本業7,512人(3.4%)、

製材及木製品工業6,280人(2.87%)、瓦斯及電氣工業998人(0.4%)トナリ、前述ノ工場數ニ於テ述べタルガ如ク、工場數ノ寡多ト關連シテ鹽梅サレテ職工ガ雇用サレテ居ルガ、必ズシモ同一デハナイ、即チ各工業ニヨリ其ノ勞働消費ノ大小ガ各々異ナツタ要求ヲ必要トシ、作業ノ形態ガ同一デナイコトニ起因スル。明カナル一例ヲ掲グレバ、工場數ニ於テ第二位ニ在ル、其ノ他ノ工業ガ職工數ニ於テ第四位デアアルガ如キデアアル。

之等ノ各工業ニ付テ職工數ノ増減ヲ前年ト對比スルト、紡織工業ニ在リテハ1,999人(2分4厘)ノ増加ヲ示シ、工場數ハ減少ト反比例ヲ表ハシ、金屬工業2,530人(1割1分)、機械器具工業6,600人(2割4分)、窯業458人(4分6厘)、化學工業2,608人(1割4分)、(製材及木製品工業877人(1分3厘)、印刷及製本業326人(4分2厘)ガ前年ヨリ減ジ、食料品工業337人(3分)ヲ増加シ、瓦斯及電氣業96人(8分8厘)ガ印刷及製本

業ト同様前年ヨリ減少シテ居ル。其ノ他ノ工業4,912人(2割7分)ガ一番増加率大デアル。

次ニ各工業一工場當リニ職工數ヲ見ルト、勞働消費ノ割合ガ窺知セラレル。即チ勞力ヲ主体ト爲スヤ否ヤノ作業ノ如何、及其ノプラントノ大小ノ概要ガ窺ハレル。例ヘバ瓦斯及電氣業91人ト云フ職工ガ勞働ニ從事シ、紡織工業45人、窯業35人、化學工業30人、機械器具工業27人、印刷及製本業及金屬工業ノ22人、其ノ他ノ工業17人、製材及木製品工業16人、食料品工業12人等トナリ、前年ト大差ハナク又其等ノ關係ハ全國的ニ一様デアリ各工業ノ特長デアル。

然シテ其等各工業ニ從事スル者ノ中、男工ノミノ割合ヲ見ルト、瓦斯及電氣業ガ(98.0%)機械器具工業、(92.77%)、金屬工業(91.3%)、製材及木製品工業(91.2%)、印刷及製本業(88.6%)、窯業(87.2%)、化學工業(65.3%)トナリ、何レモ男工ノ割合ガ大デアルガ、紡織工業(26.8%)、其ノ他ノ工業(48.2%)トナリ、50%以下ヲ示シ、女工ガ其ノ作業ノ目的トスル業務ノ本体ヲナシテ居ル。

其ノ他ノ從業者ニ付テハ前述ノ如ク累年減少率大デアリ、本年ニ至リテハ前年ヨリ減少率小デアルガ、男266人、女35人減ジタ。本年ノ8,359人ニ付テ工業別ニ見ルト前年ト變リナク、紡織工業、化學工業、機械器具工業、金屬工業ニ相當多ク從事シ、本務ニ當ツテ居ル。

之レニ付男10人ニ對スル女ノ割合ヲ見ルト、紡織工業3.15人、瓦斯及電氣業2.76人其ノ他ノ工業2.56人、機械器具工業2.36人、金屬工業1.71人トナリ、食料品工業ガ女一人足ラズノ割合ニ雇用サレ前年トハ全ク趣ヲ異ニシテ居ル。

更ニ職工100人ニ付テ其他ノ從業者ノ割合ヲ見ルト、瓦斯及電氣業ノ11.3人ガ最も多ク、化學工業8.8人、食料品工業4.7人、金屬工業4.1人、製材及木製品工業4人、窯業3.7人、機械器具工業3.6人、印刷及製本業2.7人、紡織工業2.6人、其他ノ工業、2.3人トナリ、紡織工場ノ如キハ職工ノ割合ニ其ノ他ノ從業者ハ少ナク雇用サレテ居ル。

32. 原 動 機

全 管

	原 動 機							
	蒸 汽 機 關		蒸 汽 ター ビ ン		瓦 斯 機 關		石 油 機 關	
	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數
昭 和 三 年	526	123,990.8	50	301,799.0	49	2,824.5	38	901.5
同 四 年	303	321,178.2	57	337,126.0	25	1,544.0	29	914.0
同 五 年	220	28,187.7	38	199,687.5	23	1,983.5	43	1,318.0
同 六 年	239	108,800.0	28	249,921.0	28	1,859.5	87	4,022.5
同 七 年	277	72,903.5	39	390,209.0	26	1,907.0	119	5,195.5

業 種 別 (昭和七年)

紡 織 工 業	40	9,705.0	12	4,636.0	1	25.0	96	3,931.5
金 屬 工 業	17	4,447.0	3	1,075.0	1	60.0	3	125.0
機 械 器 具 工 業	4	773.0	—	—	2	65.0	2	70.0
窯 業	3	360.0	2	13,000.0	3	42.0	—	—
化 學 工 業	52	3,270.5	1	18.0	1	120.0	3	45.0
製 材 及 木 製 品 工 業	5	450.0	—	—	—	—	1	7.0
印 刷 及 製 本 業	—	—	—	—	—	—	3	602.0
食 料 品 工 業	35	877.5	—	—	3	352.0	9	223.0
瓦 斯 及 電 氣 業	111	52,413.5	21	371,480.0	15	1,243.0	—	—
其 他 ノ 工 業	10	607.0	—	—	—	—	2	192.0

原 動 機 (續)

	原 動 機							
	タービン水車		ベルト水車		日本形水車		電 動 機	
	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數	個 數	馬 力 數

全 管

昭 和 三 年	30	238.0	17	57.8	181	322.9	19,437	296,957.6
同 四 年	12	208.0	3	17.0	204	338.0	22,901	594,168.9
同 五 年	10	173.0	5	20.5	207	322.6	25,056	372,932.3
同 六 年	9	171.0	2	2.0	188	291.0	27,354	415,583.4
同 七 年	10	215.0	2	2.0	199	242.5	30,947	734,843.6

業 種 別 (昭和七年)

紡 織 工 業	4	125.0	2	2.0	1	5.0	8,537	160,261.0
金 屬 工 業	—	—	—	—	—	—	4,835	321,619.8
機 械 器 具 工 業	—	—	—	—	—	—	5,417	85,051.1
窯 業	—	—	—	—	—	—	983	26,150.5
化 學 工 業	3	65.0	—	—	2	18.0	3,963	64,211.2
製 材 及 木 製 品 工 業	1	19.0	—	—	—	—	1,046	16,229.5
印 刷 及 製 本 業	—	—	—	—	—	—	1,733	8,342.5
食 料 品 工 業	2	6.0	—	—	196	219.5	1,460	14,061.5
瓦 斯 及 電 氣 業	—	—	—	—	—	—	681	25,501.5
其 他 ノ 工 業	—	—	—	—	—	—	2,292	13,415.0

原 動 機

次ニ原動機ノ使用概要ヲ各種工業別ニ示スト、原動機ヲ有スル工場7,334ノ中ニハ上記ニ示ス通り蒸気機関ハ前年ニ比シ其ノ個數馬力數共減少シタガ、蒸気タービン石油機関、タービン水車、電動機等ノ個數、馬力數共増加シ、ペルトン水車ハ個數馬力數モ同ジデア。瓦斯機関ハ個數デ減シ、馬力數デ増シ之ニ對シ、日本型水車ハ個數デ増シ、馬力數デ減ジ、其ノ他ハ變化ナイ。如斯現象ヲ示スニ至ツタノハ要スルニ前述ノ如ク利用方法ノ改善ト發達ニ基クモノデア。即チ各般工業ガ夫々作業能率増進ト技術的改良進展ノ動向ヲ辿ルモノト云フコトガ出來ル。

更ニ之等ヲ業感別ニ觀察スルト、蒸気機関ハ瓦斯電氣、紡織、化學ノ三工業ニ最モ多ク活用サレテ居ルコトハ前年ニ變リガナイガ、時勢ノ變遷デ總數トシテハ、幾分減少状態デア。

蒸気タービンハ瓦斯電氣、窯業、紡織ノ三工業ニ多ク利用サレ、就中窯業デ前年ニ比シ激増シタノハ作業經費ノ節減カラ業ノ自家發電設備ノ増加ニ依ルモノデア。其ノ他ノ工業ハ前年ニ大差ガナイ。

瓦斯機関デハ主トシテ瓦斯電氣業、食料品工業、化學工業、機械工業ニ多イ。石油機関ハ紡織工業ニ最モ多ク、印刷製本業、食料品工業、其ノ他工業ノ順位トナル。

タービン水車、ペルトン水車ハ紡織工業ニ、日本型水車ハ食料品工業ニ活用サレテ居ルガ金屬機械器具製材、印刷製本、瓦斯電氣、其ノ他ノ諸工業等ニハ全然利用サレテ居ナイ。

電動機ハ各般工業ニ亘ツテ其ノ利用範圍ガ廣ク、其ノ中デモ紡織工業、金屬工業、機械器具工業、化學工業等ハ大規模工場ガ多イノト、作業ノ特異性具備トニ依ツテ多クノ電動機ヲ利用サレルコトハ前年ニ變リハナイ。

次ニ各原動機一個當ノ馬力數ヲ觀察スルト、即チ蒸気タービンガ10,005.0馬力ノ最大強カヲ現ハシ、次ニ蒸気機関263.2馬力、瓦斯機関63.3馬力、石油機関43.6馬力電動機23.7馬力、タービン水車21.5馬力、日本型水車1.2馬力、ペルトン水車1.0馬力ノ順位ヲ示ス。之レヲ前年ト對照スルト蒸気タービン、タービン水車、電動機等ノ馬力數ガ各々増大シテ居ル。之等ハ漸次強大ナル原動機ノ使用増加ヲ示スモノデ作業上ノ經費節減ニ基クコトハ今更記スマデモナイ。其ノ他ハ概シテ著シキ變化ガナイ。

以上各種原動機ノ總馬力數ヨリ見テ各般工業ノ作業運轉割合ヲ示スト、瓦斯電氣業ノ37.2%ヲ最大トシ、金屬工業27.1%、紡織工業15.6%、機械工業7.2%、化學工業5.6%、窯業2.5%、製材工業1.4%、食料品工業1.3%、其ノ他工業1.3%、印刷製本業0.8%ノ順位トナル。即チ瓦斯電氣業ガ府下デノ強大ナル動力ヲ利用シ、印刷製本業ガ最少ノ原動力ヲ以テ運轉サレテキル事ガ判明シテ來ル。

尙ホ原動機一個當ノ馬力數ヨリ各種工業別ニ觀ルト、金屬工業67.2馬力ガ最大ヲ示

シ、次ニ瓦斯電氣業54.3馬力、窯業29.8馬力、化學工業16.8馬力、製材工業15.9馬力、機械工業11.0馬力、食料品工業9.2馬力、其ノ他工業6.2馬力、印刷製本業5.2馬力トナル。即チ金屬工業デ原動機一個當デハ最大ナル出動力ヲ現ハシ、印刷製本業デハ最小ノ出動力ヲ表現シテ居ル。

33. 燃 料 動 力

	一 年 間		
	石 炭	コ ー ク ス	石 油
昭 和 三 年	2,643,628,767	149,557,342	343,342.0
同 四 年	1,272,331,198	64,758,576	218,507.3
同 五 年	1,381,393,330	64,675,316	218,619.5
同 六 年	1,086,922,155	72,764,533	359,285.2
同 七 年	1,268,126,014	104,699,960	378,792.7

全 管

	消 費 高		
	瓦 斯	木 炭	電 力
昭 和 三 年	28,684,751 ^{立方米}	144,040,526 ^底	553,848,013 ^{キロワット時}
同 四 年	14,509,214	10,609,268	603,831,645
同 五 年	97,660,104	8,312,379	689,636,457
同 六 年	33,456,468	9,059,389	665,146,278
同 七 年	67,087,181	7,624,557	711,348,782

業 種 別 (昭和七年)

	一 年 間		
	石 炭	コ ー ク ス	石 油
紡 織 工 業	367,315,578	271,904	59,232.0
金 屬 工 業	177,717,820	46,345,597	79,187.6
機 械 器 具 工 業	41,006,040	14,379,060	61,529.9
窯 業	223,346,285	1,294,510	103,703.1
化 學 工 業	211,685,199	2,096,078	39,291.0
製材及木製品工業	1,285,072	204,076	5,926.5
印 刷 及 製 本 業	1,655,720	56,005	22,148.5
食 料 品 工 業	57,704,338	1,865,371	3,526.6
瓦 斯 及 電 氣 業	158,060,612	37,273,607	42.0
其 他 ノ 工 業	28,349,350	913,761	4,205.5

續

	消 費 高		
	瓦	水	炭 電 力
紡 織 工 業	845,896 ^{立方米}	525,876 ^{kg}	319,261,546 ^{キロワット}
金 屬 工 業	60,583,377	2,652,600	111,909,983
機 械 器 具 工 業	3,014,521	1,846,870	50,515,900
窯 業	896,299	80,524	46,171,646
化 學 工 業	661,555	922,185	96,390,983
製材及木製品工業	10,335	116,510	11,759,572
印 刷 及 製 本 業	228,265	136,743	9,699,160
食 料 品 工 業	493,057	1,068,798	21,664,225
瓦 斯 及 電 氣 業	123,603	4,500	28,500,665
其 他 ノ 工 業	230,273	269,951	15,475,102

燃 料、動 力 消 費 高

前記原動機ノ活動根源ヲ形成スルコノ燃料ニ付イテ各種工業ニ於ケル其ノ消費高ヲ觀ルト莫大ナモノデ、之レヲ前年ニ較ベルト、瓦斯、コークス、石炭、石油、電力等木炭以外殆ト全部増加ノ狀勢ヲ示シテ居ル。コレハ各種使用工場數ノ増加ニ伴ヒ需用ノ増大ヲ現ハシ中ニモ瓦斯ノ激増ニ反シ木炭ダケガ減少シタ理由ハ木炭ヨリ瓦斯利用轉化ニ依ルトハ云ヘ概シテ一般工業界ニ於テ燃料利用法ノ改良變遷ニ因ルモノノ様デアリ。ツマリ技術的改善ニヨリテ經費節減ヲ計ツタ現象ト云ヘヤウ。

次ニ以上各種燃料、動力ヲ各工業別ニ其ノ消費量ヲ觀察スルト、先ヅ石炭デハ紡織工業ニ最モ多ク、窯業、化學工業、金屬工業、瓦斯電氣業ノ順位デ、之等ニ大部分消費サレテキル。前年ニ比較スルト、窯業ガ非常ニ増加シテ居ル。コレハ自家發電ニ要スル蒸汽タービン増設ノタメ、多量ノ石炭ガ此ノ方面ニ利用サレタノデアリ其ノ他ノ工業デハ差シタル變化ガナイ。

コークスニ於テハ金屬工業ガ最モ多ク利用サレ、瓦斯電氣業、機械器具工業ト云フ順デ、之等ノ三工業ニ大部分消費サレテ居ル。其ノ他ノ工業デハ例年通り少ナイ。其ノ中デ特ニ前年ニ比シ瓦斯電氣業ニ於テ激増シタガ其ノ理由ハ瓦斯業ノ生産量増大ニ伴ヒ自然増加トハ云ヘ一面石炭ヨリコークス利用轉化ノ動向ヲ辿ツテ居ルコトモ見逃ガスコトガ出来ナイ。其ノ他ノ各種工業デハ著シイ變化ガナイ。石油デハ窯業、金屬工業、機械工業等ニ多ク使用サレテキルコトハ前年ニ變リハナイガ、特ニ窯業デ激増シタルハ其ノ中ノ硝子工業デ、熔融作業ニ從來ノ石炭ヨリハ格安ノ重油化増加ニ基クコトガ大ナル眞因デ、之等ハ畢竟作業上技術的改善ノ一進歩シタ現象ト云ヘヤウ。

瓦斯デハ金屬工業ニ最モ多ク 機械工業、窯業、紡織工業、化學工業ノ順位デハア

ルガ、前年ニ比シテ特ニ金屬工業ノ激増ヲ見タルハ、金屬ノ精煉、材料品製作等ノ加熱作業ノ利用増加ニ依ル。要スルニ軍需工業ノ旺盛ヲ示スモノデアリ。之ニ對シ紡織工業瓦斯電氣業デ激減ヲ見タルハ前者デハ、前記重油利用増シノ轉化、後者デハコークス利用増シニ基クモノノ様デアリ。其ノ他ノ工業デハ著シキ變化ハナイ。

木炭ニ於テハ金屬工業、機械工業、食料品工業等ニ多ク消費サレテキルコトハ前年ニ變リガナイガ、製材工業、食料品工業、化學工業デ増加ニ反シ紡織工業、金屬工業、其ノ他工業デ減少シテ居ル。

電力ニ於テハ紡織工業ガ最モ多ク消費サレテ居ルコトハ前年ニ變リハナイ、其ノ他ノ各種工業ノ消費量モ前年ニ比シ差シタル變遷ガナイ。

以上各種燃料、動力ノ消費状態ヲ大觀スルト、各種工業界ノ消長ハ勿論、技術的改善、作業ノ特異性經濟事情並ビニ其ノ他一般ノ狀勢ニヨリ累年其ノ消費量ノ増減ノアルコトハ免レザル現象デアリ。

統計は暗夜の光明

統計は計畫の礎なり

結 尾

以上各表ノ示ス所ニ依リ、本府産業ノ生産價額上カラ見タ狀況ハ略ホ盡サレタト考ヘル。

今其ノ全般ヲ一瞥シ要言シテ見ルト、生産總價額ハ大正九年及同十年ニ於テ、金融恐慌ノ影響ヲ受ケテ激減シタガ、其ノ反動トシテ大正十一年以降八年々遞増ヲ續ケ、遂ニ歐洲大戰直後ノ好況時代タル大正七、八年ノ記録ヲ遙カニ凌駕シ、昭和四年ニハ十七億圓ヲ突破ト云フ空前ノ數字ヲ示スニ至ツタ。然ルニ其ノ後財界ノ不況ト金解禁ニ伴フ物價急落ノ影響トニ因リ、昭和五年ニ於テハ十二億圓臺ニ急落シ、更ニ前年ハ十一億餘圓ニ下降ヲ續ケタガ、本年ニ於テヤツト十二億圓臺ニ盛返シタノデアル。今之ガ最近十年間ニ於ケル狀況ヲ詳カニセンガ爲、大正十二年以降ノ各年生産價額ヲ夫々其ノ前年ニ比較シ分節比ヲ求メルト、大正十三年ニハ一割四分六厘、同十四年ニハ五分、昭和元年ニハ七分、同二年ニハ二分一厘、同三年ニハ六分、同四年ニハ八分九厘等ヲ何レモ増加シテ居ル。即チ大正十三年以降昭和四年迄ハ逐年増勢ヲ持續シタノデアルガ、昭和五年ニ至リ一躍二割三分七厘ヲ激減シ、越ヘテ同六年ニハ更ニ一割一分八厘ヲ低下シ、本年ニ至リ漸ク一割二分二厘ノ増加ヲ見タノデアル。而シテ之ヲ通觀スルニ、昭和五年ニ於ケル減少ハ既往十年ヲ通ジテ最大ノ變動デアツタノデアル。

尙以上ノ割合ヲ六大産業分類ノ各ニ付觀察スルト、農産額ニ於テハ大正十三、四年ハ低率ナガラモ増加シタガ、昭和元年ニハ急遽一割一分八厘ヲ減少シ、翌四年ニ於テハ僅々九厘ノ増ヲ見タルノ外、爾來減勢ヲ續ケ、昭和五年ニハ二割三分一厘、同六年ニハ二割一分七厘ヲ何レモ激減シ、本年ニ於テ初メテ一割七分五厘ノ増トナツタノデアル。

右ニ依ルモ農業ノ如キハ一ニ異例ノ歳ヲ除キ早クヨリ其ノ生産額ニ於テ逐年下降ノ状態ニアツタモノデ、金解禁後ノ農産物市價崩落ノ如キハ只此ノ減勢ニ拍車ヲ掛ケタニ過ギナイコトガ窺知サレルノデアル。

畜産額ニ於テハ大正十三年ニ八分九厘ノ減ナルニ、同十四年ハ二割五分五厘ノ増加ヲ見、昭和元年ハ二分五厘ノ減トナリ、同二年五分八厘ノ増、同三年三分三厘ノ減、同四年一分五厘ノ増トナツテ、寸退尺進ノ狀況デアツタガ、昭和五年ニハ俄然一割三分七厘ヲ減ジ翌六年ニハ更ニ三分三厘ヲ減少シ、本年モ亦二分二厘ヲ減ジテ居ル。

林産額ハ關東大震災ノ翌年即チ大正十三年ニ於テ一躍八割八分一厘ヲ激増シ、翌十四年ニハ五分五厘ヲ激減シ、爾來昭和二年ノ七厘増ヲ除イテハ漸次衰退ノ道程ヲ辿リツ、アリ。鑛産額ハ大正十三年ニ於テ七分六厘ノ増加ヲ示セルモ翌十四年ヨリ下り坂トナリ、昭和二年ニハ稍々盛り返セルモ爾來前年迄逐年減勢ヲ示シ本年ニ於テ漸ク二割六分四厘増加ヲ見タノデアル。

水産額ニ於テ最大ノ變動ヲ見タノハ昭和元年ニ於ケル二割二分七厘ノ減少デアツテ、其ノ前後數年間ハ稍々増加ノ趨勢デアツタガ、昭和四年ヨリ減勢ニ轉ジ、昭和五、

六、七年ニハ夫々一割七厘、一割三分六厘、九分七厘ト云フ減少率ヲ見タノデアル。

工産額ニ於テハ大正十三年ノ一割五分四厘増ヲ始メ、同十四年五分、昭和元年一分二厘同二年二分二厘、同三年六分五厘同四年九分五厘ト何レモ増率ヲ示シ、前五者ノ増減ヨリ超然トシテ逐年遞増ヲ持續シテ來タガ、昭和五年ニ至リ俄然二割三分九厘ヲ減ジ、翌六年モ亦、引續キ一割一分六厘ヲ減少シ、本年ニ入ツテ漸ク一割二分五厘ノ増ヲ見タノデアル。即チ之ニ依リ前述ノ本府生産總價額ハ工産價額ニ略近キ比率ヲ以テ移動シ、之ト増減ヲ共ニシテ居ルコトガ窺知シ得ルノデアル。

以上ハ生産物市價ノ變動ヲ度外視セル觀察デアツテ、固ヨリ之ニ依リ直ニ以テ産業ノ盛衰ヲ判斷スルノ資トスルノハ早計デアルガ諸種ノ情勢ヲ、綜合スルニ本府産業ハ既ニ其ノ成長期ヲ經過シテ今ヤ大成期ニ入ツテ居リ、其ノ生産額ニ於テハ略飽和ノ域ニ達シタト觀ルモ大過無カロウ。而シテ其ノ經營ノ内容ヲ見レバ打チ續ク、世界的不況ノ影響ヲ受ケ、何レノ産業モ著シク維持經營難ニ喘イデ居リ、殊ニ工業界ニ於テ其ノ窮狀ノ甚タシク、生産制限ノ爲ノ操業短縮、經費輕減ヲ期ル爲ノ勞賃引下ケ等ヲ行フ者續出シ、シカモ尙維持シ得ズシテ休業果テハ廢業セルモノモ尠クナカツタ程デアリ、産業立國、國產獎勵、産業合理化等ノ叫ビモ未ダ偉効ヲ奏スル程度ニ至ラナイノハ洵ニ遺憾デアル。然シナガラ統計ハ社會ノ明鏡デアル、國家社會ニ起ル諸現象ハ映ジテ以テ餘ス所ガナイ。故ニ掲記ノ統計數字ニ付、仔細ニ其ノ出所経路ヲ探究シ善處スルナラバ利用厚生ノ上ニ齎ス効果ノ大ナルハ確認スルモノデアル。

統計は真相の母なり

一人の虚偽は萬人の實を殺す

Faint, illegible text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.

Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

34. 全國道府縣生產額比較

(昭和六年)

順位	道府縣	農産物		畜産物		林産物		礦産物		水産物		工産物		計		現住人口一人當生産價額		全面積ニ對スル農地面積ノ割合		農産物價額	
		價額	順位	價額	順位	價額	順位	價額	順位	價額	順位	價額	順位	價額	順位	價額	順位	割合	順位	價額	順位
	總數	1,921,455,384	—	204,817,103	—	231,168,486	—	295,842,747	—	376,528,945	—	6,554,854,376	—	9,584,667,041	—	145	—	156	—	32	—
1	北海道	59,847,202	8	10,601,724	4	14,747,041	2	37,052,971	2	69,246,701	1	130,056,068	10	321,551,707	7	117	23	91	47	7	47
2	青森	22,692,299	44	2,180,858	33	5,428,994	17	176,370	44	6,790,803	20	21,077,638	42	58,346,968	45	65	47	135	33	17	46
3	岩手	33,798,452	25	2,284,476	32	9,098,120	6	9,791,188	10	9,352,062	15	18,364,962	44	82,689,260	38	81	43	91	46	24	43
4	宮城	42,568,075	19	2,117,622	34	3,651,608	29	1,290,776	23	12,191,081	7	26,557,536	40	88,376,698	34	77	45	194	18	30	39
5	秋田	33,577,751	27	1,967,978	35	15,576,147	1	18,158,698	4	1,680,165	38	17,050,147	45	88,010,886	36	88	37	122	39	23	44
6	山形	42,833,874	18	1,455,728	43	4,065,155	26	595,732	32	988,047	43	35,343,191	37	85,281,727	37	79	44	150	29	30	38
7	福島	52,752,380	14	3,752,282	15	6,475,912	9	11,876,655	8	3,506,863	33	48,330,882	29	126,699,974	25	83	41	138	32	28	41
8	茨城	66,838,830	3	3,409,279	17	3,876,622	27	9,102,727	11	6,145,445	23	42,593,557	32	131,966,460	23	87	40	353	3	31	36
9	栃木	47,629,034	16	2,630,727	27	4,253,186	25	7,076,095	12	412,239	45	52,281,556	28	114,282,837	27	100	33	222	12	33	32
10	群馬	43,209,379	17	3,265,186	20	3,315,620	32	956,816	27	466,612	43	124,419,166	11	175,632,779	15	166	9	179	21	38	25
11	埼玉	58,000,601	10	5,560,986	13	1,750,315	42	727,625	31	174,671	46	91,042,533	18	157,256,731	18	108	28	425	1	36	27
12	千葉	60,538,942	6	6,885,845	10	3,314,927	33	—	46	15,124,269	6	61,834,207	26	147,698,190	21	102	31	375	2	22	45
13	東京	21,642,333	45	14,067,508	2	2,418,209	38	—	46	17,464,859	5	888,639,839	2	944,232,778	2	169	8	233	11	43	15
14	神奈川	27,175,878	37	8,418,015	7	1,293,967	46	1,048,059	24	9,798,240	12	334,947,033	5	382,681,192	6	236	4	293	6	39	22
15	新潟	65,871,645	4	2,970,571	21	6,263,570	11	22,705,641	3	3,697,591	31	89,999,520	19	191,508,538	13	95	35	191	19	27	42
16	富山	29,352,876	33	1,369,888	46	1,606,588	43	997,321	26	5,403,513	24	71,029,203	25	109,759,389	29	129	20	212	14	32	34
17	石川	24,624,437	41	1,618,618	41	3,449,016	31	1,032,196	25	4,081,168	30	72,922,365	24	107,727,800	31	138	16	172	24	34	30
18	福井	19,945,151	46	1,324,654	47	2,842,100	35	1,942,279	19	3,025,636	35	94,875,052	17	123,954,872	26	201	5	154	28	32	35
19	山梨	33,690,093	26	1,362,532	45	4,742,160	21	243,570	41	151,634	47	37,546,976	36	77,736,965	39	123	22	118	42	64	1
20	長野	69,500,827	2	4,595,064	14	4,584,125	24	550,625	35	1,334,823	41	119,873,302	13	200,438,766	11	117	24	125	37	41	20
21	岐阜	51,711,759	15	2,651,037	26	6,594,035	8	1,521,672	21	1,020,555	42	115,182,008	14	178,681,016	14	144	14	97	44	50	7
22	静岡	59,167,609	9	7,772,209	8	6,475,640	10	2,544,520	17	24,799,904	2	145,003,038	9	245,762,920	9	137	17	170	25	44	14
23	愛知	82,396,515	1	18,280,478	1	1,757,991	41	1,765,979	20	11,293,033	9	545,213,561	4	660,707,557	3	237	3	319	5	50	6
24	三重	42,327,849	20	3,342,584	18	5,235,628	18	563,271	34	12,105,353	8	98,303,777	16	161,878,462	17	140	15	179	20	41	19
25	滋賀	33,062,175	28	2,454,398	30	2,036,393	39	254,769	40	1,454,118	40	73,050,403	23	112,312,256	28	160	11	194	17	42	17
26	京都	27,504,529	36	8,419,983	6	5,093,580	19	490,766	38	1,518,324	39	254,174,563	7	297,201,745	8	189	6	129	35	46	10
27	大阪	31,345,838	29	12,049,867	3	1,803,845	40	338,594	42	5,237,869	27	1,095,424,754	1	1,146,100,767	1	315	1	326	4	53	3
28	兵庫	65,160,377	5	9,940,389	5	5,558,754	14	3,004,905	15	8,610,023	17	566,906,698	3	659,181,146	4	249	2	157	27	49	9
29	奈良	22,700,485	43	1,935,920	37	3,790,083	28	196,170	43	487,168	44	40,241,670	35	69,351,496	44	114	25	122	40	50	8
30	和歌山	25,047,160	40	1,689,860	40	10,045,343	4	771,684	29	6,264,624	21	105,014,324	15	148,832,995	20	177	7	104	43	51	5
31	鳥取	23,366,327	42	1,391,717	44	2,707,615	36	482,631	39	1,719,471	37	15,759,109	46	45,426,870	46	93	36	146	30	46	11
32	島根	29,709,155	32	1,965,407	36	5,473,558	16	136,511	45	5,365,963	25	33,458,161	39	76,108,758	41	101	32	124	38	36	26
33	岡山	56,578,246	11	3,573,243	16	5,704,252	13	2,697,954	16	4,324,366	29	120,050,661	12	192,928,732	12	150	12	177	22	45	12
34	広島	42,108,827	21	6,492,678	12	4,738,078	22	768,353	30	7,315,383	19	155,365,099	8	216,788,418	10	126	21	130	34	38	24
35	山口	37,997,253	23	2,805,294	25	6,092,597	12	15,680,059	5	23,649,271	3	80,591,254	21	166,815,728	16	146	13	174	23	35	28
36	徳島	27,067,956	38	1,480,685	42	2,669,089	37	949,842	28	6,220,174	22	43,595,075	30	81,982,821	35	108	27	126	36	51	4
37	香川	28,397,945	34	2,874,969	22	632,717	47	586,610	33	9,699,079	14	56,179,699	27	98,371,019	33	132	19	272	9	56	2
38	愛媛	40,391,197	22	2,542,977	29	4,698,850	23	11,851,295	9	10,393,670	10	81,533,455	20	151,411,444	19	132	18	158	26	45	13
39	高知	26,562,442	39	1,710,486	39	7,307,042	7	528,463	37	9,743,427	13	23,933,021	41	69,784,881	43	97	34	94	45	39	21
40	福岡	60,092,840	7	6,743,933	11	3,167,020	34	83,207,334	1	7,923,181	18	255,344,639	6	416,478,947	5	161	10	288	8	42	16
41	佐賀	29,862,343	31	1,926,810	38	1,397,656	45	6,265,592	13	3,662,300	32	33,709,850	38	76,824,551	40	112	26	292	7	42	18
42	長崎	28,330,039	35	2,799,509	24	3,630,928	30	14,267,920	6	17,794,108	4	41,403,769	34	108,226,273	30	84	38	214	13	32	33
43	熊本	54,084,458	13	3,294,299	19	4,981,705	20	5,275,769	14	3,501,547	34	75,989,738	22	147,127,516	22	105	29	209	15	35	29
44	大分	35,936,414	24	2,608,377	28	5,525,252	15	12,537,146	7	5,305,654	26	41,841,516	33	10,375,359	32	105	30	144	31	39	23
45	宮崎	31,232,569	30	2,798,609	25	9,458,569	5	1,347,795	22	4,963,363	28	20,917,333	43	70,718,238	42	88	39	120	41	33	31
46	鹿児島	56,344,363	12	7,130,850	16	10,278,857	3	2,049,966	18	8,644,815	16	42,846,417	31	127,295,268	24	82	42	200	16	31	37
47	沖縄	16,878,622	47	2,295,994	31	1,560,027	44	531,817	36	2,475,780	36	15,036,101	47	38,778,341	47	67	46	249	10	28	40

附 録
世 界
の
知 識

1. 列國ノ面積及人口

列國中本國面積ノ最大ナノハ、ソヴィエト聯邦ノ二千百萬方秆デ、中國ノ九百九十萬方秆、ブラジルノ八百五十萬方秆、北米合衆國ノ七百八十萬方秆等之ニ亞デ居ル。帝國（内地）ノ面積ハ三十八萬二千方秆デ列國中第二十五位ニ當リ、ポーランドノ次位フィンランドノ上位ニアル。

一九三〇年（昭和五年）頃ニ於ケル世界ノ總人口ハ約二十億デアル。列國中人口ノ最モ多イノハ中國ノ四億四千百萬デ、ソヴィエト聯邦ノ一億六千百萬、北米合衆國ノ一億二千三百萬之ニ亞ギ、帝國（内地）ハ六千四百萬デ第四位ニアル。而シテ獨逸ノ六千四百萬、英吉利ノ四千六百萬、伊太利ノ四千百萬、佛蘭西ノ四千萬等皆帝國ノ下位ニアル。

人口密度ハ本國面積三萬方秆以上ノ獨立國ノミニ付テ見ルト、一方秆ニ付白耳義ノ二百六十六人ヲ最高トシ和蘭ノ二百四十三人之ニ亞ギ、帝國（内地）ノ百六十九人ハ第三位ニ當ツテ居ル。而シテ英吉利（百四十六人）、獨逸（百三十七人）、伊太利（百三十三人）、チエツコスロヴァキア（百五人）、瑞西、（九十九人）等之ニ亞イデ多イ。

面積	調査年次	人口			女百ニ男	人口密度 一 方 秆 ニ 對 シ
		總數	男	女		
世界總數	129,500,000	1930	2,009,000,000	—	—	15
亞細亞洲	42,000,000	"	1,124,400,000	—	—	27
歐羅巴洲	9,500,000	"	484,800,000	—	—	51
北亞米利加洲	21,800,000	"	167,200,000	—	—	8
南亞米利加洲	18,800,000	"	81,000,000	—	—	4
阿弗利加洲	28,800,000	"	142,100,000	—	—	5
大洋洲	9,000,000	"	9,500,000	—	—	1
亞細亞洲						
(A)帝國	675,114 × 1930		90,396,043	45,675,205	44,720,502	102 134
内地	382,309 × "		64,450,005	32,390,155	32,059,850	101 169
		1931	65,366,500	32,852,400	32,514,100	101 171
		1932	66,296,000	33,321,000	32,975,000	101 173
朝鮮	220,741	1929 (C)	19,331,061	(C) 9,871,432	(C) 9,459,629	104 88
	× 1930		21,058,305	(B) 10,763,230	(B) 10,294,739	105 95
臺灣	35,974	1929 (C)	4,548,750	(C) 2,330,199	(C) 2,218,551	105 126
	× 1930		4,592,537	2,353,288	2,239,249	105 128
樺太	36,090	1929 (C)	251,313	(C) 139,501	(C) 111,812	125 7
	× 1930		295,196	168,532	126,664	133 8
關東洲及滿鐵附屬地	3,753	1929 (C)	1,225,788	(C) 738,454	(C) 487,334	152 327
	× 1930		1,328,011	809,044	518,967	156 355
南洋委任統治區域	2,149	1929 (C)	64,921	(C) 35,478	(C) 29,443	121 30
南洋委任統治區域		× 1930	69,626	37,929	31,697	120 32
中國	9,917,467	1928	441,089,000	—	—	44
滿洲國	1,191,000		33,697,920	—	—	28

トルコ	762,741	×1927	13,660,275	6,584,474	7,075,801	93	1
歐羅巴ノ部	23,975	×1927	1,044,306	528,266	516,040	102	44
亞細亞ノ部	738,766	×1927	12,615,969	6,056,208	6,559,761	92	17
暹羅	518,162	×1930	11,684,000	5,888,000	5,796,000	102	23
ペルシア	1,627,000	1929	9,190,000	—	—	—	6
アフガニスタン	650,000	1924	12,000,000	—	—	—	18
ネパール	140,000	1920	5,600,000	—	—	—	40
エーメン	195,000	—	1,000,000	—	—	—	5
ヘブラス	440,000	—	900,000	—	—	—	5
屬領(アツシール)	200,000	—	1,000,000	—	—	—	2
ホーマン	212,000	—	500,000	—	—	—	2
ブータン	51,800	1920	250,000	—	—	—	5
歐羅巴洲							
ソヴェエト聯邦	21,352,572	×1931	161,006,200	—	—	—	8
		1932	163,166,100	—	—	—	8
歐羅巴ノ部	4,236,843	×1931(B)	109,254,300 (B)	52,012,400 (B)	57,241,900	91	26
亞細亞ノ部	17,115,729	× "	(B) 37,759,300 (B)	19,011,900 (B)	18,747,400	101	2
獨逸	470,665	1930	64,298,000	—	—	—	137
		1931	65,287,000	—	—	—	139
		1932	65,594,000	—	—	—	139
(A)英吉利	31,814,000	1921	438,300,000	—	—	—	14
本國	245,099	1930	45,930,000	—	—	—	146
		×1931 (D)	46,637,000 (D)	22,068,000 (D)	23,969,000	92	183
屬領(E)	31,500,000	1921(E)	391,200,000	—	—	—	12
英領印度	4,675,792	×1931(B)	351,450,689	—	—	—	75
愛蘭自由國	68,894	×1926	2,971,992	1,506,889	1,465,103	103	43
		1929	2,943,000	—	—	—	43
		1930	2,945,000	—	—	—	43
カナダ	9,187,290	1929	9,797,000	—	—	—	1
		1930	9,935,000	—	—	—	1
		×1931	10,374,196	—	—	—	1
南阿聯邦	1,222,260	"	8,132,600	—	—	—	7
		1932	8,250,900	—	—	—	7
濠洲	7,704,135	1930	6,439,000	3,288,000	3,151,000	104	1
		1931	6,476,000	—	—	—	1
新西蘭(本土)	267,507	1929 (F)	1,405,000 (F)	717,000 (F)	688,000	104	5
		1930 (E)	1,422,000 (F)	725,000 (F)	697,000	104	5
		1931 (F)	1,442,746 (F)	735,965 (F)	706,781	104	5
其ノ他	8,460,000	1921	49,900,000	—	—	—	6
(A)佛蘭西	10,916,535	1926	94,700,000	—	—	—	9
本國	550,986	×1926	40,228,481	19,309,568	20,918,913	—	73
		1930	41,400,000	—	—	—	75
		×1931	41,834,923	—	—	—	75
屬領	11,942,262	×1931	63,539,000	—	—	—	5
佛領印度支那	740,400	× "	21,452,000	—	—	—	29
アルゼリア	2,195,097	× "	6,553,000	—	—	—	3
其ノ他	9,006,765	× "	35,534,000	—	—	—	4

伊太利	2,419,000	1928—31	43,368,000	—	—	—	18
本國	310,137	×1931	41,145,041	—	—	—	133
		1932	41,605,000	—	—	—	134
屬領	2,109,000	1928	2,223,000	—	—	—	1
ホーランド	388,330	1930	30,408,000	—	—	—	78
		×1931	31,927,773	—	—	—	82
西班牙	837,000	1920	22,272,000	—	—	—	27
本國	503,075	1929	23,529,000	—	—	—	47
		×1930	23,817,179	—	—	—	47
屬領	334,000	1920	934,000	—	—	—	3
ルーマニア	294,967	1928	17,905,000	—	—	—	61
		×1930	18,024,269	—	—	—	61
チェッコスロヴ	140,485	1929	14,608,000	—	—	—	104
アキア		×1930	14,726,158	—	—	—	105
ユーゴスラヴ	248,987	1928	13,290,000	—	—	—	53
イア		×1931	13,929,988	6,894,091	7,035,897	98	56
ハンガリー	92,916	1929	8,635,000	—	—	—	93
		×1930	8,683,740	4,245,561	4,438,179	96	93
(A)白耳義	2,415,564	1929—30	16,534,000	—	—	—	7
本國	30,444	1929	8,060,000	3,995,000	4,065,000	98	265
		×1930	8,092,004	4,007,418	4,084,586	98	266
屬領	2,385,120	1929	8,442,467	—	—	—	4
和蘭	2,074,449	1929—30	68,870,000	—	—	—	33
本國	32,603	1929	7,833,000	—	—	—	240
		×1930 (B)	7,920,388 (B)	3,935,635 (B)	3,984,753 (B)	99	243
		1931 (C)	8,061,808	—	—	—	247
屬領	2,041,846	1929—30	60,950,000	—	—	—	30
蘭領東印度	1,900,151	×1930	60,731,025	—	—	—	32
其ノ他	41,695	1929	219,000	—	—	—	2
埃地利	83,833	×1923	6,534,481	3,147,404	3,387,077	93	78
		1928	6,635,000	—	—	—	80
		1931	6,722,000	—	—	—	80
ポルトガル	2,172,507	1921—30	13,978,000	—	—	—	6
本國	92,930	1929	6,950,000	—	—	—	75
		×1930	6,660,852	3,103,440	3,557,412	87	72
屬領	2,079,577	1921—30	7,317,000	—	—	—	4
瑞典	410,540	1929	6,120,000	—	—	—	15
		×1930 (B)	6,141,571 (B)	3,023,465 (B)	3,118,106 (B)	97	15
希臘	130,199	×1928	6,204,684	3,076,235	3,128,449	98	48
アルゲリア	103,146	1929	5,825,000	—	—	—	56
		1930	5,944,000	—	—	—	58
		1932	6,067,000	—	—	—	59
瑞西	41,295	1929	4,052,000	—	—	—	98
		×1930 (B)	4,077,099	—	—	—	99
		1931	4,080,720	—	—	—	99
丁本	132,426	1921—31	3,590,000	—	—	—	27
本國	42,927	1929	3,518,000	—	—	—	82
		×1930	3,550,651	—	—	—	83

	1931	3,566,000	—	—	—	83
(G)屬領	89,499 1921—30	39,000	—	—	—	0
フィンランド	343,427 1929	3,612,000	—	—	—	11
	1930	3,667,067	—	—	—	11
諸威	309,901 1929	2,821,000	—	—	—	9
	×1930	2,809,564	—	—	—	9
リニア	55,658 1931	2,367,000	—	—	—	42
	1932	2,393,000	—	—	—	42
ラトヴィア	65,791 ×1930	1,900,045	—	—	—	29
	1931	1,909,000	—	—	—	29
エストニア	45,220 1931	1,117,000	—	—	—	25
	1932	1,100,000	—	—	—	25
アルバニア	44,999 ×1930	1,005,902	—	—	—	22
(H)ザール地方	1,910 ×1927	770,000	—	—	—	403
ダンチヒ自由市	1,894 ×1929	407,517	191,524	215,993	89	215
ルクセンブルグ	2,586 ×1930	299,782	—	—	—	116
アイスランド	102,846 ×1930	108,644	—	—	—	1
モナコ	21 1929	25,000	—	—	—	1,190
サンマリノ	61 1927	13,000	—	—	—	213
リヒテンシュタイン	159 1930	10,213	—	—	—	64
アンドラ	453 1924	5,231	—	—	—	12
北亞米利加洲						
(A)北米合衆國	9,680,979 1930	136,968,968	—	—	—	14
本國	7,839,353 1929	121,455,000	—	—	—	15
	×1930	122,775,046	—	—	—	16
	1931	124,070,000	—	—	—	16
屬領	1,841,626 1930	14,193,922	—	—	—	8
比律賓群島	296,294 1930	12,082,366	—	—	—	41
	1931	12,419,100	—	—	—	42
布哇	16,591 ×1930 (B)	368,336	—	—	—	22
	1931	382,000	—	—	—	23
其ノ他	1,528,741 1930	1,743,220	—	—	—	1
メキシコ	1,969,153 1927	14,860,000	—	—	—	8
	×1930	16,404,030	8,065,695	8,338,335	97	8
キューバ	114,384 ×1930	3,962,344	—	—	—	25
グアテマラ	113,081 1927	2,454,000	—	—	—	22
ハイチ	26,435 1927	2,300,000	—	—	—	87
サルヴァドル	34,126 ×1930	1,437,157	—	—	—	42
ドミニカ	50,070 1930	1,200,000	—	—	—	24
ニカラグア	127,461 1930	750,000	—	—	—	6
ホンジュラス	114,671 ×1930	859,761	—	—	—	7
コスタリカ	59,585 1930	516,031	—	—	—	9
パナマ	83,886 ×1930	467,459	—	—	—	6
南亞米利加洲						
ブラジル	1929	39,695,000	—	—	—	5
	8,524,778 1930	40,273,000	—	—	—	5
アルゼンティン	2,797,113 1932	11,658,000	—	—	—	4
コロンビア	1,283,404 ×1928	7,851,000 (I)	3,899,923 (I)	3,881,210	100	6

ペルー	1,382,832 1928	6,200,000	—	—	—	4
チリ	×1930	4,287,445	2,122,709	2,164,736	98	6
	741,767 1932	4,351,000	—	—	—	6
ボリビア	1,332,008 1929	2,911,000	—	—	—	2
	1930	2,972,587	—	—	—	2
ヴェネズエラ	1,020,400 1930	3,157,000	—	—	—	3
エクアドル	307,243 1926	1,563,000	—	—	—	5
	1929	1,785,800	—	—	—	6
ウルグアイ	186,926 1927	1,762,000	—	—	—	9
	1930	2,037,000	—	—	—	11
パラグアイ	445,000 1928	836,000	—	—	—	25
	1929	844,000	—	—	—	2
阿弗利加洲						
エジプト	989,400 1929	14,493,000	—	—	—	54
	1930	14,632,000	—	—	—	15
	1931	14,812,000	—	—	—	1
エチオピア	800,000 1920	11,500,000	—	—	—	1
リベリア	95,400 1923	2,000,000	—	—	—	21
タンザール	375 1926	80,000	—	—	—	213

調査年次×印ハ國勢調査人口、他ハ推定又ハ其ノ他ノ調査ニ依ル人口

(A) 租借地又ハ委任統治區域ヲ除ク

(B) 速報人口

(C) 公簿調査ニ依ル常住人口

(D) 北部愛蘭ノ人口ハ推計

(E) 愛蘭自由國ヲ除ク

(F) マオリ一族ヲ除ク

(G) フェローール島ヲ含ム

(H) 國際聯盟委員會統治區域

(I) 土人ヲ除ク

2. 列國ノ年齢別人口

大正十四年帝國(内地)ノ總人口五千九百七十三萬七千ノ中十四歳以下ノ者ハ二千九百九十二萬四千、十五歳乃至五十九歳ノ者ハ三千三百二十二萬三千、六十歳以上ノ者ハ四百五十八萬九千デ、十五歳乃至五十九歳ノ所謂生産年齢者ハ總人口ノ五割六分ニ當ツテ居ル。

列國ニ於ケル生産年齢者ノ割合ヲ見ルト英領印度、チリ及南阿聯邦ハ帝國ト同率デアリ、ブラシルハ帝國ニ比シ低率デアルガ、其ノ他ノ諸國ハ何レモ高率デアル。

帝 國 内 地	調査 年次	實 數 (單位千人)				百 分 比				
		總數	14歳 以下	15— 59歳	60歳 以上	不詳	14歳 以下	15— 59歳	60歳 以上	不詳
	1925	59,737	21,924	33,223	4,589	—	37	56	7	—
	1930 (A)	64,067	23,502	35,827	4,738	—	37	56	7	—

國名	年次	1925	1926	1927	1928	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942
朝鮮	1925	19,523	7,703	10,589	1,231	—	39	54	7	—									
臺灣	"	3,993	1,573	2,252	168	—	40	56	4	—									
樺太	"	204	67	132	5	—	33	65	2	—									
英領印度	1921(B)	315,350	12,3146	175,459	16,745	0	39	56	5	0									
北米合衆國	1930	122,775	36,057	76,239	10,385	94	29	62	9	0									
獨逸	1925	62,411	16,072	40,579	5,760	—	26	65	9	—									
英吉利	1921(C)	42,769	1,940	26,802	4,026	1	28	63	9	0									
佛蘭西	1926	40,228	9,024	25,578	5,540	86	22	64	14	0									
伊太利	1921	38,711	12,018	22,464	4,024	204	31	58	10	1									
ブラジル	1920	30,636	13,078	16,257	1,234	66	43	53	4	0									
アメリカ	1921(D)	25,695	9,082	14,709	1,846	58	35	57	8	0									
西班牙	1920	21,390	6,893	12,406	2,023	69	32	58	10	0									
チヨッコスロヴ アキア	1921	13,613	3,988	8,351	1,262	12	29	62	9	0									
カナダ	"	8,788	3,020	5,089	658	21	34	58	8	0									
ハンガリー	1920	7,980	2,444	4,817	716	4	31	60	9	0									
アルゼンティン	1914	7,885	3,029	4,533	317	6	38	58	4	0									
白耳義	1920(E)	7,406	1,850	4,798	752	7	25	65	10	0									
和蘭	"	6,865	2,238	4,023	604	0	32	59	9	0									
埃地利	1923	6,534	1,634	4,237	663	—	25	65	10	—									
ポルトガル	1920	6,033	1,968	3,473	565	28	33	58	9	0									
瑞典	"	5,904	1,729	3,454	722	—	29	59	12	—									
濠洲	1921	5,436	1,725	3,288	408	14	32	60	8	0									
希臘	1928	6,255	1,990	3,641	554	20	32	59	9	0									
ブルガリア	1926	5,479	1,914	3,120	445	—	35	57	8	—									
瑞西	"	3,880	1,083	2,436	361	—	28	63	9	—									
フィンランド	"	3,754	1,423	2,111	219	1	38	56	6	0									
丁抹	1921(F)	2,268	1,016	1,907	335	10	31	59	10	0									
諾威	1920	2,650	850	1,508	292	—	32	57	11	—									
南阿聯邦	1921(G)	2,231	861	1,253	115	1	39	56	5	0									
新西蘭	1926	1,344	401	835	105	3	30	62	8	0									

- (A) 抽出調査ニ據ル
- (B) 年齢不詳ノ3,592,038人ヲ除ク
- (C) 愛蘭ヲ除ク
- (D) 上シレジア及ケイルノ一洲ノ一部ヲ除ク
- (E) オイペン及マルメアイヲ除ク
- (F) ノエロール島ヲ除ク
- (G) バンツ一族ヲ除ク

3. 帝國大都市ノ人口

帝國ニ於ケル人口十萬以上ノ都市（昭和七年十月一日現在境域ニ依ル）ハ三十五アリ、其ノ第一位ヲ占ムルハ東京ノ四百九十七萬デ、大阪ノ二百四十五萬、京都ノ九十五萬、名古屋ノ九十一萬、神戸ノ七十九萬、横濱ノ六十二萬等之ニ亞デ居ル。

昭和五年ノ國勢調査ニ依リ始メテ十萬以上ノ大都市トナツタノハ静岡、平壤、佐世保、和歌山、横須賀、濱松、門司、川崎ノ八市デアル。

市名	昭和七年十月一日現在境域ニ依ル昭和五年十月一日國勢調査人口	同上境域ニ依ル大正十四年十月一日國勢調査人口	同上境域ニ依ル大正九年十月一日國勢調査人口	市名	人口	人口	人口
東京	4,970,839	4,099,830	3,350,630	金澤	157,311	147,420	136,793
大阪	2,453,573	2,114,804	1,768,295	岡山	148,667	133,707	119,219
京都	652,404	826,456	702,339	釜山	146,098	106,642	※ 73,855
名古屋	907,404	768,558	608,127	小樽	144,887	134,469	108,113
神戸	787,616	704,375	644,471	静岡	143,211	127,389	103,699
横濱	620,306	515,077	502,413	平壤	140,703	89,423	※ 71,703
京城	394,240	342,626	※250,208	豊橋	138,801	118,614	101,951
大連	292,552	202,921	159,188	鹿兒島	137,236	124,734	103,180
廣島	270,417	238,651	194,055	佐世保	133,174	110,838	99,447
臺北	23,0490	195,200	162,782	新潟	125,108	108,941	92,130
福岡	228,289	191,094	159,597	堺	120,348	109,178	91,393
長崎	204,626	189,071	176,534	和歌山	117,444	108,395	95,670
函館	197,252	163,972	144,749	横須賀	110,30	96,351	89,879
仙臺	195,862	169,357	139,844	濱松	109,478	92,152	72,258
吳	190,282	169,095	159,963	門司	108,131	99,104	89,360
熊本	169,060	151,407	133,107	岐阜	107,515	95,977	73,561
札幌	168,576	145,065	102,580	川崎	104,351	74,702	49,893
八幡	168,217	127,589	110,692				

※大正九年未現住人口。

4. 列國大都市ノ人口

世界ニ於テ三十萬以上ノ人口ヲ有スル大都市ハ百五十一、百萬以上ノモノハ二十九アル。二百萬以上ノモノハ十デ、紐育ノ六百九十三萬ガ第一位ニ在リ、東京ハ市域擴張ニ依リ四百九十七萬ヲ算シ一躍第二位ヲ占メ、倫敦ノ四百四十萬、伯林ノ四百二十九萬、シカゴノ三百三十八萬、'巴里ノ二百八十九萬、莫斯科ノ二百七十五萬、上海ノ二百六十七萬、大阪ノ二百四十五萬、プエノスアイレスノ二百十五萬順次之ニ亞グ。

順位	市名	調査年次	人口千人	順位	市名	調査年次	人口千人
1	紐育	(米) × 1930	6,930	13	ニングラード	(ソヴェト) × 1926	1,614
2	東京	(日) × { 1930 4,971 1932 5,312	4,971	14	テトロイ	(米) × 1930	1,569
3	倫敦	(英) × 1931	4,397	15	リオデジャネイロ	(ブラジル) 1932	1,469
4	伯林	(獨) 1931	4,288	16	天津	(中) 1930	1,389
5	シカゴ	(米) × 1930	3,376	17	カルカッタ	(印) × 1931	1,384
6	巴里	(佛) × 1931	2,891	18	シドニー	(濠) 1931	1,254
7	莫斯科	(ソヴェト) 1931	2,750	19	メルボルン	(濠) 1931	1,254
8	上海	(中) 1930	2,674	20	ロスアンゼルス	(米) × 1930	1,238
9	大阪	(日) × { 1930 2,454 1932 2,586	2,454	21	ワルソー	(ポーランド) × 1931	1,178
10	プエノスアイレス	(アルゼンチン) 1930	2,153	22	孟買	(印) 1931	1,158
11	フィラデルフィア	(米) × 1930	1,951	23	漢堡	(獨) 1931	1,137
12	維也納	(奥) 1931	1,831	24	カイロ	(エジプト) 1929	1,103
				25	グラスゴ	(英) × 1931	1,088
				26	羅馬	(伊) × 1931	1,088
				27	ブタペスト	(ハンガリー) × 1930	1,005

28	バーミンガム (英)	×1931	1,002	73	トリノ (伊)	×1931	597
29	サンパウロ (ブラジル)	1932	1,000	74	リスボン (ポルトガル)	×1930	594
30	ミラノ (伊)	×1931	992	75	ロツテルダム (和)	1931	587
31	メキシコ (メキシコ)	×1930	968	76	ハヴァアナ (キューバ)	1928	581
32	名古屋 (日)	×{1930 1932}	970 962	77	里昂 (佛)	×1931	580
33	クリーヴランド (米)	×1930	900	78	ミルウォーキー (米)	×1930	578
34	グアブール (英)	×1931	856	79	グイクトリア (香港)	1929	578
35	ブラーグ (チエツコ)	×1930	848	80	パツファア (米)	×1930	573
36	ナボリ (伊)	×1931	839	81	フランクフルト (獨)	1931	537
37	マドリッド (西)	1930	834		アムマイン		
38	聖露易 (米)	×1930	822	82	ドルトムンド (獨)	1931	533
39	モントリオール (カナダ)	×1931	819	83	南京 (中)	1930	523
40	廣東 (中)	1930	812	84	キエフ (ソヴイェト)	×1926	514
41	北平 (中)	1930	811	85	ストックホルム (瑞典)	1931	514
42	ボルチモア (米)	×1930	805	86	シエフィールド (英)	×1931	512
43	馬耳塞 (佛)	1931	801	87	海牙 (和)	1931	500
44	成都 (中)	1930	800	88	蘭州 (中)	1930	500
45	神戸 (日)	×{1930 1932}	788 820	89	盤谷 (暹)	×1929	493
46	バルセロナ (西)	1930	783	90	華盛頓 (米)	×1930	487
47	ボストン (米)	×1930	781	91	リズ (英)	×1931	483
48	漢口 (中)	1931	778	92	デュッセルドルフ (獨)	1931	473
49	マンチエスター (英)	×1931	766	93	ロザリオ (アルゼンチン)	1930	470
50	アムステルダム (和)	1931	766	94	ミネアポリス (米)	×1930	464
51	京都 (日)	×{1930 1932}	765 1,002	95	アテネ (希)	1929	461
52	ケルン (獨)	1931	740	96	ニューオルレアンス (米)	×1930	459
53	ミュンヘン (獨)	1931	730	97	バクー (ソヴイェト)	×1926	453
54	ライプツヒ (獨)	1931	718	98	シンシナチ (米)	×1930	451
55	サンチャゴ (チリ)	×1930	696	99	新嘉坡 (海植)	×1931	446
56	温州 (中)	1930	678	100	ハノーバー (獨)	1931	445
57	ピッツバーグ (米)	×1930	670	101	ニューアーク (米)	×1930	442
58	エツセン (獨)	1931	648	102	デュイスホルグ (獨)	1931	441
59	マドラス (印)	×1931	647		ハンボレン		
60	重慶 (中)	1930	635	103	デリー (印)	×1930	440
61	桑港 (米)	×1930	634	104	エチンバラ (英)	×1931	439
62	ブカレスト (ルーマニア)	×1930	631	105	パタゴニア (蘭印)	×1930	437
63	トロント (カナダ)	×1931	631	106	奉天 (滿)	1931	437
64	ドレスデン (獨)	1931	630	107	モンテウフィデオ (ウルグアイ)	1930	432
65	横濱 (日)	×{1930 1932}	620 662	108	ラホール (印)	×1931	429
66	コペンハーゲン (丁)	×1930	617	109	杭州 (中)	1930	427
67	ブレスラウ (獨)	1931	617	110	ダブリン (愛蘭自由)	1930	425
68	ペノーア (伊)	×1931	608	111	オデッサ (ソヴイェト)	×1926	421
69	長沙 (中)	1930	607	112	ハルコフ (ソヴイェト)	×1926	417
70	ロッツ (ポーランド)	×1931	605	113	ニュルンベルヒ (獨)	1931	416
71	アレキサンドリア (エジプト)	1929	604	114	ベルファスト (英)	×1926	415
72	武昌 (中)	1930	600	115	ウツベルタル (獨)	1931	413
				116	シエツツガルト (獨)	1931	402
				117	蘭貢 (印)	×1931	400
				118	カンサスシチー (米)	×1930	400
				119	アリストル (英)	×1931	399

120	京城 (日)	×1930	394	136	アデレイド (濠)	1931	324
121	バレルモ (伊)	×1931	390	137	タシケント (ソヴイェト)	×1926	324
122	福州 (中)	1930	388	138	ホフム (獨)	1931	320
123	哈爾濱 (滿)	1931	385	139	チャーチー (米)	×1930	317
124	ガ (ラトヴィア)	×1930	378	40	フロレンス (伊)	×1931	316
125	ハイダラバード (印)	×1931	377	141	レンベルグ (ポーランド)	×1931	316
126	マニラ (比律賓)	1929	370	142	プリズベーン (濠)	1931	313
27	スラバヤ (蘭印)	×1930	367	143	キングストン (英)	×1931	313
128	シアトル (米)	×1930	366		アボンハル		
129	インディアナポリス (米)	×1930	364	144	アレーメン (獨)	1931	309
130	ケムニッツ (獨)	1931	360	145	マクテブルグ (獨)	1931	309
131	青島 (中)	1930	350	146	レイスウイル (米)	×1930	308
132	ヨハネスブルグ (南阿)	1931	336	147	ロストフ (ソヴイェト)	×1926	308
133	ゲルゼンキルヘン (獨)	1931	335	148	バシガロア (印)	×1931	306
134	ベルナンプコ (ブラジル)	1932	330	149	ボートラント (米)	×1930	302
135	ロチェスター (米)	×1930	328	150	バヒヤ (ブラジル)	1932	300
				151	南昌 (中)	1930	300

調査年次×印ハ國勢調査人口、他ハ推計又ハ其ノ他ノ調査ニ依ル人口。
※現市域ノ人口。

5 列國ノ婚姻・離婚・出生・死亡・死産及自然増加

(1) 婚姻

婚姻ノ最モ多イノハ北米合衆國ノ百十二萬八千テ獨逸ノ五十六萬三千、帝國(内地)ノ五十萬七千之ニ亞ギ、英吉利ノ三十五萬六千、佛蘭西ノ三十四萬三千、伊太利ノ三十萬三千、ポーランドノ三十萬等ハ高イ部類ニ屬シ、最モ少イノハエストニヤノ九千デアル。

人口千ニ付テ見ルト、ポーランドノ九・七件最モ高ク、チリ及南阿聯邦ノ九・三件之ニ亞ギ、北米合衆國ノ九・二件、チエツコスロヴアキアノ九・一件、ハンガリーノ九件等ハ多イ部類ニ屬シ、ウルグアイノ六、三件ガ最モ低ク、帝國(内地)ハ瑞西ト共ニ七・九件デアル。

		人口千ニ付		(1930年) 人口千ニ付	
(A) 帝國内地	753,946	8.3	(B) 英吉利	355,999	7.8
	506,674	7.9	佛蘭西	342,698	8.3
	(1931年) 496,574	7.6	伊太利	303,214	7.4
朝鮮	199,246	9.9	ポーランド	300,421	9.7
臺灣	46,232	10.2	西班牙	※173,908	7.6
樺太	1,794	6.1	チエツコスロヴアキア	133,348	9.1
關東洲及滿鐵附屬地	6,088	4.7	(C) アルゼンチン (1929年)	79,738	7.7
南洋委任統治區域	1,086	15.6	ハンガリー	77,907	9.0
北米合衆國	1,128,280	9.2	(C)(D) カナダ	71,657	7.0
(A) 獨逸	562,648	8.8	白耳義	71,624	8.8

和	蘭	62,911	8.0	丁	抹	28,973	8.2
地	地	51,700	7.7	諾	威	18,064	6.4
ホ	ル	47,746	7.7	南	阿	16,604	9.3
瑞	ト	※43,831	7.2	ウ	イ	11,799	6.3
濠	ガ	43,255	6.7	新	西	11,075	7.8
洲	ル	41,086	9.3	エ	ス	8,896	8.0
チ	典	321,32	7.9		ト		
瑞	洲				ニ		
	西				ア		

(2) 離 婚

離婚ノ最モ多イノハ北米合衆國ノ二十萬一千デ帝國(内地)ノ五萬一千、獨逸ノ四萬一千、佛蘭西ノ二萬之ニ亞イデ多ク、南阿聯邦、ボルトガル、カナダ、諾威、エストニア、ウルクアイ及新西蘭ハ何レモ一千ニ達シナイ。

人口千ニ付テ見ルト、北米合衆國ノ一・七件最モ高ク、埃太利ノ一・〇件之ニ亞グ、帝國(内地)ハ〇・八件デ、英吉利及カナダ等ノ各〇・一件ガ最モ低イ。

		(1930年)				(1930年)				
		人口千ニ付				人口千ニ付				
帝	國	64,793	0.7	和	蘭	2,851	0.4			
内	地	51,259	0.8	瑞	西	2,723	0.7			
	(1931年)	50,609	0.8	白	耳	2,491	0.3			
朝	鮮	9,072	0.4	丁	抹	2300	0.6			
臺	灣	4,294	0.9	瑞	典	※2,218	0.4			
樺	太	168	0.6	濠	洲	(1929年)2,057	0.3			
關東洲及滿鐵附屬地		161	0.1	南	阿	聯	邦(〃)(E) 964	0.5		
南洋委任統治區域		322	4.6	ボ	ル	ト	ガ	ル 958	0.2	
北米合衆國(1929年)	20	1,468	1.7	(C)(D)カ	ナ	ダ		875	0.1	
(A)獨	逸	40,722	0.6	諾	威			873	0.3	
佛	蘭	西	20,409	0.5	エ	ス	ト	ニ	ア 697	0.6
埃	地	利	6,573	1.0	ウ	ル	ク	ア	イ 633	0.3
ハン	ガ	リ	5,495	0.6	新	西	蘭		620	0.4
(F)英	吉	利	4,032	0.1						

(3) 出 生

出生ノ最モ多イノハ英領印度(登録區域)ノ八百五十七萬デ、北米合衆國(登録區域)ノ二百十九萬、帝國(内地)ノ二百九萬之ニ亞イデ多ク、此ノ外百萬以上ニ達スルノハ獨逸、伊太利、ポーランドノ三國デ諾威、南阿聯邦、ウルクアイ、新西蘭、エストニアハ何レモ五萬ニ達シナイ。

人口千ニ付テ見ルト、チリノ三十八人最モ高ク、英領印度ノ三十六人、ポーランド及ボルトガルノ三十三人、帝國(内地)ノ三十二人等ノ順位デ、瑞典ノ十五人ガ最モ低イ。

		(1930年)				(1930年)			
		人口千ニ付				人口千ニ付			
帝	國	3,072,909	34.0	(G)英領印度(1929年)		8,565,341	35.4		
内	地	2,085,101	32.4	(G)北米合衆國		2,190,047	18.9		
	(1931年)	2,102,784	32.2	(A)獨	逸	1,127,450	17.9		
朝	鮮	772,034	38.2	伊	太	利	1,092,678	26.7	
臺	灣	205,123	45.1	ポ	ー	ラ	ン	ド 1,015,834	32.8
樺	太	10,651	37.4	(B)英	吉	利	769,239	16.8	
關東洲及滿鐵附屬地		33,596	26.1	佛	蘭	西	748,911	18.1	
南洋委任統治區域		25,6	36.2	西	班	牙	※ 660,735	28.8	

チ	エ	ツ	コ	ス	ロ	グ	ア	キ	ア	331,953	22.7	埃	地	利	112,601	16.8		
(C)アル	セン	テ	イン	(1929年)						312,621	30.1	瑞	典	※	94,200	15.4		
(C)(D)カ	ナ	ダ								243,495	23.9	瑞	典	西	69,855	17.2		
ハン	ガ	リ	ー							219,784	25.4	丁	抹	威	66,303	18.7		
ボ	ル	ト	ガ	ル						202,529	32.8	諾	威		47,844	17.0		
和	蘭									182,310	23.1	南	阿	聯	邦(E)	47,536	26.4	
チ	リ									169,629	38.3	ウ	イ	グ	ア	イ	45,718	24.4
白	耳	義								151,406	18.6	新	西	蘭		2,797	18.8	
濠	洲									128,399	19.9	エ	ス	ト	ニ	ア	19,410	17.4

(4) 死 亡

死亡ノ最モ多イノハ英領印度(登録區域)ノ六百二十七萬デ、北米合衆國(登録區域)ノ百三十二萬、帝國(内地)ノ百十七萬之ニ亞ギ、此ノ外五十萬以上ニ達スルノハ獨逸、佛蘭西、伊太利、英吉利ノ四國デアツテ、南阿聯邦、エストニア及新西蘭ハ何レモ二萬ニ達シナイ。

人口千ニ付テ見ルト英領印度ノ二十六人最モ高ク、チリノ二十四人之ニ亞ギ、ボルトガルノ十九人、帝國(内地)ノ十八人、西班牙ノ十七人、ポーランド、佛蘭西ハンガリーノ各十六人ハ高イ部類ニ屬シ、南阿聯邦、和蘭、濠洲及新西蘭ハ何レモ十人ニ達シナイ。

		(1930年)				(1930年)										
		人口千ニ付				人口千ニ付										
帝	國	1,646,887	18.2	(C)アル	セン	テ	イン	141,657	13.6							
内	地	1,170,867	18.0	(1929年)												
	(1931年)	1,240,891	19.0	ハン	ガ	リ	ー	134,341	15.5							
朝	鮮	381,403	18.9	ボ	ル	ト	ガ	ル	116,352	18.8						
臺	灣	88,827	19.5	(C)(D)カ	ナ	ダ		109,306	10.7							
樺	太	5,790	20.3	白	耳	義		107,468	13.2							
關東洲及滿鐵附屬地		19,467	15.1	チ	リ			105,036	23.7							
南洋委任統治區域		1,197	17.2	埃	地	利		90,512	13.5							
(H)英	領	印	度	(1929年)				※ 74,752	11.7							
		6,267,391	26.0	和	蘭			71,682	9.1							
(H)北	米	合	衆	國				濠	洲	55,331	8.6					
(A)獨	逸	710,850	11.1	瑞	典	西		46,939	11.6							
佛	蘭	西	649,125	15.7	丁	抹		38,174	10.8							
伊	太	利	576,751	14.1	諾	威		29,616	10.6							
(B)英	吉	利	536,860	11.7	ウ	イ	グ	ア	イ	20,049	10.7					
ポ	ー	ラ	ン	ド				南	阿	聯	邦(E)	87,415	9.7			
西	班	牙	※	394,355	17.2	エ	ス	ト	ニ	ア	16,648	14.9				
チ	エ	ツ	コ	ス	ロ	ヴ	ア	キ	ア	207,077	14.2	新	西	蘭	12,199	8.6

(5) 死 産

死産ノ最モ多イノハ帝國(内地)ノ十一萬八千デ、北米合衆國(登録區域)ノ八萬一千之ニ亞ギ、此ノ外伊太利ノ四萬、獨逸ノ三萬六千、佛蘭西ノ二萬八千、西班牙ノ二萬二千等ハ多イ部類ニ屬シ、新西蘭及エストニアハ何レモ一千ニ達シナイ。

人口千=付ヲ見ルト、帝國(内地)ノ一・八人が最高デ、チリ及ポルトガルノ一・四人、伊太利ノ一・〇人、西班牙及ウルグアイノ各〇・九人等之レニ亞イデ高ク、エストニアノ〇・三人が最低デアル。

		人口千=付		(1930年) 人口千=付	
帝 國		130,013	1.4	チエツコスロヴアキア	7,153 0.5
内 地		117,730	1.8	ハンガリー	6,369 0.7
	(1931年)	116,509	1.8	白 耳 義	6,268 0.8
朝 鮮		4,410	0.2	チ リ	5,846 1.4
臺 灣		7,272	1.6	和 蘭	4,600 0.6
樺 太		601	2.1	澳 地 利	3,228 0.5
關東洲及滿鐵附屬地		451	0.3	瑞 典	2,538 0.4
(G)北米合衆國(1929年)		80,821	0.7	瑞 西	1,695 0.4
伊 太 利		39,886	1.0	ウ ル グ ア イ	1,600 0.9
(A)獨 逸		35,931	0.6	丁 抹	1,588 0.4
佛 蘭 西		28,224	0.7	諾 威	1,274 0.5
西 班 牙	※	21,778	0.9	新 西 蘭	865 0.6
ポ ル ト ガ ル		8,631	1.4	エ ス ト ニ ア	367 0.3
(C)(D)カ ナ ダ	※	7,707	0.8		

(6) 自然増加

出生死亡ノ差増所謂人口ノ自然増加ハ英領印度(登録區域)ノ二百二十九萬八千最モ多ク、帝國(内地)ノ九十一萬四千、北米合衆國(登録區域)ノ八十七萬四千之ニ亞ギ、此ノ外三十萬以上ニ達スルモノハ、ポーランド、伊太利、獨逸ノ三國デ最モ少ナイノハ、エストニアモ三千デアル。

人口千=付テ見ルト、ポーランド、南阿聯邦、アルゼンティンノ各十七人最モ高ク。帝國(内地)ノ十四人ハチリニ亞イデ第五位ヲ占メ、佛蘭西ハ二・四人デ最モ低イ。

		人口千=付		(1930年) 人口千=付	
帝 國		1,426,022	15.8	西 班 牙	※266,380 11.6
内 地		914,234	14.2	(B)英 吉 利	232,379 5.1
	(1931年)	861,893	13.2	(C)アルゼンティン	(1929年) 170,964 16.5
朝 鮮		390,631	19.4	(C)(D)カ ナ ダ	134,189 13.2
臺 灣		116,296	25.6	チエツコスロヴアオア	124,876 8.5
樺 太		4,861	17.1	和 蘭	110,628 14.0
關東洲及滿鐵附屬地		14,129	11.0	佛 蘭 西	99,786 2.4
南洋委任統治區域		1,319	19.0	ポ ル ト ガ ル	86,177 13.9
(G)(H)英領印度(1929年)		2,297,950	9.5	ハンガリー	85,443 9.9
(G)(H)北米合衆國		873,600	7.6	濠 洲	73,068 11.3
ポ ー ラ ン ド		525,464	17.0	チ リ	64,593 14.6
伊 太 利		515,927	12.6	白 耳 義	43,938 5.4
(A)獨 逸		416,600	6.5		

南 阿 聯 邦	(E)	30,121	16.7	澳 地 利	22,089	3.3
丁 抹		28,129	7.9	諾 威	18,228	6.5
ウ ル グ ア イ		25,669	13.7	新 西 蘭	14,598	10.2
瑞 典		22,916	5.6	エ ス ト ニ ア	2,762	2.5
瑞 典		22,448	3.7			

(A)ザール地方ヲ除ク (B)愛蘭自由國ヲ除ク (C)テリトリーヲ除ク (D)ケベックヲ含ム
(E)歐羅巴人ノミ (F)ダイブリティンノミ (G)出生登録區域 (H)死亡登録區域 ※假數

6. 列國ノ歳入

昭和七年度ニ於ケル我國歳入豫算ハ十九億四千四百萬圓デ、之ヲ前年ニ比ベルト約四億一千萬圓ノ増加デアル。而シテ右歳入豫算ノ内、租稅收入ハ七億八百萬圓デ歳入豫算ノ三割六分ヲ占メ、官業及官有財産收入ハ五億一千九百萬圓(二割七分)其ノ他ノ收入ハ七億一千七百萬圓(三割七分)デアル。

最近ニ於ケル各國ノ歳入豫算ヲ見ルト英吉利ハ八億四千九百萬磅、北米合衆國ハ四十三億一千七百萬弗、佛蘭西ハ四百一十一億一百万法、獨逸ハ八十二億一千九百萬ライヒス麻、伊太利ハ百九十八億八千八百萬弗利デアル。之ヲ各前年度ノ豫算ニ比ベテ見ルト、佛蘭西、獨逸、伊太利ヲ除キ其ノ他ノ諸國ハ何レモ増加ヲ示シテ居ル、而シテ歳入ノ主要財源デアル租稅收入ノ割合ハ獨逸ノ九割一分最モ高ク、英吉利ノ八割六分、佛蘭西ノ八割四分、北米合衆國ノ八割三分、伊太利ノ六割六分之ニ亞ギ、帝國ハ三割六分デ最モ低イ。

	年 度	總 額	租 稅	官業及官有 財産收入	其 他	總歳入百=付		
						租 稅	官業及官有 財産收入	其 他
帝 國	1932年度	千円 1,943,812	708,007	518,802	717,002	36	27	37
	1931年度	1,531,082	735,504	541,786	253,791	48	35	17
佛 蘭 西	1932年度	千佛 41,100,883	34,604,407	1,912,254	4,584,222	84	5	11
	1931年度	50,643,485	43,163,170	1,131,547	6,348,768	85	2	13
獨 逸	1932年度	千ライヒス麻 8,219,245	7,464,340	248,275	506,630	91	3	6
	1391年度	10,713,495	9,858,600	355,495	499,400	92	3	5
英 吉 利	1932年度	千磅 848,898	732,000	34,800	82,998	86	4	10
	1931年度	803,500	697,500	47,000	59,000	87	6	7
伊 太 利	1931年度	千利 19,888,437	13,196,473	3,504,746	3,187,218	66	18	16
	1930年度	21,093,172	13,867,385	3,864,910	3,360,877	66	18	16
北 米 合 衆 國	1931年度	千弗 4,316,754	3,574,751	69,029	672,974	83	2	15
	193年度	4,225,728	3,702,000	65,576	458,152	87	2	

7. 列國ノ歳出

昭和七年度ニ於ケル我國歳出豫算ハ十九億四千四百萬圓デ、之ヲ前年度ニ比ベルト約四億七千萬圓ノ増加デアル。而シテ右歳出豫算ノ内行政費ハ十億二千五百萬圓

デ、歳入豫算ノ過半ヲ占メ、國防費ハ約六億六千萬圓、國債費ハ二億六千萬圓デア
ル。

最近ニ於ケル各國ノ歳出豫算ヲ前年ニ比ベルト、佛蘭西、獨逸及伊太利ヲ除キ其
ノ他ノ諸國ハ何レモ増加ヲ示シテ居ル。而シテ歳出ノ内譯割合ヲ見ルニ行政費ハ獨
逸ノ八割最モ高ク、北米合衆國ノ五割六分、英吉利ノ五割四分、帝國ノ五割三分、
伊太利ノ五割二分ニ亞ギ、佛蘭西ノ三割七分ハ最モ低イ。國防費ハ帝國三割四分
伊太利二割六分、佛蘭西二割三分、北米合衆國一割九分、英吉利一割二分ノ順デ、
獨逸ハ最モ低ク八分ニ過ギナイ。國債費ハ佛蘭西四割、英吉利三割四分、北米合衆
國二割五分、伊太利二割二分、帝國一割三分、獨逸一割二分ノ順デア

	年次	總額	行政費	國防費	國債費	總歳出百ニ付		
						行政費	國防費	國債費
帝國	1932年度	1,943,812	1,024,694	659,228	259,890	53	34	13
	1931年度	41,097,501	808,414	454,617	213,844	55	31	14
佛蘭西	1932年度	41,097,501	15,276,725	9,456,465	16,364,311	37	23	40
	1931年度	50,640,509	18,790,154	11,400,289	20,450,666	37	23	40
獨逸	1932年度	8,219,245	6,601,326	674,470	943,449	80	8	12
	1931年度	10,713,495	9,205,562	599,706	908,227	86	6	8
英吉利	1932年度	848,102	457,438	104,364	286,300	54	12	34
	1931年度	803,500	338,865	109,635	355,000	42	14	44
伊太利	1931年度	20,464,197	10,695,305	5,256,029	4,512,863	52	26	22
	1930年度	21,087,867	11,926,609	5,071,282	4,089,976	57	24	19
北米合衆國	1931年度	4,286,153	2,408,337	828,306	1,049,510	56	19	25
	1930年度	4,102,939	2,012,554	836,061	1,254,324	49	20	31

8 列國ノ國債

一九三二年度ニ於ケル帝國ノ國債ハ内外債ヲ合セテ六十一億八千八百萬圓ニ上リ
十年前ニ比ベルト約一倍半ニ増加シテ居ル。之ヲ列國ニ付テ見ルト佛蘭西ハ二千七
百一十一億法、(一九三一年)英吉利ハ七十六億磅、伊太利ハ九百七十三億利、北米合
衆國ハ外債ナク内債百九十五億弗デ十年前ニ比ベルト佛蘭西ハ八割、伊太利ハ七割
七分、北米合衆國ハ一割五分、英吉利ハ約一割ノ減少ヲ示シテ居ル。

一人當リ國債負擔額ハ帝國九十三圓、佛蘭西六千四百八十法(一九三一年)獨逸
百五十七ライヒス麻、英吉利百六十六磅、伊太利二千三百三十八利、北米合衆國百
五十七弗デア

	年次	總額	内國債	外國債	人口一人當 リ負擔額
帝國	1932年 3月末	6,187,657	4,715,078	1,472,579	93
	1922年 3月末	4,097,315	2,738,300	1,359,015	72

佛蘭西	1931年12月末	271,089	266,431	4,658	6,480
	1921年12月末	※ 1,344,208	1,168,609	175,599	34,647
獨逸	1932年 3月末	11,434,000	8,218,800	3,215,200	175
	1922年 3月末	337,962,818	337,962,818	—	5,448
英吉利	1932年 3月末	7,647,950	6,557,113	1,090,837	166
	1922年 3月末	7,742,526	6,653,856	1,088,670	163
伊太利	1932年 6月末	97,268	95,572	1,696	2,338
	1922年 6月末	※ 418,877	339,635	79,242	11,203
北米合衆國	1932年 6月末	19,487,009	19,487,009	—	157
	1922年 6月末	22,964,079	22,964,079	—	210

※新貨幣單位ニヨリ換算ス。

9. 列國ノ國富

國富額ハ正確ニ知ルコトガ出来ナイノミナラズ、國ニ依リ推計方法モ異ナルカラ
直ニ比較ガ出来ナイガ、試ミニ各國ニ付テ之ヲ見ルト、北米合衆國ハ七千六百二十
三億五千六百萬圓デ、一人當リ六千六百七圓、英吉利ハ二千三百六十三億三千萬圓
デ一人當リ五千二百四十七圓、ソヴェト聯邦ハ一千四十一億二百萬圓、一人當リ
七百五十六圓、佛蘭西ハ一千三十五億二千萬圓デ、一人當リ二千五百四十九圓、獨
逸ハ七百十六億八千五百萬圓デ、一人當リ一千四百四十一圓ニ當ツテ居ル。

帝國(内地)ハ一千二十三億四千二百萬圓デ、一人當リ一千七百三十一圓ニ當ツ
テ居ル。

調査年次	總額	人口一人 當リ		調査年次	總額	人口一人 當リ	
							調査年次
帝國(内地)	1924	102,342	1,731	アラビヤ	1922	26,118	853
北米合衆國	1925	762,356	6,607	白耳義	1925	23,071	2,953
英吉利	1925	236,330	5,247	瑞西	1923	18,748	4,805
ソヴェト聯邦	1924	104,102	756	和蘭	1922	18,570	2,620
佛蘭西	1925	103,520	2,549	濠洲	1923	18,056	3,140
獨逸	1924	71,685	1,141	キユバ	1922	16,048	5,553
英領印度	1923	70,217	138	メキシコ	1922	15,847	1,113
カナダ	1928	58,059	5,723	ヘル	1922	8,024	1,446
伊太利	1925	44,738	1,117	フィンランド	1922	7,222	2,102
中國	1922	38,289	101	チリ	1922	6,146	1,637
ポーランド	1922	34,102	1,254	新西蘭	1923	4,012	2,987
アルゼンティン	1922	26,435	3,039	ラトヴィア	1928	2,099	1,257

各國貨幣ノ邦貨換算ハ純分比價ニ依ル。

10. 列國ノ耕地面積

列國中耕地面積ノ廣大ナノハ英領印度、北米合衆國及ソヴェト聯邦デ共ニ一億
ヘクタールヲ超ヘ、アルゼンティン、カナダ、佛蘭西及獨逸ノ各二千萬ヘクタール
台ニ亞ギ、帝國(内地)ハ六百萬ヘクタールデア

總面積對スル耕地面積ノ割合ヲ見ルト、丁抹ハ六割一分、ハンガリーハ六割、蘭領印度ハ五割八分、英領印度ハ四割九分、ポーランドハ四割八分、リスアニアハ四割七分、伊太利ハ四割五分、獨逸ルーマニヤハ四割四分、チエツコスロヴァキアハ四割二分、佛蘭西ハ四割一分、白耳義ハ四割等デ、帝國（内地）ハ一割五分ニ當ツテ居ル。

		耕地面積 (千ヘクタール)	總面積 百ニ付			耕地面積 (千ヘクタール)	總面積 百ニ付
帝	國	11,059	16	ハンガリー		5,584	60
内	地	5,867	15	メキシコ	(C)	5,130	3
朝	鮮	4,352	20	南阿聯邦	(E)	3,783	3
臺	灣	812	23	瑞典		3,720	9
樺	太	28	1	ブルガリア	(C)	3,626	35
關	東	204	54	佛領モロツコ	(B)	3,505	15
南洋委任統治區域		13	6	エジプト		3,461	3
英領印度(A)(B)		157,765	49	チユニス		2,934	23
北米合衆國		144,053	18	丁抹		2,638	61
ソヴイェト聯邦		125,854	6	リスアニア		2,624	47
アルゼンティン(B)		25,930	9	フィンランド	(C)	2,245	7
カナダ		25,253	3	チリ	(F)	2,039	3
佛蘭西(C)		22,185	41	希臘	(C)	2,008	15
獨逸		20,535	44	埃地		1,924	23
ポーランド		18,449	48	ライグイア	(C)	1,876	29
西班牙		16,102	32	愛蘭自由國		1,516	22
伊太利		13,825	45	ベルギー	(C)	1,470	1
滿洲國(D)		13,507	11	ウルグアイ	(A)	1,398	7
ルーマニア		12,857	44	シリア及リバノン		1,298	8
濠洲(B)		12,296	2	白耳義		1,231	40
蘭領東印度		7,631	58	エストニア	(C)	1,032	23
ユーゴスラヴィア		7,076	28	和蘭		912	28
アルゼリア(B)		6,222	3	新西蘭	(B)	794	3
チエツコスロヴァキア		5,840	42	諸威		782	3
英吉利		5,611	23	瑞西		499	12

(A) 1928—29年

(B) 1929—30年

(C) 1929年

(D) 最近ニ於ケル概數

(E) 1925—26年

(F) 1926—27年

11. 列國ノ主要生産品

(1) 金

南阿聯邦ノ三十三萬三千疋ガ最多數デ、世界總産額ノ過半ヲ占メテ居ル。之ニ亞グノハ北米合衆國七萬一千疋、カナダノ六萬五千疋、ソヴイェト聯邦ノ三萬四千疋、

メキシコノ二萬一千疋等デア。帝國（内地）ハ一萬二千疋ヲ第八位ヲ占メ、世界總産額ノ約五十分ノ一ニ當ツテ居ル。

		(1930年) (單位疋)			(1930年) (單位疋)
總	額	633,434	新	西	蘭
帝	國	18,742	蘭	領	東
内	地	12,068	ア	ラ	シ
朝	鮮	6,186	ル	一	
臺	灣	488	ル	マ	ニ
南	阿	333,321	ア	ド	ル
北	米	71,091	佛	蘭	西
カ	ナ	65,383	ヴ	エ	ネ
ソ	ヴ	34,214	中	央	亞
メ	キ	20,898	米	利	加
ロ	ー	17,267	及	西	印
濠	洲	14,472	度	諸	島
英	領	10,240	中	國	
英	領	7,760	コ	ロ	ン
白	領	6,540	ビ	ア	
			佛	領	ギ
			チ	リ	
			其	他	

※ 1929年

(2) 銀

メキシコハ三百二十七萬疋、北米合衆國ハ百五十六萬疋ヲ産シ兩者ハ世界ニ於ケル二大銀産國デ、總産額ノ過半ヲ占メテ居ル。之ニ亞イデ多イノハカナダノ八十二萬疋、ペリーノ四十八萬疋、濠洲ノ三十萬疋等デア。帝國（内地）ハ十八萬疋ヲ産シ第八位ヲ占メ、世界總産額ノ四十分ノ一ニ當ツテ居ル。

		(1930年) (單位疋)			(1930年) (單位疋)
總	額	7,709,103	中	央	亞
帝	國	177,637	米	利	加
内	地	175,064	及	西	印
朝	鮮	2,101	度	諸	島
臺	灣	472	西	班	牙
メ	キ	3,272,265	及	ホ	ル
北	米	1,562,478	ト	ガ	ル
カ	ナ	822,509	蘭	領	東
ペ	ル	478,661	南	阿	聯
濠	洲	295,564	邦		
ホ	リ	220,562	チ	エ	ツ
英	領	219,969	コ	ス	ロ
獨	逸	170,619	ヴ	ア	キ
			ア	キ	ア
			チ	リ	
			伊	太	利
			ホ	ー	ラ
			ン	ド	
			新	西	蘭
			佛	蘭	西
			其	他	

(3) 銅

産額ノ最モ多イノハ北米合衆國ノ六十四萬噸デ世界總産額ノ半數ヲ占メ、之ニ亞グノハチリーノ二十二萬噸、白領コンゴノ十四萬噸デ、帝國（内地）ノ七萬九千噸ハ第五位ヲ占メ、總産額ノ二十萬ノ一ニ當ツテ居ル。

(1930年) (單位佛噸)		(1930年) (單位佛噸)	
總額	1,587,000	ユーゴスラヴィア	24,000
帝國	85,268	西班牙	23,000
內地	79,033	英吉利	20,000
朝鮮	6,235	キユーバ	16,296
北米合衆國	644,738	濠洲	15,564
チリ	222,521	ルーマニア	※ 12,503
白領コンゴ	139,000	南阿聯邦	9,755
カナダ	137,743	ボリヰイア	※ 6,985
メキシコ	68,371	塊地利	4,076
ソグイェト聯邦	48,665	佛蘭西	1,000
ペル	47,606	瑞典	981
獨逸	27,000	其	31,929

※ 1929年

(4) 銑 鐵

北米合衆國ハ三千二百萬噸ヲ産シ其ノ産額最モ多ク、世界總産額ノ半數ヲ占メ、佛蘭西及獨逸ノ一千萬噸等之ニ亞テ居ル。帝國(内地)ハ僅ニ八萬噸デ極メテ少イガ、朝鮮ニ約十五萬噸ノ産額ガアル。

(1930年) (單位千佛噸)		(1930年) (單位千佛噸)	
總額	81,000	チエツコスロヴアキア	1,437
帝國	226	英領印度	1,190
内地	75	カナダ	827
朝鮮	151	西班牙	601
北米合衆國	32,262	伊太利	588
佛蘭西	10,035	瑞典	496
獨逸	9,695	ポーランド	478
英吉利	6,292	中國	※ 305
ソグイェト聯邦	5,091	塊地利	297
白耳義	3,365	濠洲	255
ルクセンブルグ	2,473	其	5,087

※ 1929年

(5) 石 炭

北米合衆國最モ多ク四億八千萬噸ヲ産シ、世界總産額ノ半數ヲ占メ、之ニ亞テ獨逸ノ二億九千萬噸、英吉利ノ二億五千萬噸、佛蘭西ノ五千五百萬噸等主ナモノデア。帝國(内地)ハ三千一百萬噸デ列國中第八位ヲ占メ、世界總産額ノ四十分ノ一ニ當ツテ居ル。(尙滿洲國ノ出炭量ハ年額約一千萬噸ト稱セラル。)

(1930年) (單位千佛噸)		(1930年) (單位千佛噸)	
總額	1,392,532	關東洲	9,014
帝國	34,504	北米合衆國	481,547
内地	31,376	獨逸	288,611
朝鮮	884	英吉利	247,795
臺灣	1,599	佛蘭西	55,027
樺太	645	ソグイェト聯邦	46,456

ポーランド	37,500	ルーマニア	2,370
チエツコスロヴアキア	33,629	佛領印度支那	1,966
白耳義	27,405	蘭領東印度	1,694
英領印度	24,185	トルコ	1,603
中國	16,000	チリ	1,350
カナダ	13,490	メキシコ	1,072
和蘭	12,355	ローデシア	993
南阿聯邦	12,222	伊太利	803
濠洲	9,650	馬來諸邦	575
西班牙	7,603	瑞典	398
ハンガリー	6,988	ポルトガル	246
ユーゴスラヴィア	5,270	ペル	202
塊地利	3,279	スピッツベルゲン	196
新西蘭	2,583	其	4,000

(6) 石 油

北米合衆國ハ世界總産額ノ約七割ヲ占メ、一億二千萬噸ヲ産出シテ居ル。之ニ亞グノハヴェネズエラノ二千萬噸、ソグイェト聯邦ノ一千七百萬噸、ペルシヤ、メキシコルーマニヤノ六百萬噸デア。帝國(内地)ハ二十九萬噸デ其ノ産出頗ル少ク僅ニ世界總産額ノ約七百分ノ一ニ過ギナイ。

(1930年) (單位千佛噸)		(1930年) (單位千佛噸)	
總額	196,767	ペル	1,778
帝國	301	トリニダッド	1,311
内地	293	アルゼンティン	1,273
臺灣	8	英領印度	1,220
北米合衆國	123,060	サラワク	703
ヴェネズエラ	20,154	ポーランド	663
ソグイェト聯邦	16,974	エジプト	285
ベルミア	6,036	カナダ	192
メキシコ	5,944	獨逸	174
ルーマニア	5,792	佛蘭西	82
蘭領東印度	5,332	チエツコスロヴアキア	23
コロンビア	2,912	其	2,558

(7) 鹽

北米合衆國ノ七百三十萬噸ヲ筆頭ニ、ソグイェト聯邦ノ三百四十萬噸、獨逸ノ三百萬噸、中國ノ二百六十萬噸、英吉利ノ二百十萬噸、英領印度ノ百七十萬噸、佛蘭西ノ百六十萬噸等其ノ主ナモノデア。帝國(内地)ハ六十三萬噸ヲ産シ世界總産額ノ約四十六分ノ一ニ當ツテ居ル。

(1930年) (單位千佛噸)		(1930年) (單位佛噸)	
總額	29,000	臺灣	161
帝國	935	關東洲	250
内地	629	北米合衆國	7,307
朝鮮	145	ソグイェト聯邦	3,432

獨逸	2,957	ルマニア	307
中 國	2,604	カナダ	244
英 領 印 度	2,101	暹羅	111
英 領 西 牙 利	1,739	チエツコスロヴァキア	※ 178
佛 蘭 西	1,589	埃 太 利	158
西 班 牙	1,037	エ ン ヂ ー ン	155
伊 太 利	850	チ ー ン	145
ホ ー ラ ン ド	533	其 他	2,298

※ 1929年

(8) 米

英領印度ノ六千三百萬軒最モ多ク、之ニ亞グノハ帝國(内地)ノ一千二百萬軒デ世界總産額ノ約二割ニ當ツテ居ル。此ノ外佛領印度支那ノ七百四十萬軒、蘭領東印度ノ六百八十萬軒暹羅ノ六百二十萬軒等主ナモノデア。 (尙滿洲國ハ年收穫高陸稻約三十二萬軒、水稻約二十九萬軒ト稱セラル。)

(1930年)(單位軒)		(1930年)(單位軒)	
總 額	109,259,000	ア ラ シ ム	※ 1,210,824
帝 國	16,853,311	北 米 合 衆 國	1,067,731
内 地	12,063,724	マ ダ カ ス カ ル	832,148
朝 鮮	3,460,015	伊 太 利	822,988
臺 灣	1,329,572	エ ン ヂ ー ン	570,269
關 東 洲	3,350	西 班 牙	395,750
英 領 印 度	62,580,128	中 國	395,199
佛 領 印 度 支 那	7,432,190	錫 倫 島	※ 390,462
蘭 領 東 印 度	6,811,269	シ エ ラ レ オ ン	346,855
暹 羅	6,158,462	英 領 馬 來 諸 邦	※ 334,159
比 律 賓 群 島	2,582,221	其 他	471,684

※ 1929年

(9) 小 麥

ソヴェト聯邦ノ約四千萬軒最モ多ク、之ニ亞イデ北米合衆國ノ三千二百萬軒、カナダノ一千五百萬軒、英領印度ノ一千四百萬軒、アルゼンティンノ八百七十萬軒佛蘭西ノ八百六十萬軒等主ナモノデア。帝國(内地)ハ百十萬軒デ世界總産額ノ約百七十分ノ一ニ當ツテ居ル。(尙滿洲國ハ年收穫高約百八十萬軒ト稱セラル)

(1930年)(單位軒)		(1930年)(單位軒)	
總 額	183,957,814	カ ナ ダ	14,742,408
帝 國	1,416,987	英 領 印 度	14,481,706
内 地	1,104,851	ア ル ゼ ン テ イ ン	8,742,991
朝 鮮	311,213	佛 蘭 西	8,563,635
臺 灣	469	濠 洲	7,902,162
樺 太	455	伊 太 利	7,783,733
關 東 洲	1,323	西 班 牙	6,435,655
ソヴェト聯邦	40,162,687	獨 逸	6,158,389
北 米 合 衆 國	31,992,794	ル マ ニ ア	4,845,441

-79-

ト ル コ	3,298,939	ポ ル ト ガ ル	511,971
ハ ン ガ リ	3,124,987	白 耳 義	490,427
ボ ー ラ ン ド	3,050,249	チ ー ン	385,290
ユーゴスラヴィア	2,976,327	埃 地 利	448,917
ブルガリア	2,123,774	希 臘	446,409
チエツコスロヴァキア	1,875,106	メ キ シ コ	424,114
中 國	1,847,021	リ ス ア ニ ア	419,693
英 領 印 度	1,565,298	丁 南 阿 聯 邦	378,522
エ ン ヂ ー ン	1,472,980	ウ ル グ ア イ	377,193
ア ル ゼ ン テ イ ン	1,201,967	新 西 蘭	267,448
瑞 典	795,489	ア ラ ジ ル	※ 240,845
佛 領 モ ロ ッ コ	789,314	和 其	※ 232,183
チ ー ン	785,147		224,385
シ ヱ ア 及 リ バ ノ ン	718,000		255,908

※ 1929年

(10) 砂 糖

(イ) 甘 蔗 糖

甘蔗糖ハ熱帯地方ヲ主産地トシ英領印度ノ三百二十萬噸、キューバノ三百二十萬噸、蘭領東印度ノ二百九十萬噸等其ノ主ナモノデア。帝國(内地)ハ十萬噸デ世界總産額ノ約百六十分ノ一ニ當ル。尙台灣ハ内地ノ約五倍、即チ五十萬噸ヲ産シテ居ル

(1930年)(單位佛噸)		(1930年)(單位佛噸)	
總 額	17,260,000	ポ ー ト リ コ	711,119
帝 國	613,573	濠 洲	541,022
内 地	104,481	ハ ル ー	430,000
朝 鮮	9,166	ア ル ゼ ン テ イ ン	381,796
臺 灣	499,926	ド ミ ニ カ	370,000
英 領 印 度	3,228,997	南 阿 聯 邦	356,524
キ ュ バ	3,172,100	メ キ シ コ	238,000
蘭 領 東 印 度	2,900,000	モ ー リ タ ー ニ ア	220,906
ブ ラ ジ ル	911,400	英 領 ギ ン ー ヤ	120,000
比 律 賓 群 島	891,654	北 米 合 衆 國	20,000
布 哇	889,000	其 他	1,263,855

(ロ) 甜 糖

甜菜糖ハ甘蔗ノ生育シナイ温帯地方ニ産シ、歐洲ヲ主産地トシテ居ル。獨逸ノ二百五十四萬噸、ソヴェト聯邦ノ百七十萬噸、佛蘭西ノ百二十萬噸、北米合衆國ノ百十八萬噸等其ノ主モノデアツテ、チエツコスロヴァキア、ポーランド等之ニ亞デ居ル。

(1930年)(單位佛噸)		(1930年)(單位佛噸)	
總 額	11,450,000	北 米 合 衆 國	1,178,400
獨 逸	2,540,000	チエツコスロヴァキア	1,137,000
ソヴェト聯邦	1,736,700	ポ ー ラ ン ド	775,612
佛 蘭 西	1,204,587	英 吉 利	429,277
		伊 太 利	425,561

-80-

和蘭	288,450	瑞典	170,000
西班牙	283,643	ルーマニア	164,210
白耳義	278,412	埃地他	151,000
ハンガリー	233,795	其	293,953
丁抹	159,400		

(11) 棉花

北米合衆國ノ三百二萬噸最モ多ク、世界總産額ノ過半ヲ占メ、之ニ亞ダノハ英領印度ノ八十七萬噸、中國ノ四十萬噸、エジプトノ三十六萬噸等デアル。帝國（内地）ハ僅ニ六百噸デ極メテ少イガ、朝鮮ニハ約十萬噸ノ産額ガアル。

(1930年) (單位佛噸)		(1930年) (單位佛噸)	
總額	5,477,062	英領スーダン	23,085
帝國	101,850	亞細亞トルコ	16,038
内地	(A) 588	ヘルシア	※ 14,665
朝鮮	101,262	ヴェネズエラ	(B) 7,888
關東洲	483	白領コンゴ	※ 6,685
北米合衆國	3,020,694	ハイタイ	※ 5,125
英領印度	874,530	ダンガンイカ	4,198
中國	400,000	パラグアイ	4,000
エジプト	363,099	ニゲリア	3,266
ソヴェト聯邦	346,500	シリア及リバノン	2,688
ブラジル	98,653	希臘	2,254
ペルー	※ 65,591	コロンビア	(B) 2,060
メキシコ	38,487	南阿聯邦	1,585
ウガンダ	33,747	アッパーホルタ	963
アルゼンティン	※ 31,200	其他	7,728

(A) 實棉 (B) 1928年 ※ 1929年

(12) 繭

帝國（内地）ハ世界有數ノ産繭國デ、昭和五年（一九三〇年）ニハ四十萬噸ヲ産シ、中國ヲ除ク世界總産額ノ八割ニ當ツテ居ル。之ニ亞ダ伊太利ノ五萬噸、ソヴェト聯邦ノ二萬噸、印度支那ノ五千噸、シリア及リバノンノ四千噸等主ナモノデアル。其ノ他中國モ産スルガ其ノ産額ハ正確ニ知リ難イ。

(1930年) (單位佛噸)		(1930年) (單位佛噸)	
總額	511,955	シリア及リバノン	3,650
帝國	420,147	アルガリア	2,266
内地	399,238	希臘	1,884
朝鮮	20,821	佛蘭西	1,827
臺灣	88	トルコ	1,601
伊太利	52,734	ユーゴスロヴィア	1,272
ソヴェト聯邦	20,000	西班牙	710
印度支那	5,092	其他	772

(13) 羊毛

濠洲ノ四十三萬噸最モ多ク、世界總産額ノ二割六分ヲ占メ、之ニ亞イデ北米合衆

國ノ十八萬噸、ソヴェト聯邦ノ十七萬噸、南阿聯邦、アルゼンティンノ十五萬噸、新西蘭ノ十一萬噸等主ナモノデアル。帝國ハ極メテ少ク數フルニ足リナイ。

(1930年) (單位佛噸)		(1930年) (單位佛噸)	
總額	1,700,309	アルゼンティン	21,773
濠洲	425,294	佛蘭西	21,000
北米合衆國	180,491	ペルシア	20,412
ソヴェト聯邦	174,297	獨逸	15,876
南阿聯邦	152,863	伊太利	14,969
アルゼンティン	151,201	チリ	13,608
新西蘭	109,670	ユーゴスラヴィア	13,608
英吉利	69,239	ブラジル	10,977
ウルグアイ	63,504	佛領モロッコ	10,500
西班牙	34,020	ブルガリア	9,996
英領印度	31,752	カナダ	9,619
中國	25,175	其他	96,424
ルーマニア	24,041		

12. 列國ノ家禽及家畜

牛 最近ニ於テ帝國（内地）ハ牛百五十萬、馬百四十九萬、豚七十四萬、綿羊、二萬家禽四千七百二十萬ヲ有スル。之ヲ各國ニ付テ見ルト次ノ如クデアル。

牛 英領印度ノ一億二千二百九十九萬頭ヲ筆頭トシ、北米合衆國ノ五千九百萬、ソヴェト聯邦ノ五千三百萬、ブラジルノ三千四百萬、アルゼンティンノ三千二百萬、獨逸ノ一千九百萬、佛蘭西ノ一千五百萬等之ニ亞イデ居ル。

馬 ソヴェト聯邦ノ三千百十六萬頭ヲ筆頭トシ、北米合衆國ノ一千二百八十萬、アルゼンティンノ九百八十六萬、ブラジルノ五百二十五萬、ポーランドノ四百十二萬獨逸ノ三百四十五萬等之ニ亞イデ居ル。

豚 北米合衆國ノ五千二百三十二萬頭ヲ筆頭トシ、獨逸ノ二千三百八十一萬、ブラジルノ一千六百十七萬、ソヴェト聯邦ノ一千二百十八萬、佛蘭西ノ六百三十三萬、ポーランドノ七百三十二萬、丁抹ノ五百九十七萬、西班牙ノ四百七十七萬等之ニ亞イデ居ル。

綿羊 濠洲ノ一億四百五十六萬頭ヲ筆頭トシ、ソヴェト聯邦ノ八千九百八十六萬、北米合衆國ノ五千九百九十一萬、南阿聯邦ノ四千八百三十六萬、アルゼンティンノ四千四百四十一萬、新西蘭ノ二千九百七十九萬等之ニ亞イデ居ル。

家禽 北米合衆國ノ四億九百萬羽ヲ筆頭トシ、獨逸ノ九千三百萬、カナダノ六千五百萬等アルモ、不詳國ガ極メテ多イ。

(1) 牛

(1930年) (單位千頭)		(1930年) (單位千頭)	
帝國	3,505	朝鮮	1,61
内地	1,498	臺灣	391

律	太	4
關	東	26
南洋委任統治區域		3
英領印度		122,985
北米合衆國	(A)	58,955
ソヴィエト聯邦		52,582
ブラジル	(B)	34,271
アルゼンティン		32,212
獨逸	(A)	19,124
佛蘭西		15,467
濠洲	(C)	11,202
南阿聯邦		10,574
ポランド	(A)	9,786
カナダ	(A)	7,991
英吉利	(A)	7,953
コロンビア	(C)	7,343
ウルグアイ		7,128
伊太利		6,893
メキシコ	(C)	5,585
キューバ	(C)	4,865
暹羅		4,584
チェコスロヴァキア		4,539
新西蘭	(A)	4,081

※ 最近ニ於ケル概數

(2) 馬

		(1930年) (單位千頭)
帝	國	1,567
内地		1,490
朝鮮		56
樺太		13
關東洲		8
ソヴィエト聯邦		31,158
北米合衆國	(A)	12,803
アルゼンティン		9,858
ブラジル	(G)	5,254

(1) 軍服用モノヲ除ク

(3) 豚

		(1930年) (單位千頭)
帝	國	4,019
内地		742
朝鮮		1,387
臺灣		1,750
樺太		5
關東洲		125
南洋委任統治區域	(A)	9

愛蘭自由國	(A)	4,029
ユーゴスラヴィア	(A)	3,872
ルーマニア		3,834
西班牙	(C)	3,660
瑞典		3,060
丁抹		3,057
バラグアイ	(B)	2,973
チリ		2,388
和蘭		2,366
塊地		2,313
グエネズエラ	(C)	2,278
佛領モロッコ		2,092
フィンランド	(C)	1,903
ブルガリア	(B)	1,817
ハンガリー	(C)	1,807
ペルー	(A)	1,806
白耳義	(A)	1,768
瑞西	(A)	1,609
滿洲國	※	1,605
諾威	(A)	1,310
リニア	(A)	1,120
錫倫島	(B)	1,100

		(1930年) (單位千頭)
ポランド	(A)	4,194
獨逸	(I)	3,451
カナダ	(A)	3,129
佛蘭西		2,924
滿洲國	(2)	2,438
濠洲	(C)	1,846
ルーマニア		1,809
英領印度		1,701
ユーゴスラヴィア	(3)	1,178
英吉利	(A)	1,169

丁抹	(A)	5,969
西班牙	(C)	4,773
カナダ		4,717
アルゼンティン		3,769
英吉利		3,168
伊太利	(A)	3,157
ユーゴスラヴィア	(B)	3,133
メキシコ	(A)	2,903
ハンガリー	(A)	2,715
チエツコスロヴァキア		2,570
比律賓群島	(C)	2,454
ルーマニア		2,323

(1) 最近ニ於ケル概數

(2) 安南ヲ除ク

(4) 緬羊

		(1930年) (單位千頭)
帝	國	28
内地		24
朝鮮		2
關東洲		2
濠洲	(C)	104,558
ソヴィエト聯邦		89,860
北米合衆國	(A)	51,911
南阿聯邦	(C)	48,358
アルゼンティン		44,413
新西蘭	(A)	29,793
英吉利	(A)	26,235
英領印度		25,540
ウルグアイ		20,558
西班牙	(C)	19,370
ルーマニア		11,921
ペルー	(C)	11,209
佛蘭西		10,152
伊太利		9,896
ブルガリア	(B)	8,740

(1) 最近ニ於ケル概數

(2) 山羊ヲ含ム

(5) 家禽

		(1930年) (單位千頭)
帝	國	(1) 59,850
内地		(1) 47,198
朝鮮		(1) 6,147
臺灣		(1) 6,139
樺太		(1) 60
關東洲		(1) 341
南洋委任統治區域		(1) 65
北米合衆國	(2) (E)	409,291
獨逸	(3)	93,449

佛領印度支那	(2)	2,119
和蘭		2,018
塊地		1,965
瑞典		1,761
コロンビア	(C)	1,434
リニア	(A)	1,338
白耳義	(A)	1,235
愛蘭自由國	(A)	1,227
ホルトガル	(B)	1,157
ドミニカ	(B)	1,020
濠洲	(C)	1,018
ブルガリア	(B)	1,002

(1930年) (單位千頭)

ユーゴスラヴィア	(A)	8,425
佛領モロッコ		7,976
ブラジル	(B)	7,933
アルゼンティン		7,168
チリ		6,263
希臘	(C)	5,806
ホルトガル	(B)	3,721
カナダ	(A)	3,608
愛蘭自由國	(A)	3,575
獨逸	(A)	3,499
チニス		2,976
メキシコ	(E)	2,698
滿洲國	(I)	2,631
ポランド	(A)	2,599
諾威	(A)	1,692
ハンガリー	(A)	1,440
佛領東印度	(C)	1,292
エジプト		1,129
リニア	(2) (A)	1,097

- (1) 雞及鶩 (2) 雞ノミ (3) 雞, 鶩及鶩鳥 (4) 雞, 鶩, 鶩鳥及七面鳥。
 (5) 雞, 鶩, 鶩鳥, 七面鳥及鳩 (A) 1921年 (B) 1926年 (C) 1929年
 (D) 1927年 (E) 1925年 (F) 1924年 (G) 1923年

13. 帝國ノ重要貿易

昭和七年ニ於ケル我國ノ主ナル貿易品(五百萬圓以上)ニ付テ見ルト、輸出デハ生糸ノ三億八千二百萬圓最モ多ク、輸出總額ノ二割七分ニ當ツテ居ル。其ノ他綿織物ノ二億八千九百萬圓(二割)絹織物及人造絹織物一億一千百萬圓(八分)等主ナモノデア。又輸入デハ實綿及線綿ノ四億四千七百萬圓嶄然頭角ヲ顯シ輸入總額ノ三割一分ヲ占メ、生糸ノ輸出ト共ニ我國ニ大貿易品デア。其他羊毛ノ八千八百萬圓(六分)、機械及同部分品五千九百萬圓(四分)、鐵(鉄鐵ヲ除ク)ノ五千二百萬圓(四分)、小麥ノ五千萬圓(三分)等之ニ亞デ多イ。

輸 出 (單位千円)	輸 入 (單位千円)		
	昭和七年	昭和六年	大正十一年
生 糸	382,366	355,394	670,048
綿 織 物	288,713	198,732	222,052
絹織物及人造絹織物	110,828	82,766	107,928
メリヤス製品	26,935	21,176	17,667
陶 磁 器	22,937	19,307	21,211
罐詰詰食料品	22,774	18,948	19,418
綿 織 絲	21,547	8,511	114,723
小 麥 粉	20,539	9,517	814
玩 具	15,119	9,824	7,414
鐵 製 品	14,193	10,246	10,322
紙 類	14,022	20,995	16,128
石 炭	13,451	15,009	23,514
ランプ及同部分品	12,754	7,784	4,095
鐵 材	12,278	7,410	4,893
木 材	11,329	9,954	14,162
機械及同部分品	10,943	13,641	14,426
硝子及同製品	9,282	6,534	10,309
セメント	8,546	9,090	3,907
茶	8,173	8,233	17,829
精 糖	7,797	14,863	19,092
水 産 物	7,757	10,177	16,286
帽 子	7,713	10,531	5,556
豆 類	5,905	5,080	7,149
鈕 釦	5,863	4,675	6,401
身邊粧飾用品	5,435	4,361	4,002
植物性脂肪油	5,297	5,226	5,203
實綿及線綿	447,401	296,273	427,841
羊 毛	87,559	86,146	55,367
機械及同部分品	58,818	48,748	114,371
鐵(鉄鐵ヲ除ク)	52,027	36,263	147,902
小 麥	49,572	32,936	58,901
豆 類	42,070	37,349	39,607
礦 油	36,903	36,787	43,792
木 材	35,029	43,380	84,821
油 槽	34,599	44,349	98,522
石 炭	27,358	28,269	16,818
其ノ他ノ植物纖維	17,102	13,698	1,979
鐵	16,479	14,571	818
生 コ ム	15,989	13,183	11,315
製紙用パルプ	15,329	11,840	11,755
自動車及同部分品	14,821	16,329	7,310
採油用原料	14,772	14,549	14,028
鉄 鐵	12,174	11,229	19,528
米 及 粳	12,165	6,971	61,276
磷 礦 石	11,097	7,213	8,984
毛 織 物	10,488	9,993	49,954
鉛 (塊及錠)	9,973	8,128	9,536
合 成 染 料	9,066	7,283	29,343
皮 類	7,897	7,260	5,939
粗製硫酸アンモニウム	7,035	15,861	12,742
苛性曹達及曹達灰	6,385	8,150	8,986
穀	6,132	7,927	11,832
錫 (塊及錠)	5,956	3,528	4,314
印刷料紙	5,531	5,361	8,772
毛 織 絲	5,113	12,429	48,471
アルミニウム(塊錠及粒)	5,044	2,181	3,132

14. 列國ノ自動車

最近各國ニ於ケル自動車數ヲ見ルト北米合衆國ノ二千五百八十一萬臺ガ第一位デ世界總數ノ七割五分ヲ占メ 之ニ亞グハ佛蘭西ノ百六十九萬臺 英吉利ノ百五十六萬臺 カナダノ百十九萬臺等デア。我國ハ約九萬臺デ第十八位ニ當ツテ居ル。之ヲ人口萬ニ對スル割合カラ見ルト北米合衆國ノ二千八十一臺最モ多ク新西蘭ノ一千二百七十九臺、布哇ノ一千二百五十三臺、カナダノ一千百五十臺之ニ亞ギ、以下濠洲、佛蘭西、英吉利、丁抹、アルゼンティン、ウルグアイ、瑞典、白耳義、瑞西ノ順位デ我國ハ僅カニ十四臺ニ過ギナイ。

帝 國(内地)	總 數			人口萬ニ付
	乘 用 車	荷 積 用 車	(1931年)	
北 米 合 衆 國	25,814,103	22,347,800	3,466,303	2,080.6
佛 蘭 西	1,689,405	1,251,538	437,867	403.8
※英 吉 利	1,558,032	1,211,795	346,237	338.4
カ ナ ダ	1,190,979	1,025,124	165,855	1,150.3
獨 逸	684,015	522,943	161,072	108.3
濠 洲	571,417	466,930	104,487	741.7
ア ルゼンティン	366,324	297,571	68,753	314.2
伊 太 利	294,243	229,922	73,321	71.5
ブ ラ ジ ル	199,570	134,050	65,520	49.6
西 班 牙	189,650	133,305	56,345	79.6
新 西 蘭	184,509	154,243	30,266	1,278.9
白 耳 義	174,654	111,376	63,278	215.8
英 領 印 度	166,813	128,863	37,950	4.7
南 阿 聯 邦	156,248	139,384	16,864	195.0
※瑞 典	144,572	106,501	38,071	235.4
和 蘭	124,255	78,833	45,422	156.9
丁 抹	120,338	86,487	33,851	335.2
蘭 領 東 印 度	88,178	73,776	14,402	14.5
瑞 西	82,301	65,106	17,195	201.9
メ キ シ コ	80,801	64,301	16,500	49.3
チェッコスロヴァキア	74,640	52,129	22,511	50.7
ア ルゼリア	50,250	43,550	6,700	82.8
布 哇	47,846	37,102	10,744	1,252.5
諾 威	46,478	28,600	17,878	165.4
愛 蘭 自 由 國	46,243	38,548	7,695	157.0
ウ ルグ ア イ	45,595	38,088	7,507	239.6
チ リ	42,547	29,705	12,842	99.2
キ ュ バ	40,305	28,121	12,184	111.7
比 律 賓 群 島	37,049	25,621	11,428	29.8
ル ー マ ニ ア	37,000	32,200	4,800	20.5
埃 地 利	33,923	20,551	13,372	50.5
ポ ー ラ ン ド	33,598	27,086	6,512	10.5
フ ィ ン ラ ン ド	33,174	23,427	9,747	91.8

エジプト	31,130	26,530	4,600	21.0
ポルトガル	30,557	25,342	5,215	45.9
希臘	19,250	14,500	4,750	31.0
ユーゴスラヴィア	12,800	10,000	2,800	9.2

※ 1930年

5. 列國ノ船舶

一九三二年六月末ニ於ケル世界ノ汽船及帆船(總噸數各百噸以上)ハ三萬四千三十六隻六千九百九十八萬噸デアル。隻數噸數共ニ最高位ヲ占ムルハ英吉利ノ一萬五千八百八隻二千二百七十八萬噸デ、北米合衆國ノ三千九百四十六隻一千三百五十五萬噸ト共ニ海運界ノ雙壁デアル。帝國ハ三千六百四十七隻、四百十七萬噸ヲ有シ第三位ヲ占メテ居ル。

世界總噸數ニ對スル各國噸數ノ割合ハ英吉利三割三分、北米合衆國一割九分、帝國ハ六分ニ當ツテ居ル。

		隻 數		(1932年6月末)	
		汽 船	帆 船	汽 船	帆 船
總	數	29,784	4,252	68,325,283	1,654,710
帝	國	1,710	1,937	3,881,026	288,541
內	地	1,650	1,925	3,826,779	286,183
朝	鮮	47	8	50,787	1,800
臺	灣	13	4	3,460	558
關	東	106	—	331,130	—
※英	吉	9,772	746	22,531,941	252,442
北米	合衆	3,351	595	12,820,150	726,470
諸	國	2,001	7	4,163,836	3,003
獨	逸	2,135	16	4,142,920	21,922
佛	西	1,518	126	3,507,525	49,481
伊	太	1,091	232	3,331,304	59,268
和	蘭	1,424	21	2,957,195	6,645
瑞	典	1,353	80	1,691,253	24,731
希	臘	551	—	1,470,064	—
西	班	793	68	1,250,128	15,193
丁	抹	702	28	1,171,275	9,345
ソヴイ	エト	446	3	682,143	3,001
白	耳	237	3	533,014	4,428
ブ	ラ	296	13	491,647	4,483
ユー	ゴ	185	—	381,045	—
中	國	244	6	369,396	1,757
アル	ゼ	304	41	312,485	24,286
ダ	ン	46	—	287,071	—
フ	イ	233	91	262,530	69,855
ポ	ル	172	87	245,005	24,008
ラ	ト	106	8	187,238	1,241

トル	コ	189	—	178,053	—
チ	リ	108	3	174,497	4,183
バ	ナ	43	2	137,741	800
エ	ス	99	47	94,018	11,999
ホ	ン	31	2	80,269	347
ル	マ	33	—	74,104	—
ポ	ラ	33	—	70,353	—
ヴ	エ	36	7	57,518	1,856
エ	ジ	47	1	49,218	930
ベ	ル	24	15	45,095	19,591
キ	ユ	44	17	37,421	6,595
其	他	278	37	209,904	11,462
船	籍	43	13	115,771	6,847

登録噸數百噸未満ノ汽船ヲ除ク。 ※植民地ヲ含ム。

16. 列國ノ初等教育

最近ニ於ケル列國ノ小學校兒童數ヲ見ルト、北米合衆國ノ二千二百七十六萬ヲ第一位トシ、帝國(内地)ハ千十一萬ヲ第二位ヲ占メテ居ル。之ニ亞グハ英領印度ノ九百二十二萬、ソヴイェト聯邦ノ八百七十九萬、獨逸ノ七百六十四萬、英吉利ノ六百三十九萬等デ、多キ部類ニ屬スル。

人口千ニ對スル兒童數ノ割合ハ北米合衆國ノ百八十五人最モ多ク、濠洲ノ百八十一人、新西蘭百七十四人、南班牙百六十人、帝國(内地)百五十七人、和蘭百五十四人、諾威百四十三人、丁抹及英吉利百三十九人、チリ百三十人、ポーランドノ百二十一人等之ニ亞デ居ル。

		(1930年)		人口千ニ付
		兒 童	教 員	校 學 校
帝	國(内地)	10,112,226	234,799	25,673
北	米	22,757,124	640,972	(A)(1)254,726
(B)	英領印度	9,224,084	—	204,094
ソ	ヴイェト聯邦	8,792,801	—	114,111
(C)	獨逸	7,638,326	192,351	53,620
英	吉	6,387,242	192,904	25,685
佛	蘭	4,635,435	125,445	80,346
伊	太	4,550,184	109,280	140,309
ポ	ー	3,961,885	81,022	26,540
(B)	西	3,800,000	(A)(2) 33,518	33,883
(A)	ル	1,787,055	37,773	14,780
チ	エ	1,719,043	4,856	14,900
(B)	和	1,218,381	37,881	8,062
濠	洲	1,171,376	42,346	12,069
(B)	ハ	908,295	19,087	6,794
白	耳	871,172	(B) 31,966	8,504
埃	地	792,623	30,317	5,352
瑞	典	672,823	27,873	14,611

(R) 暹羅	590,585	12,493	5,193	51.3
チリ	559,016	9,856	3,860	130.4
丁抹	494,883	16,214	4,479	139.4
瑞西	471,708	16,637	4,363	115.3
諾威	401,835	11,080	5,954	143.0
(B) ホルトガルド	367,330	9,488	7,729	55.1
フィンランド	357,973	(B) 11,348	(3) 9,487	97.6
新南蘭	247,264	7,395	2,899	173.9
リスニア	227,444	4,424	2,528	96.1
エストニア	187,995	8,288	2,003	88.4
ウルグアイ	180,016	4,810	1,541	96.8
サルグアドル	55,634	1,613	907	38.7
コスタリカ	46,675	1,746	478	90.4

(1) 中等學校ヲ含ム。 (2) 公立ノミ。 (3) 都市ヲ除ク。 (A) 1928年
(B) 1929年 (C) 1931年

17. 列國ノ失業者

昭和五年十月一日國勢調査ニヨル帝國(内地)ノ失業者概數ハ三十二萬三千デア
ル。之ヲ六大都市及其ノ附近別ニ見ルト最モ多イノハ東京市及其ノ附近(舊地域)ノ
六萬一千デ、大阪市及其ノ附近ノ三萬之ニ亞ギ、横濱市及其ノ附近ノ一萬三千、神戸
市及其ノ附近ノ一萬、名古屋市及其ノ附近ノ九千、順次之ニ亞ギ、最モ少イノハ京都
ノ附近ノ六千デア。之ヲ大正十四年十月一日施行ノ失業統計調査結果ニ比較スル
ト市及其ニ東京市及其ノ附近ノ二萬二千、大阪市及其ノ附近ノ一萬二千ヲ始メ何レモ
増加シテ居ル。

493	5,193	51.3
,856	3,860	130.4
,214	4,479	139.4
,637	4,363	115.3
,080	5,954	143.0
,488	7,729	55.1
,348	(3) 9,487	97.6
,395	2,899	173.9
,424	2,528	96.1
,288	2,003	88.4
,810	1,541	96.8
,613	907	38.7
,746	478	90.4

都市ヲ除ク。(A) 1928年

業者
ノ失業者概數ハ三十二萬三千デア
ハ東京市及其ノ附近(舊地域)ノ
濱市及其ノ附近ノ一萬三千、神戸
頭次之ニ亞ギ、最モ少イノハ京都
行ノ失業統計調査結果ニ比較スル
ノ附近ノ一萬二千ヲ始メ何レモ

	昭和五年	大正十四年		昭和五年	大正十四年
東京市及其ノ附近	61,024	39,117	神戸市及其ノ附近	10,068	8,116
大阪市及其ノ附近	30,473	18,382	名古屋市及其ノ附近	8,849	4,963
横濱市及其ノ附近	12,683	9,044	京都市及其ノ附近	5,614	3,038

一九三二年六月末現在主要國ニ於ケル失業者ハ英吉利二百三十六萬、獨逸百五十六萬、伊太利九十一萬、佛蘭西五十三萬、帝國四十八萬デアル。

	失業者					失業率(%)				
	1932年	1931年		1930年		1932年	1931年		1930年	
	6月末	12月末	6月末	12月末	6月末	6月末	12月末	6月末	12月末	6月末
(A)帝國(内地)	481,589	470,736	391,377	362,050	361,916	—	—	—	—	—
獨逸(労働組合員) { 全部失業 一部失業	※1,560,000 ※811,000	※1,674,000 ※881,000	※1,216,000 ※725,000	※1,298,000 ※692,000	896,465 578,116	43.1 22.4	42.2 22.3	29.7 17.7	31.7 16.9	19.6 12.6
チェツコスロヴァキア(同)	168,452	146,325	82,534	85,374	37,853	12.3	11.3	6.6	8.3	3.4
(B)濠洲(労働組合員)	124,068	118,732	118,424	104,951	80,595	30.0	28.0	27.6	23.4	18.5
丁 抹(同)	78,624	97,233	33,379	73,363	25,191	24.9	32.2	11.3	25.1	8.7
瑞 典(同)	77,137	110,149	45,839	82,655	28,956	19.1	27.1	12.9	23.3	8.3
カ ナ ダ(同)	38,372	39,713	32,567	37,437	21,292	21.9	21.1	16.3	17.0	10.6
伊 太 利(登録) { 全部失業 一部失業	905,097 31,710	982,321 32,949	573,593 24,205	642,169 21,788	322,291 21,887	—	—	—	—	—
佛 蘭 西(登録) { 救済手當受クル者 救済手當受ザル者	232,371 295,478	147,009 177,294	36,237 51,354	11,952 22,879	1,019 10,168	—	—	—	—	—
ポ ー ラ ン ド(同)	264,147	312,487	274,942	299,797	204,982	11.2	13.4	11.8	12.4	7.8
チ ー リ (同)	90,570	55,733	18,573	—	—	—	—	—	—	—
ハ ン ガ リ ー(同)	59,040	65,142	45,205	—	40,359	—	—	—	—	—
新 西 蘭(同)	54,342	45,140	45,254	8,083	5,259	—	—	—	—	—
ザ ー ル 地 方(同)	40,188	35,045	15,413	15,245	6,330	—	—	—	—	—
愛蘭自由國(登録) { 救済手當受クル者 救済手當受ザル者	16,849 22,761	21,571 9,294	15,273 7,743	—	—	—	—	—	—	—
ル ー マ ニ ア(同)	33,679	49,393	28,093	36,212	22,960	—	—	—	—	—
ダ ン チ ヒ(同)	31,004	32,956	19,855	24,429	14,975	—	—	—	—	—
諸 威(同)	28,429	35,184	23,457	27,157	13,939	—	—	—	—	—
ブ ル ガ リ ア(同)	17,568	26,654	—	—	—	—	—	—	—	—
フ ィ ン ラ ン ド(同)	12,709	17,223	6,320	9,336	3,553	—	—	—	—	—
ユーゴスラヴィア(同)	11,418	14,502	6,182	9,800	6,991	—	—	—	—	—
ラ ト ヴ ィ ア(同)	7,056	21,935	1,584	10,022	779	—	—	—	—	—
エ ス ト ニ ア(同)	3,137	9,055	931	6,497	910	—	—	—	—	—
英 吉 利(強制失業) { 全部失業 保険加入) { 一部失業	2,357,963 697,639	2,262,700 408,117	2,037,480 669,315	1,853,575 646,205	1,341,818 569,931	16.7 5.5	17.7 3.2	16.0 5.2	14.9 5.3	10.8 4.6
埃 地 利(同)	265,040	329,627	191,150	294,845	150,075	—	—	—	—	—
白 耳 義(失業保険) { 全部失業 協會員) { 一部失業	157,432 183,894	129,380 164,099	64,014 103,273	63,540 117,519	12,226 41,336	18.7 21.8	17.0 21.5	9.0 14.5	9.2 17.0	1.9 6.5
(C)和 蘭(同)	140,226	147,107	59,573	81,204	23,678	27.2	27.8	11.7	18.2	5.5
瑞 西(同) { 全部失業 一部失業	※34,000 ※54,000	※42,000 ※61,000	※13,000 ※34,000	※17,000 ※26,000	※5,000 ※18,000	7.1 11.3	10.1 14.9	3.6 9.7	6.6 10.4	1.7 5.7

(A) 社會局ノ推算ニ據ル。(B) 所定週中三日間以上ニ亙ル失業者。(C) 當該月週平均。

(R) 選
チ
丁
瑞
諾
(B) ホル
フ イン
新 リ ス
エ ス
ウ ル
サ ル
コ ス
(1) 中
(B) 1

昭和五
ル。之ヲ
六萬一千
市及其ノ
ノ附近ノ
市及其ニ
増加シテ

昭和九年三月廿五日印刷
昭和九年三月卅一日發行

大阪府内務部統計課

印刷人 森川寅一
大阪府西區江戸堀北通四丁目六
電話 土佐堀七四四〇番
新替穴 五九三三番

14. 2口-157



1200501167575

142口

157

終